

中央アジアの長期労働統計

—100 年統計の構築—

March 2022
(First version: May 2021)

Kan Viktoriya¹

【要旨】本稿は、ロシア経済文書館が所蔵するソ連中央統計局フォンド機密解除資料及びその他の入手可能な統計資料を使用し、1910 年から 2010 年までの 100 年間を対象に、中央アジア地域の長期労働統計系列を整備した。まず、ソ連期の中央アジア 5 カ国について労働統計制度の成立過程と労働統計の概念を把握した上で、ソ連期の労働統計系列を整備した。次に、体制転換後における労働統計制度と産業分類の変化を明らかにした上で、1991 年以降の労働統計系列を整備した。そして、現代の産業分類に対応するようにソ連期の統計系列を再編成し、遡及的な調整を行うことで、ソ連期と現代の 2 種類のデータベースを接続した。本稿では、整備した産業部門別労働統計に基づき、中央アジア地域全体と各国の労働市場の長期動態とその就業構造の歴史的変遷を定量的に概観し、それぞれの特徴を把握することができた。

【キーワード】 long-term development, labor market, the Soviet statistics, Central Asia

¹ Kan Viktoriya (Associate Professor, Faculty of Economics, Teikyo University). This research was financially supported by Joint Usage and Research Center Programs of the Institute of Economic Research, Hitotsubashi University (FY 2017). The author thanks Yoshisada Shida and Konosuke Odaka for their helpful comments and suggestions.

1. はじめに

中央アジアは、19 世紀半ばに大英帝国とロシア帝国との間でおこった「グレート・ゲーム」に巻き込まれ、大きな歴史的変遷の舞台となった。さらに、70 年間にも及んだソ連社会主義体制とその後の市場経済移行も中央アジアを政治的にも社会的にも経済的にも大きく変化させた。ソ連崩壊後の中央アジア 5 カ国²は、ロシアと中国の狭間に位置し、欧米諸国の動向にも翻弄される存在であり、地政学的な観点から注目を集めている。それと同時に、シルクロード歴史遺産や鉱物資源が豊富に賦存する地域としても世界的な注目を集めている。

しかしながら、経済史分野に目を向けると、とりわけ数量経済史に注目した研究はこれまで十分に行われておらず（岩崎, 2013, p. 3）、この地域の発展経路に関する理解は十分には深まっていない。このことの主な理由の一つとして頻繁に指摘される問題は、統計データや資料の入手可能性への制約である（Brück et al., 2014）。特に、本稿で取り上げる労働統計は、中央アジアの数量経済史研究に関連する統計資料の中でも質量ともに劣っている。そのためこの分野における学術研究も限られており、社会主義体制成立後に中央アジアでどのような雇用形態や労働報酬制度が採用され、どのような条件の下で労働者は働いていたのか、就業構造はどのように変化していったか、1991 年以後の移行改革によってどのような新しい雇用形態が誕生したのか、さらに、地域内や国内において労働力の産業間配分はどのように変化したのか、といったような多くの基本的な疑問がいまだに十分な回答を得ていない状況にある。これらの問題を詳細に検討するためには、地域と時代を通して整合性と一貫性のある中央アジア各国の産業部門別の労働統計が必要となる。しかし、そのようなデータベースは 2021 年まで整備されてこなかった。

そこで本稿では、1910 年から 2010 年までの 100 年間を対象に、①統計資料をできる限り収集し、中央アジア各国の労働分野に関連する国別・産業部門別の長期時系列データベースを整備するとともに、②収集・推計・加工した労働統計データの観察と相互比較を通じて、中央アジアにおける労働市場の歴史的変化と長期動態に関する定量的な素描を試みたい。

筆者は、この目的のために、2013 年と 2018 年にロシア経済文書館（Rossiiskii gosudarstvennyi arkhiv ekonomiki）を訪問し、1993 年 7 月における機密解除を受けて一般公

² ソ連期にはカザフスタンを除く「ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン、キルギスタン」の 4 カ国が中央アジア地域をカバーする地域として扱われていたが、現代はカザフスタンを含む 5 カ国が中央アジアとして扱われている。本稿では、この両方の時期において、後者の 5 カ国を含む地域として中央アジアの用語を用いている。

開されたアルヒーフ資料「ロシア経済文書館所蔵ソ連閣僚会議付属中央統計局フォンド（文書録、Fond Tsentral'nogo statisticheskogo upravleniya pri Sovete Ministrov SSSR Rossiiskogo gosudarstvennogo arkhiva ekonomiki）」を調査し、必要な統計資料を入手した。さらに、国内外にある各共和国政府刊行の統計年鑑や労働統計集などの公刊資料の収集に努めてきた。本稿は、2011～2021年の約10年間におよぶ資料調査活動の集大成ではあるが、残念ながら、対象期間の全ての統計を揃えることはできなかった。5カ国を横断的に比較できるような全期間にまたがる一貫した長期時系列データの整備は、非常にチャレンジングな課題であり、数多くの留保を許容せざるを得ない。

そのような問題や留保として以下の5つの点に注意しておきたい。

- ① 中央アジアのそれぞれの国の中においても、ソ連時代から市場経済移行を経た現代にかけて、統計制度に質的な変化が生じており、長期統計において、統計概念やその作成方法、公開項目などに大きな相違が生じている。ソ連期の労働統計は国際労働機構（ILO, International Labour Organization）の国際標準に整合的な体系ではなかったため、中央アジア各国の統計当局は市場移行後に国際標準に基づく統計体系を導入していった。その結果、ソ連期と移行期との労働統計には、後述するように多くの相違がある。
- ② また、中央アジア各国が同時期に歩調を合わせて現代的な統計制度の導入を進めていったわけではないため、統計制度の変更における各国の差が大きく、時期や国によってはソ連時代に特有の統計制度や統計概念が色濃く残っている。そのため、特に移行初期に関して中央アジア各国を横断的に比較することが難しい。
- ③ 上記のことに関連して特に産業分類が問題となる。すなわち、国際標準産業分類導入の時期が異なるため、国や時期によって旧分類と新分類が混在する。このことは、中央アジア各国の特殊性を把握する点では有益であるが、横断比較を難しくする。
- ④ ソ連期の統計制度は中央アジア地域全体で統一性が保たれているが、各共和国がソ連に編入された時期が異なり、国境線も変更されているため、ソ連期に関して統計が入手できる期間が国ごとに異なる。そのため、特に1920年代以前に関しては、統計がどの地域をカバーしているかについて注意する必要がある。
- ⑤ 中央アジアの労働統計に共通するもう一つの問題は、公開データが少なく、また公開されている項目、統計の集計レベルや時期も非対称的であることである。ソ連の他の共和国と同様に、労働統計の集計レベルが意図的に高く設定されていた背景には、「軍事機密」の問題がある。すなわち、国別・地域別の軍人の人数が非公開であったため、共和

国レベルの労働統計には、全般にわたって数値の歪みや信頼性に関する疑問が残ると言わざるを得ない。

本稿では、上記の注意点を踏まえ、ソ連期と現代の労働統計制度の相違を明らかにするとともに、現代の制度にできるだけ整合的なものとなるように過去のデータに遡及的に統計的な処理を加えることによって、長期統計の整備を試みる。また、産業部門別統計系列を最終的に整備する際には、線型補間の手法を用いて欠損値に対応する。最後に、構築されたデータベースに基づいて、中央アジアの労働に関する長期発展経路を概観する。

本稿の構成は次の通りである。第2節では、ソ連時代の中央アジア5カ国における労働統計制度の成立過程と労働統計の概念を確認した上で、労働統計系列を整備する。続く第3節では、体制転換後における労働統計制度と産業分類の変化を明らかにした上で、労働統計系列を整備する。そして第4節では、現代の産業分類に対応するようにソ連期の統計系列を再編成し、遡及的な調整を行うことで、ソ連期と現代の2種類のデータベースを接続し、各国の労働統計の長期動態を素描する。最後に、結論と残された課題を述べる。

2. ソ連時代の労働統計

本節では、ソ連期の中央アジア5カ国に共通する労働統計制度の概要を整理し、1991年までの期間を対象として労働統計系列を構築する。

I 労働統計制度の成立過程と労働統計の概念

(1) 労働統計の担当組織

中央アジアに最初に設立された統計機関は、トルキスタン統計委員会（Turkestanskii oblastnoi statisticheskii komitet）である（Хамраева, 2010）。同委員会はロシア帝国中央統計委員会に直属する統計専門機関として、1868年1月22日から中央アジアで統計の収集にあたった（Есимбекова, 2020, pp. 35-36）。その現地事務局としてシルダリヤ州、セミレチエ州、サマルカンド州、フェルガナ州に、さらに1870年から1895年にかけてはウラル州、セミパラチンスク州、アクモラ州、そしてトゥルガウ州にも統計ビューロー（Statisticheskoe byuro）が設置された³。この当時、収集の対象となった地域や統計項目は非常に限られたものであった。

³ 詳細は、カザフスタンに関しては Biuro natsionalnoi statistiki Agentstva po strategicheskomu planirovaniu i reformam Respubliki Kazakhstan “Istoriia Statistiki RK” (<http://stat.gov.kz/about/general/history>)、ウズベキスタ

ウラジーミル・レーニン (Vladimir Lenin) は、社会主義建設とソビエト連邦の建国に当って、計画経済体制の制度設計における労働統計の重要性を繰り返し強調した。そこで、1917 年からは労働統計を社会経済統計から切り離して、一つの独立した部門として整備しようとする動きが始まった (Еремина и Маршало́ва, 1971, p. 15)。当初、複数の国家機関が労働統計の作成にあたっていた。具体的には、1917 年 10 月革命直後に設立された労働人民委員部 (Narodnyi komissariat truda ; 以下 NKT と略記)、全ソ労働組合中央評議会、最高国民経済会議のそれぞれに置かれた 3 つの統計部によって組織された労働統計評議会 (Sovet statistiki truda) が労働統計業務 (方法論の開発とコーディネート役) を担当した (Ibid.)。その翌年に中央統計局 (Tsentral'noe statisticheskoe upravlenie ; 以下 TsSU) が創設されると、その内部組織である労働統計部は、上記の労働統計評議会と共に、中央労働統計ビューロー (Tsentral'noe byuro statistiki truda) を 1921 年 5 月に新たに設立した⁴。

その後、トルキスタン自治ソビエト社会主義共和国 (現ウズベキスタン、タジキスタン、トルクメニスタン、カザフスタンの一部) の成立 (1918 年 4 月) の後に、1920 年にトルキスタン自治共和国統計委員会が設立された⁵。それと同時に、中央アジア地域にも中央労働統計ビューローの現地事務所が設置された。ただし、共和国によってソ連領土への編入の時期が異なるため、中央アジア全域で収集できた統計は断片的なものにとどまり、報告書が公開されなかったため、その内容の詳細を知ることは難しい。

中央アジアで最も早く統計制度が整ったのはカザフスタンであった。1920 年 8 月にキルギス自治ソビエト社会主義共和国 (1925 年にカザフ自治ソビエト社会主義共和国、1936 年にカザフ・ソビエト社会主義共和国へと改称された) が建国され、同年 11 月 8 日に「キルギス自治ソビエト社会主義共和国における国家統計に関する決定」が承認された。これを受けて、キルギス自治共和国中央統計局が設置された (Есимбекова, 2020)。その後、1924 年にトルキスタン自治共和国の解体に伴ってウズベク共和国が成立し、そこに中央統計局が設置された。また、それと同時に、ウズベク共和国内にタジク自治共和国 (1929 年からはタジク共和国) が誕生し、そこにも統計局が設置された。トルクメン共和国の成立も 1924

ンに関しては Gosudarstvennyi komitet Respubliki Uzbekistan po statistike “Istoriia Statistiki” (<https://stat.uz/ru/istoriya-statistiki-1>) を参照。

⁴ 中央労働統計ビューローは 1930 年まで存続したが、1933 年の NKT の解体に伴い、労働統計作成業務の全てが国家統計委員会 (TsSU) に集中することになった (Еремина и Маршало́ва, 1971, p. 16)。

⁵ 中央アジアにおける統計制度の成立についてはイワノフ他 (2020) を参照。

年であったが、中央統計局の設置は翌年の 1925 年になった⁶。キルギス共和国の成立と中央統計局の設置は最も遅い 1926 年であり、統計機関の名称が何度も変更された⁷。

ソ連型の統計制度の整備に伴い、1918 年には NKT が工業企業調査を実施し、『労働統計』誌を刊行するようになった。この工業企業調査を通して労働者・職員の人数、その性別・年齢・教育水準の構成、賃金に関する情報がはじめて詳細に把握された(Еремина и Маршалова, 1971, p. 16)。翌年の 9 月からは、発動機を備え 16 人以上の労働者、または 30 人以上の労働者が働く「工場企業 (tsenzovoe predpriyatie)」を対象に労働実態に関する報告制度が導入された。また、1920 年から工業労働者数の全数調査(1920 年は 6 月 1 日時点、翌年以降は 1 月 1 日時点と 6 月 1 日時点の年 2 回)が実施されるようになった。

その後、1920 年の全ソ連人口センサスでは、全業種の労働者数と職員数が調査されているが⁸、中央アジア 5 カ国については、上記の通り、ソ連編入の時期が異なるため、断片的な統計しか得ることができない⁹。なお、1923 年の都市人口調査は都市部の労働者数と職員数を調査しており、1925 年以降は TsSU 内に設立された農業・林業部門関連の労働統計部が農林業部門の労働者・職員数と賃金のデータを収集するようになった。また、同年から国家機関および国有企業が提出するようになった業務報告書から当該部門の労働者・職員数と賃金のデータも把握できるようになった。この他に、不定期的に全数調査(例、1924 年の国家機関と国家貿易部門の就業者数調査；1934 年～1938 年間の職種・性・年齢・勤続年数別の労働者・職員数実態調査など)と標本調査(1923 年の工業部門職能別賃金実態調査；1929 年の工業部門の労働組合員実態調査など)も実施された。

1932 年 6 月 6 日付けおよび 1933 年 2 月 21 日付けのソ連政府決定¹⁰により、ソ連全域で主に物的生産部門の企業や組織を対象として月次報告書の提出が求められるようになり(Благих, 2018, pp. 118-119)、1954 年以降は非物的生産部門において月ごとではなく四半期

⁶ トルクメニスタン国家統計委員会ウェブサイト：Kratkaia istoriia statistiki Turkmenistana do gosudarstvennoi nezavisimosti: <http://www.stat.gov.tm/ru/trkmen-stat/hzirki-zaman-agday/info-2/>。

⁷ キルギスは、1925 年からはロシア・ソビエト連邦社会主義共和国内部のカラ・キルギス自治州、1926 年からは自治共和国、そして 1936 年からキルギス共和国。キルギスタン共和国国家統計委員会ウェブサイト「Istoriia statistiki」(<http://www.stat.kg/ru/about/istoriya-statistiki/>)を参照。

⁸ 人口センサスの詳細については、雲(2021)を参照。

⁹ 1920 年の人口センサスはロシア欧州部を対象としたもので、中央アジアはカザフスタン(当時はキルギス自治共和国で、ロシアの一部だった)しか含まれなかった。

¹⁰ ソビエト連邦労働防衛評議会による第 648 号決定「賃金ファンド会計について」：Постановление Совета Труда и Оборона от 6 июня 1932 г. № 648 «О постановке учета фондов заработной платы» (СЗ СССР, 1932 г., № 47, ст. 278)；ソビエト連邦人民委員会議による第 269 号決定「労働者および職員の賃金ファンド支出の規制について」：Постановление Совета Народных Комиссаров СССР от 21 февраля 1933 г. № 269 «О регулировании расходования фондов заработной платы рабочих и служащих»。

ごとに報告書の提出が求められるようになった（Хохлов, 2021）。さらに、企業は従業員数、賃金（貨幣・現物支払）、その他の給付金額などを含む「労働計画遂行報告」（otchet o vypolnenii plana po trudu）を毎年提出することが求められた¹¹。この他に、賃金、職種、労働移動などに関する業種別の一時調査（edinovremennoe obsledovanie）が数年おきに実施された（Еремина и Маршалова, 1971, p. 17）。

（２）労働統計の基礎概念

ソ連における労働は、生産手段の社会的所有に基づく社会的労働とされた。労働資源は、社会的所有物と社会的労働を国全体で効率的に管理・運営するために、地域別・業種別に計画的に配分する、とされた（Гозулов, 1973, p. 219）。このことから、労働統計には次のことが主たる課題として与えられた（Петров, 1975, p. 224）。

1. 労働資源（供給可能な労働力の源泉）の規模・構成・配分・活用および人数・労働時間の動態の調査
2. 労働生産性の水準と推移とその決定要因の調査
3. 労働報酬の水準・種類・構成要素と推移の調査
4. 労働者の生活水準および労働条件と動態の調査
5. 労働資源の再生産と労働資源バランス表の開発の調査

以下では、中央アジアの長期労働統計系列の構築という本稿の課題に沿って、1. の労働資源と 3. の労働報酬に焦点を絞り、労働統計の基礎概念についてより詳細に見ていく。

（I）労働資源

「労働資源（trudovyye resursy）」は、ソ連の労働統計を構成する基礎的な概念の一つである。これは（実際に就業しているかどうかを問わず）経済活動に従事できる労働可能人口を意味し、①労働可能年齢人口（男性 16～59 才、女性 16～54 才）、②労働可能年齢以外の未成年就業者（16 才未満の男女）、③労働可能年齢以外の年金受給者（男性 60 才以上、女性 55 才以上）から構成される。労働資源には、④生産年齢にある障害者と特別年金受給者は含まれない。

¹¹ 同政府決定により定められた労働者・職員の賃金フォンドの用途に関する規定も制定されたが、数年間は無視される場合が多く、労働統計に歪みが生じていた（詳しくは Кашин, 2014, pp. 38-39）。

①の労働可能年齢人口には、(a) 労働者と職員、(b) コルホーズ員、(c) 個人副業経営専従者（副業従事者）、(d) 学生、(e) 家事従事者、そして (f) 軍人が含まれる。ただし、(d) 学生、(e) 家事従事者、(f) 軍人は、労働資源に含まれてはいるが、「国民の経済活動に参加しない人口」のカテゴリーに分類されていた点に注意しなければならない。

(II) 就業者

以上から分るように、実際に国民経済で活動している「就業者」というもう一つの基礎的な概念が必要になる。「労働資源」は「就業者」と「非就業者」の合計であり、「就業者」は次式のとおりに①、②、③の合計から、①の (d)、(e)、(f) を差し引いたものとしてあらわすことができる。

$$\text{労働資源} = \text{就業者} (= \text{①} (a+b+c) + \text{②} + \text{③}) + \text{非就業者} (\text{①} (d+e+f)) \quad (1)$$

(1) 式の関係は「労働資源バランス」(balans trudovykh resursov) と呼ばれ、労働部門の計画化に用いられた (Петров 1975, p. 225; Еремина и Маршалова, 1971, p. 20)。この「労働資源バランス表」は、国民経済に労働資源量がどのくらい存在するか、それが活動分野や地域に、またそれぞれの種類ごとにどのように配分されるかを反映するものとして用いられた¹²。

この労働統計には「失業者」や「非求職者」の項目がなく、ILO が作成した国際標準的な統計体系とは方法論的に異なるものであった。また、本稿で用いた統計資料の詳細については 2 節の II 項で説明するが、先取りすると、労働統計は年齢別人口構成や労働力率が発表されず、以下で示すような分類が採用されていた点に統計公表上の特徴があったことを指摘できる。

階級構成 (klassovyi sostav) は、1) 国有部門の就業者 (国有企業・組織の労働者と職員；農業企業、ソフホーズを含む) と協同組合 (コルホーズを含む) の被雇用者、2) コルホーズ員 (コルホーズの常勤メンバー、その自宅付属地・市民菜園や小規模自給経営体の個人副業経営に従事する家族、ならびに退職したコルホーズ員)、3) 手工業協同組合

¹² ソ連期の労働資源バランス表 (中央アジア 5 カ国を含む) については、Ф. 1562, Оп. 33, Ед. 4558: Динамические ряды ЦСУ СССР по расчету баланса трудовых ресурсов на I-января и I-июня 1955-1960 г.г. и по расчету в среднем за 1955-1960 г.г. по СССР и союзным республикам を参照されたい。

(kooperirovannie kustari promislovoy kooperatsii : アルテリ) ¹³の組合員、4) 手工業協同組合に属さず自宅で活動する職人や手工業者 (nekooperirovannie kustari)、5) 個人農・自営農 (krestyane-edinolichniki : コルホーズのメンバーではなく個人独立農場の農民経営を主な仕事とする者)、6) 非就業者、常勤就業者の被扶養者 (izhdiventsi ; 学生、軍人、年金受給者、商人、非労働的収入で生活する者) ¹⁴の 6 つのカテゴリーから構成されている ¹⁵。なお、ソ連では物的生産物体系 (Material Product System, MPS) が採用されていたので、労働統計では 6) の軍人、商人、非労働収入依存者などは、(それぞれの独立家計を維持していた場合でも)「常勤就業者の被扶養者」と分類されていたことに留意されたい。

また、ソ連の労働統計では、社会的・公共労働への参加度や生活費の収入源の観点から、A) 公共労働部門に従事する者、B) 自宅付属地・市民菜園で個人農業に従事する者、C) 国家の支援を受けて生活を営む被扶養者 (izhdiventsi gosudarstva ; 年金受給者、寄宿学校 internat の学習者など)、D) 奨学金を受給する学生、E) 扶養家族が区別された。この中で、A) と B) に属する者は、「国民の経済活動 (物的生産と非物的生産分野を含む) に参加する人口」として、C) から E) に属する者は、「国民の経済活動に参加しない人口」とみなされた (Петров, 1975, p.45; Гозулов, 1973, p. 222)。

以上を含め、就業者は、階級別、物的生産と非物的サービスを区別した分野別、産業部門別、職能別 (肉体・知的労働) などの構成で就業者数が公表された (Петров, 1975, p. 226)。

(III) 労働者および職員数

ソ連期の重要な労働統計指標である労働者および職員数は「在籍定員数 (spisochnaya chislennost')」として計算され、特定日における在籍定員数と一定期間内の「平均在籍定員数」が集計された。後者は前者に基づき算出されたが、統計資料では後者の方が公表された。

企業・組織の特定日における在籍定員数の算定は、常勤と季節労働者 (最短 5 日間以上雇用されている者) と臨時雇い (企業の主たる活動に従事し、雇用期間が 1 ～5 日) を対象として算定される。この際、その日の出勤者 (出張中の労働者および職員、社会的労働従事者、研修生などを含む) と欠勤者 (休暇中の労働者、病欠者、産前産後休業者、育児休業中

¹³ 1959 年に国有企業に組み込まれた (TsSU, 1983, p. 17)。

¹⁴ 家族の構成員は、一番稼ぎが多い「世帯主」の階級に属するものとして扱われた (Петров, 1975, p. 42; Еремина и Маршалова, 1971, p. 22)。

¹⁵ 1939 年の人口センサスは、上記の 1) から 6) の全ての階級を対象としたが、1959 年の人口センサスには 6) が、1970 年の人口センサスには 3) が調査対象に含まれていない (Петров, 1975, p. 43)。

の労働、有給学習者で欠勤の者などを含む）の両方が計上された。また、この際、学生インターンや、賃金の支給対象外の出張者、農繁期の休暇で賃金を支給されない労働者・職員、企業の主要な活動以外の業務に従事する5日以下の臨時雇いと兼職者（*sovmestiteli*：法に規定された職種で本務とは別のパートタイム業務に就業した者）は計算に含まれなかった¹⁶。

労働者・職員数は、業種、性、年齢、勤続年数、職業、教育水準別に集計・公表されたが、その中でも物的生産分野の労働者・職員数が特に重視された。さらに、物的生産分野の労働者・職員数の内訳として、当該企業で（i）主要な活動に従事する者（工業生産要員：*promyshlenno-proizvodstvennyi personal*）と（ii）生産活動以外の分野・部署（付属菜園・農業部、住宅サービス部、研修部、幼稚園や食堂、諸クラブ活動など）に従事する者（*personal prochikh vidov deyatel'nosti*）が区別された¹⁷。

後者の「平均在籍定員数」は、月・四半期・年ごとに計算され、一定期間の労働移動が把握された（Петров, 1975, p. 228; SSSRstat, 1991, p. 690）。これは労働投入量を表す基本的な指標として用いられた。「平均在籍定員数」は、当該期間における一日の在籍定員を合計し、当該期間の労働日数（カレンダー上の日数）で除したものである¹⁸。この数値には産後の追加無給休業中の女性（10ヵ月～1年以内）や中等・専門教育機関からのインターンシップ生などは含まれないが、5日未満の臨時雇いは含まれた（Еремина и Маршало́ва, 1971, p. 30）。

このように「平均在籍定員数」は欠勤者なども含み、実際に活動した労働者・職員だけを反映するものではなかった。そこで、実労働投入量を把握するために、在籍定員数のうちの出勤した者と出張中の者に限定した「出勤者数（*yavochnoe chislo*）」も計算された。ちなみに、「平均出勤者数」は、出勤日数分の出勤者総数（日・人総計）をカレンダー上の総日数ではなく出勤日総計で除した値である（Ibid.）。

（IV）コルホーズ員数

コルホーズ（集団農場）の労働統計は、農業部門の労働条件などの特殊性を考慮して作成された。はじめにコルホーズ員の人数と構成が、毎年1月1日の「コルホーズ員および家族台帳」に基づいて確定される（Еремина и Маршало́ва, 1971, p.50）。前述の（I）労働資源

¹⁶ ただし、兼職者率が高い分野（教育訓練施設など）については公表された（*Trud v SSSR* 各年版）。

¹⁷ 工業生産要員には工学技術者（*ITR, Inzhenerno-tekhnicheskii rabotnik*）、農業技術者（*ATR, gro-tekhnicheskii rabotnik*）、研修者、配達員や清掃員などの下級サービス要員（*mladshyi obslujivayushyi personal*）、警備員も含まれた。時代とともに、労働者、職員、*ITR*、*ATR*が増加し、それ以外の比重が低下していったことは、ソ連経済の専門化の進展を反映している（Петров, 1975, p. 229; Гозулов, 1973, pp.46~58）。

¹⁸ 休業日に関しては、その前日の在籍定員数と同じものとして計算された（Гозулов, 1973, pp. 225-226）。

の説明と同様に、コルホーズ員も、[1] 労働可能年齢のコルホーズ員（男性は 16～59 才、女性は 16～54 才）、[2] 高齢のコルホーズ員（60 才以上の男性、55 才以上の女性）、[3] 労働可能年齢であるが働けないコルホーズ員（障害者）、[4] 労働可能年齢以外の未成年就業者（16 才未満の男女）に分類された。また、16 歳未満の未成年に関しては、さらに [5] 11 歳以下の子供が区別された。さらに、[1] は、(a) 農業に従事するコルホーズ員、(b) コルホーズに居住するが製造・運輸・建設部門の国有企業で常勤労働者あるいは職員として従事する者、(c) 就学中の 16 才以上のコルホーズ員が区別された。[1] (b) と [1] (c) も繁忙期にコルホーズの仕事を手伝っていたため、[1] (a) コルホーズの仕事に専任している「在籍コルホーズ員」とともに、[1] 労働可能年齢のコルホーズ員＝コルホーズの就業者数に計上されたという点に注意する必要がある。[3] を除く [1] ～ [5] のカテゴリーに属するすべての人々は、一コルホーズ員として、または援農労働者として一コルホーズにおける農作業に参加した。農作業量は季節ごとに大きく変動するため、コルホーズの労働力は 7 月（最大）と 12 月（最小値）に関してカテゴリー別に把握された。なお、[1] (b) と [1] (c) は「年平均コルホーズ就業者数」には含まれるが、「年平均在籍コルホーズ員数」には含まれていない。

「年平均コルホーズ就業者数」は、労働時間の長短を問わず、当該期間中に実際にコルホーズで働いた労働人数の期間平均値として計算された。つまり、年平均コルホーズ就業者数は、1 年間にコルホーズの社会的労働に従事したコルホーズ員（[1] (b) と [1] (c)、そして高齢および若年のコルホーズ員を含む）の総人数を 12 で割った値である。また、他の産業部門からの援農労働者については、その「人・日」(cheloveko-den') 総計を年平均出勤日総数で割った値になる（Назаров и др., 1981, p.37）。

さらに、コルホーズ員の職能は、管理運営スタッフ（コルホーズ長、主任の専門家、経理部・管財部・経済部のスタッフ）、専門職員（農学者、動物技術者、獣医師、エンジニア、職工監督 brigadir）、それ以外（機械操作員、園芸師、飼育者、その他のトラクター運転手、牧畜民、乳搾り女などのスタッフ）が区別された（Еремина и Маршало́ва, 1971, p.51）。

（3）労働報酬の統計

労働者・職員

労働者・職員の労働報酬は、賃金ファンド、「物的奨励ファンド」(fond material'nogo pooshreniya)、「社会的消費ファンド」(obshchestvennyi fond potrebleniya) からの諸手当や助成

金などの給付金から構成される¹⁹。また、賃金ファンドは、労働者・職員とコルホーズ員が区別された。

このうち、労働者・職員とコルホーズ員の各賃金ファンドは、TsSU の指令が規定する俸給表に基づく部分と、職務の分類に応じて支給額が異なる夜勤手当、寒冷地手当、年功、報奨金（ボーナス・プレミア）などを含む数十個の項目から構成された。後者の部分には、勤務に対する報酬（出来高払い賃金）、労働法で定められた勤務外の給付金（有給休暇、有給学習、産前産後休業・育児休業、雇用者責任による休業、社会的労働などの給付金）、税金などが含まれた（Петров, 1975, p.251）。

物的奨励ファンドは労働奨励制度として 1965 年に導入され、企業の生産高と収益率の計画遂行もしくは計画の超過達成度（perevypolnenie）に基づいて支払われた（Еремина и Маршало́ва, 1971, p.179~181）。なお、臨時に支給される「臨時報奨金（臨時プレミア）」は、賃金ファンドからではなく、企業の純利益の一部を財源として設けられた「物的奨励ファンド」から支給され、現物と貨幣の双方の形態の支給を含むものであった。

社会的消費ファンドには、年金、奨学金、教育費、医療サービス、住宅サービス、サナトリウム治療費、リゾートホテル（保養所）やピオネールキャンプ利用のための旅費・滞在費などが含まれ、現物支給の形で給付された²⁰。

賃金ファンドと物的奨励ファンドは「労働報酬ファンド」（fond oplaty truda）の基本的な部分を構成する（SSSRstat, 1991, p.690）。労働報酬ファンドから「支払いが予定されている」「予定金額」（nachisleno）と実際に支払われる「支払済金額」（vydano）は当然乖離するので、ソ連の中央計画機関は、企業の費用の節約や超過支出の決定要因を分析したり、間接的に就業者の消費額・需要量を算出したり、生産の計画量と実際の産出量を比較し、賃金水準の上昇率に対する労働生産性の伸び率なども参考にしつつ、翌年度の生産・労働などの計画や中央銀行の貨幣供給計画まで作成・修正していた（詳しくは Еремина и Маршало́ва, 1971, p.182~189）。

¹⁹ ファンド（基金）とは、企業や組織（雇用者）が一定期間について労働に応じた配分をするために計画的に計上する報酬財源のことである（Петров, 1975, p. 250）。

²⁰ 例えば、1974 年の労働者・職員の年平均賃金 2282 ルーブルの内訳は、1,688 ルーブルの貨幣賃金と 594 ルーブルの給付金（「現物支給」を貨幣換算したもの）であった（Еремина и Маршало́ва, 1971, p.174; Петров, 1975, p.249）。

「平均賃金」は、月・四半期・年ごとに²¹、企業別、業種・職能別に計算され、地域別と国全体で集計された。平均賃金額は、対象期間における賃金ファンド（または労働報酬ファンド）総額を労働者・職員の平均在籍定員総数で割ったものである²²。ソ連期の労働統計では、計画作成上、特に物的生産部門の賃金ファンドが重視され、1時間・日・月・四半期・年ごとにその合計額が計算された（Гозулов, 1973, p.266; Петров, 1975, p.256）。

コルホーズ員

ソ連時代の初期から、農業部門における労働報酬の計算方式には多くの問題があった。特にコルホーズ員の場合、貨幣形態の賃金はほぼ存在せず、現物形態（主に穀物）で労働報酬が支給された。現物形態の労働報酬は、1日当たりの「必要最低生産量（trudoden）」の概念に基づき計算された。これは1人のコルホーズ員が1日で達成すべき最低必要出来高（「ノルマ」）を意味した。農作業の難易度や生産性に差はあるが、通常、1人のコルホーズ員は1日当たり0.5から約4「必要最低生産量」の仕事をこなしていた（Прохоров, 1969–1978）。

労働制度上、コルホーズ員はコルホーズの経営に従事するコルホーズ員とそうでないコルホーズ員（第2節の（IV）コルホーズ員数で前述された「年平均在籍コルホーズ員数」に含まれていない[1]（b）と[1]（c）のコルホーズ員）とに大別され、総計40以上の専門職や職能が区別された。専門や職能ごとに設定された1日当たりの「必要最低生産量」に基づき目標の労働量が規定されていた。但し、この目標値と実際の労働量とは大きく乖離していた。そこで、時代とともに、優良コルホーズでは、年度末の超過収益の分配とコルホーズ員の労働を刺激することを目的として、過去のデータに基づき「人・日（cheloveko-den）」分に相当する額を労働報酬として（現金による）前払いで毎月支給するようになった（Хрипливый, 1969–1978）。この「前払い貨幣賃金形態の毎月支給」方式は、1956年3月6日付けの政府決定²³をうけて、全国的に導入されるようになり、現物労働報酬の比重が年々

²¹ 生産部門の就業者については時給及び日給も計算され、「平均時給」は、分子に「1時間当り賃金の総額」、分母に勤務に当たった総時間数「cheloveko-chas」（日給の場合は「cheloveko-den」）で、1日分の追加諸手当の合計に対する日数）で算出された（詳しくは Еремина и Маршалова, 1971, p.189~199）。

²² 賃金ファンド額の計算は、対象とする期間によって計上する構成項目が異なる場合がある。例えば、超過勤務手当は時給には計上されないが、日当たりの賃金ファンドには含まれる（詳しくは、Петров, 1975, p.252）。

²³ ソビエト連邦共産党中央委員会とソビエト連邦閣僚会議の第311号決定：Постановление ЦК КПСС и Совета Министров СССР от 6 марта 1956 N.311 «О ежемесячном авансировании колхозников и дополнительной оплате труда в колхозах»。

低下していった。さらに、1966 年 5 月 16 日付けの政府決定によって²⁴、同年 7 月 1 日以降、全コルホーズを対象に、「一日当り期待生産高」に代わって、各コルホーズ員の業績や生産性に基づき「保証月給制度」への移行が推進され、「一日当り期待生産高」と実際に投入された労働量との乖離の問題が解消した。加えて、コルホーズ員と国有企業の労働者・職員の賃金格差も縮小し、コルホーズにおける労働報酬関連問題の改善が図られた（Гозулов, 1973, p. 271）。

なお、1969 年 11 月 25~27 日にモスクワで開催された第 3 回全連邦コルホーズ員総会で新しいコルホーズ模範定款が制定され、「労働報酬の月次決算報告書」が導入された。この報告書においてコルホーズ員と他の産業部門から動員された援農労働者の人数、年初からの勤務日数、賃金ファンド額（貨幣・現物）、労働報酬の決算状況（未払い金額を含む）が報告されるようになった。この報告書によれば、コルホーズ員の月給は、当該コルホーズの財務状況によって異なるが²⁵、少なくとも同種類の業務に従事するソフホーズ員の月給を下回らないように設定された。また 1969 年の全連邦コルホーズ員総会の結果として、コルホーズの収益性が低く赤字決算のために賃金ファンドが不足した場合、労働報酬を賄う長期貸付金が国から提供されることになった（Петров, 1975, p.265）。

II ソ連時代の労働統計系列の整備

本項では、収集した資料の概要、統計系列の推計方法および注意点について説明する。

（1）資料の出所

本稿では、ソ連期の公刊統計資料と、ソ連崩壊後に機密解除された文書館（アルヒーフ）資料を基本資料として用いている。文書館資料はロシア経済文書館（Rossiiskii gosudarstvennyi arkhiv ekonomiki）の「ソ連閣僚会議付属中央統計局ファンド（Fond Tsentral'nogo statisticheskogo upravleniya pri Sovete Ministrov SSSR）」から入手した。また、この文書館資料は主にソ連初期から 1962 年までの期間をカバーしている。また、公刊統計資料としては、不定期的に刊行された『ソ連労働統計集』、1957 年から定期的に刊行された『ソ

²⁴ ソビエト連邦共産党中央委員会とソビエト連邦閣僚会議の第 372 号決定：Постановление ЦК КПСС и Совета Министров СССР от 16 мая 1966 N.372 «О повышении материальной заинтересованности колхозников в развитии общественного производства»。

²⁵ コルホーズの発展水準や労働組織形態などにより、「出来高払い(sdel'naya)」、「季節払い(povremennaya)」、「臨時払い(akkordnaya)」、「報奨金プレミアム premial'naya」などの労働報酬方式が採用された。

連統計年盤』とその各国版である『○○・ソビエト社会主義共和国の国民経済』（カザフ共和国では 1971 年から開始）を用いた。利用した資料を A～N の 14 種類に大別して、本稿の最後に付録 A 統計資料リストとして整理した。

資料から統計データを収集する際には、以下の 3 点に注意した。

1. 構成共和国、産業部門に関して、異なる資料において異なる数値が記載されているケースがある。例えば、公刊資料とアルヒーフ資料で数値が異なる。

2. ソ連初期に関して特に欠損値が多い。

3. 公刊の統計年盤でも、出版年によって数値が異なる場合がある。これは、統計の刊行にあたって、統計当局が統計の定義や推計方法などを変更し、時には過去に遡って部分的に統計を修正することがあるからである。

統計データの有無と出典については、統計表 1（データの出所）を参照されたい。また資料から得られた未処理の原数値（原データ）については、統計表 2（労働者・職員数）および統計表 3（月平均賃金）を参照されたい²⁶。

（2）原データの取り扱いと統計処理の方法

本研究では、以下の通りの方法で、原データの取捨選択を行い、「算出」と「推計」の 2 つの方法で統計処理を行った。なお、「…」はデータの欠如（「事実は存在したがデータは欠如している」を意味し、「－」は事象の欠如を表示する。

第 1 に、出版年がより新しい公刊資料から統計を収集する原則に従った。ある年に関して新しい資料（新データ、改訂された数値）と古い資料（旧データ）の数値が合致しない場合は新データを採用した。ただし、この際、新データと、新データが得られない年の旧データの接続に問題が生じる。例えば、1937 年・1940 年・1950 年に関して新しい資料から遡及改訂済みの新データが得られたとしても、それらの中間の期間（1938 年、1939 年、1941～1949 年）の数値は未改訂の旧データしか得られない場合、これらの数の単純な接続に問題が生じる。旧データが過大または過小評価されている可能性があるからである²⁷。

²⁶ 統計表 2～6 及び統計表 10～13 は、紙幅の都合上、本稿では掲載しないことにした。

²⁷ 統計表 2 および統計表 3 から明らかなように、1940 年と 1950 年の改訂済みの新データと、それに前後する 1941 年、1949 年、1951 年の旧データには、大きな差が見られる。しかし、本稿は、構築したデータベースに基づいて中央アジア 5 カ国の GDP を推計することを最終的な目標として設定しているため、時系列のスムーズさよりも統計指標（従業員数、平均賃金）の概念的整合性（同一資料にもとづき同一の基準で算定・公開されていること）を優先した。

第2に、本稿の冒頭部分で触れたように、ソ連成立に前後して、中央アジア行政区画が変更された。そのため、統計資料で扱われている地域は時代によって異なる。特に次の4点に注意する必要がある。1) 1933～1936年までのカザフ共和国とウズベク共和国の数値には、カラカルパクスタンが算入されていない²⁸。2) 同時期のタジク共和国の数値には、ゴルノ・バダフシャー自治州が算入されていない。3) 1940～1962年のウズベク共和国の数値には、チムケント州（現カザフスタン領）の2地区が算入されている。4) 1929年のタジク共和国の林業部門が、ウズベク共和国の林業部門に含まれている²⁹。

第3に、時期ごとに産業部門分類が異なることへの対応として、ソ連後期の産業部門分類と整合的になるように過去のデータを修正した。1933～1936年の期間については、換算値として、就業者数の場合は原データの算術平均値、平均賃金の場合は原データの各部門の就業者数をウェイトとする加重平均を使用した（統計表4を参照）。

第4に、非物的サービスに関しても、部門分類が時期や資料によって異なる。特に、教育と文化（5カ国とも1964年以前のデータの場合）、商業・公共食堂と資材機械補給・調達・販売（1940～1950年のカザフ共和国とキルギス共和国、1940～1954年のウズベク共和国、1940～1960年のタジク共和国、1940～1961年のトルクメン共和国の場合）は、各部門のデータがなく、合計値のみが公開されているため、原データを調整した。

教育・文化部門に関しては、ウズベク共和国を取り上げて説明する。1934年に関しては、これら2部門それぞれの就業者数データが得られるため、この部門比率を1922年、1926年、1928～1929年、1931～1933年の2部門合計に適応し、就業者数を案分した。具体的には、1922年の2部門合計就業者数は5千人であり、これを1934年の部門比率（教育77.5%、文化22.5%）で案分すると、それぞれ3.9千人と1.1千人と計算される。ただし、この部門比率は経済発展に伴い、変化している。両部門の比率は、1950年は93.7：6.3であった。1965年は教育部門の比重が大きくなり、94.5：5.5となった。このような変化を考慮して、1937～1939年、1941～1944年、1946～1949年、1951～1964年までの2部門の就業者数推定値は、年月が経つに連れて変化する両業種間の比率を使うのではなく、統計値が存在する年度間の文化部門就業者数を線型補間法によって推定し、その値を両部門合計値から差し引いて教育部門の推定値とした（他の共和国についても同様）。

²⁸ カラカルパクスタン自治州は、1925年2月16日にカザフ共和国内部に成立し、1932年3月20日のカラカルパクスタン自治共和国への名称変更を経て、1936年12月5日にウズベク共和国へ編入された。

²⁹ 1)～4)は出典の脚注の内容に基づく。

一方、商業・公共食堂と資材機械補給・調達・販売については、ソ連前期には個別に発表されていた就業者数を、ソ連後期の形式に合わせて合計し、「商業・公共食堂部門」の就業者数として示した。

第5に、主に1962年までの時期に関して、労働報酬額が平均賃金ではなく賃金ファンドとして発表されている場合がある。このように平均賃金データが得られない場合には、賃金ファンドに基づいて平均賃金を計算した（年平均賃金ファンド／12／労働者・職員数）。両データが得られる年に関してみると、平均賃金は賃金ファンドに基づく平均賃金を上回る。カザフ共和国の1940年を例にとると、賃金ファンドに基づき計算される平均賃金は、公刊資料に掲載されている平均賃金よりも11.7%小さい。この差は、主として賃金ファンドに社会保障給付金が含まれていないことが原因であると思われる。賃金ファンドに基づく平均賃金の計算値はこの分だけ過小評価されている可能性がある³⁰。

第6に、公式出版物から得られる産業部門別のデータは年代的に限られており、欠損値も多い。特に1938年以前の公刊統計では、4～5部門程度の集計度の高いデータしか得られず、多くの場合、非物的サービス部門のデータが得られない。本稿では、主に欠損値前後のデータを用いて線型補間推計を行うが、ソ連初期については、可能な場合には外挿法による推計値も掲載する。ただし、スターリン時代の農業集団化・粛清・第2次大戦といった欠損値が多い時期や、欠損期間が長すぎる時期、ベンチマークとなるデータが得られない時期（特に1913年以前）については、推計結果の信頼性が減じられる可能性がある点に留意されたい³¹。

第7に、資料や年により算出の対象とされない項目が存在し、また軍人数も機密扱いとして非公表であったため、その分だけ公開データが過小評価されている可能性がある。例えば、1934年に関して、63,973人（主に、建設業、ソフホーズ、輸送機関の一部、商業、飲食業、経営管理・運営部門、企業が管轄する住宅・公共サービスおよび日常サービス・文化関係の組織に属する者）の労働者・職員数が共和国別に配分されていない（TsUNKhU SSSR, 1936）。また、軍人の給与は別途算定されていたが、その算定方法や統計値の詳細は不明である。

³⁰ ソ連時代の平均賃金と賃金ファンドの違いや構成の詳細については、志田（2011）を参照されたい。

³¹ 岩崎（2013）は、当該期間のデータが見つからない場合は無理な推計をせず、その事実を明示的に示すことを主張しており、筆者はその方針に賛成である。しかし、本稿で構築するデータベースはGDP推計に使用されるため、あらゆる使用可能な推計方法を敢えて採用し、できるだけ長期の系列を整備する。

第 8 に、中央アジア全体に関しては、就業者数は 5 カ国の合計値を、平均賃金は就業者数をウェイトとして各共和国の平均賃金の加重平均を算出した。その他の細かい統計的处理については、各統計表の脚注を参照されたい。

以上のプロセスを経て得られた中央アジア 5 カ国の労働者・職員数および平均賃金の長期統計系列を統計表 5 および統計表 6 にそれぞれ示した。ここでは主に原データを掲載したが、欠損値の「推計」は太字イタリックで、それ以外の「算出値」はイタリックを用いて区別して表示している。

統計表 7 には、中央アジア 5 カ国におけるコルホーズ員数の長期統計系列を示した。また、コルホーズ員の月平均賃金統計は、統計表 8 に示した³²。

最後に統計表 9 では、公開統計資料では主に 1960 年代以降の部門分類別の構成比しか公開されていない中央アジア 5 カ国の全就業者数を表示した。

3. 制度体制の移行期における労働統計

本節では、ソ連崩壊と中央アジア 5 カ国の独立宣言後に、各国の労働統計制度、統計手法や定義がどのように変化したのか、各国の国家統計局がどのような問題に直面したのかを把握した上で、移行期の 1991～2010 年における 5 カ国の労働統計の長期系列を整備する。

I 移行期下の労働統計制度の変遷

(1) 担当機関の変化

旧ソ連諸国の経済体制移行に伴い、中央アジア 5 カ国の労働環境も統計制度も大きく変化した。1991 年以降、この地域では、統計機関が再編成され、その名称も「国家統計委員会」や「国家統計局」などへと繰り返し変更された（以下、国家統計局と称する）³³。また、前述の通り、各国の国家統計局は ILO 勧告に基づいてソ連期とは異なる独自の統計制度を再構築する急務に取り組んだ。

³² 1937～1952 年におけるコルホーズ員の貨幣・物的所得統計は、西村・岩崎（1999）を参照されたい。

³³ 2021 年現在の名称は次の通りである。ウズベキスタン共和国国家統計委員会：Gosudarstvennyi komitet Respubliki Uzbekistan po statistike (<https://stat.uz/>)；カザフスタン共和国戦略計画・改革庁国家統計ビューロー：Biuro natsionalnoi statistiki Agentstva po strategicheskemu planirovaniu i reformam Respubliki Kazakhstan (<https://stat.gov.kz/>)；キルギス共和国国家統計委員会：Natsionalnyi statisticheskii komitet Kyrgyzskoi Respubliki (<http://www.stat.kg/>)；タジキスタン共和国大統領府付属統計庁：Agentstvo po statistike pri Prezidente Respubliki Tadjikistan (<https://www.stat.tj/>)；トルクメニスタン国家統計委員会：Gosudarstvennyi komitet Turkmenistana po statistike (<https://www.stat.gov.tm/>)。

中央アジア 5 カ国は、1991 年末からは独立国家共同体（The Commonwealth of Independent States, CIS）に加盟し、また 1992 年からは独立国家共同体統計委員会（Statistical Committee of the Commonwealth of Independent States, CISstat）に加盟し、CIS 統計委員会の指導の下で ILO 定義に準拠した国際標準の労働統計制度を段階的に導入していった³⁴。

（２）基礎体系の変化

移行初期に生じた各国の労働資源バランス表の基本的な変化は次のとおりである³⁵。

第 1 に、ソ連時代の「労働者・職員・コルホーズ」概念に代わって、ILO 勧告に従い「被雇用者（nayomnyi personal）」と「自営業者（samostoyatel'no zanyatoe naselenie）」の概念が導入された。

第 2 に、経済活動に労働力を提供する「就業者」と「失業者」から構成される「経済活動人口（Economic Active Population, EAP）」の概念が導入された。ILO 勧告に従い、「就業者」は、常勤、臨時、季節労働などの如何を問わず、一定期間の雇用契約に基づいて働く被雇用者と契約雇用以外の仕事に従事する者（個人企業家、自営業者、家事従事者など）とを含み、さらに、勤務中と休暇中（出産や疾病、有休休暇などの法定休暇）双方の労働者を含む。また、旧制度から除外されていた軍人が国際標準に準拠する「就業者」概念に含まれるようになった。労働時間については、「完全労働時間（polnoe rabochee vremia、フルタイム）」と、「不完全労働時間（nepolnoe rabochee vremia、パートタイム）」とが大別されるようになった。一方、「失業者」には、当該期間に仕事がなく、求職活動中で、仕事に就く用意のある 16 才以上の人が含まれる。つまり、「失業者」が独立の範疇として考慮されるようになった。

第 3 に、「経済活動人口」に含まれない年金受給者、障害者、家事従事者、就学者、非求職者などから構成される「非経済活動人口（Economically Non-Active Population, ENAP）」の概念が導入され、求職意欲喪失者の把握が可能になった。ちなみに、労働意欲を踏まえないソ連の労働統計システムの分類で見ると、本来であれば非求職者や失業者とみなされるべき人々は、前述の階級構成における（6）「非就業者・常勤従業員の被扶養者（izhdiventsi）」、社会的・公共労働への参加度や生活費の収入源における E「扶養家族」、労働資源バランス

³⁴ ただし、トルクメニスタンは 2000 年以降は CIS 統計委員会への情報提供を止め、2005 年に準加盟国となった。

³⁵ 中央アジア 5 カ国のいずれにおいても、労働資源バランス表が移行過程を通じて作成され続けてきた。例えば、ZAKON.KZ（2012）。

表（1）式上の①労働可能年齢人口にある（e）家事従事者の分類に当てはまると考えられる（第2節I項（2）を参照）。

この国際標準システムへの転換はスムーズに進まず、国ごとに速度や質の面で大きな差が生じた³⁶。また、移行初期に各国で公開された資料には、指標の定義に関する説明が十分ではないものあり、注意が必要である。とりわけ労働可能年齢の定義が国によって異なり、一国の中でも定義が数回にわたり修正されている場合もある。例えば、タジキスタンでは、法律上の労働可能年齢は、2002年までは男性15～59才、女性15～54才、2003年以降はその上限が男女ともに毎年1才ずつ引き上げられた（2005年から男性は15～62才、女性は15～57才）（UNDP, 2010, p. 49）。ウズベキスタン共和国の場合、ILO国際標準に準拠する家計調査に基づいて就業中の労働可能年齢人口（16～64才の基準）の割合を算定すると45%となるが、国家統計局の基準（女性は16～54、男性は16～59）で算定すると48%になる（World Bank, 2003, p.28）。このように定義が異なる統計数値が発表されることがあった。

また、失業者数の取り扱いに関しても注意が必要である。ソ連崩壊直後の移行改革の過程で企業が私有化され、企業経営の合理化が追求されたため、旧国有部門の過剰人員が整理（リストラ）され、それまで隠れていた失業が顕在化した。しかし、この当時、中央アジア各国で発表された「失業率」は、人口に占める「就業していない求職者」の割合としてILOが定義する「一般失業率 obshaya bezrabortitsa」ではなく、国家就業担当機関・職業紹介所で所定手続きを済ませた登録失業者（又は失業保険申請者・受給者の業務統計に基づく「失業者」）の割合、いわゆる「登録失業率 zaregistrirovannaya bezrabortitsa」のみであった。2つの失業率は大きく異なる。例えば、2004年のキルギスタンの「登録失業率」は2.8%（5.82万人）であるのに対して、家計調査に基づきILO方式で計算した「一般失業率」は8.5%（18万5千人）であり、労働資源バランスに基づく失業率は9.0%となった³⁷。同様に、トルクメニスタンでも、労働力調査に基づく2001年の失業率が7.2%であるのに対して、登録失業率は2.6%となり、大きく異なっている（Станчин, 2003, p. 28）³⁸。ウズベキスタンの場合も、

³⁶ 中央アジア諸国は、移行改革が先行したロシアを見習う傾向も強かったが、国ごとの独自性もあった。現代ロシアの就業者・失業者の概念とILOとの相違点については、志田他（2020, pp. 61–62）を参照されたい。

³⁷ 2002年以降に関してのみ、ILO方式の失業率の公式データが存在する。なお、同年の労働資源バランスに基づく失業率は9.0%であった（MOT, 2008, p. 29）。

³⁸ また、タジキスタン国家統計局が国際標準で実施した2007年の「タジキスタンにおける生活水準調査」では、同国の失業率は9.5%と報告されているが、出稼ぎ労働を考慮して失業率を換算してみると24～27%にも膨れ上がることが指摘されている。専門家の計算では、出稼ぎ労働者が海外へ移動せず、失業者と

国家統計局が発表する 1996～2002 年間の登録失業率は約 0.4%であるが、ILO 方式で再計算すると約 6%であり、同国の厚生労働省が 2002 年に実施した労働力調査に基づく失業率は 4%であった（World Bank, 2003, p. 30）。

このように、労働統計の分類を ILO 定義に対応させる作業は、本稿が最終の推計対象年とする 2010 年においても続行中で、採用される労働指標の定義により数値が異なる。

（３）統計調査方法、ならびにデータの量と質に関する諸問題

（I）統計調査の方法

移行期に私有部門が急速に拡大したことで、国家統計局が民間のすべての経済主体の経済活動を捕捉することが難しくなった。そこで各国の統計制度のベースは、これまでの企業の報告から標本調査へと転換していった。ただし、移行 20 年間に各国で実施された調査の内容（調査対象の範囲、項目）や、刊行物や公式データの種類、公開時期などの面でバラツキは非常に大きい。

1991 年以降、いずれの国でも労働統計作成の基本的な情報源として、①全ての中規模の法人企業・組織が毎月提出する「被雇用者調査 *obsledovanie rabotodatelei po trudu*」（小規模・零細企業の場合は四半期・年 1 回で実施される標本調査と不定期の全数調査）と②「労働力調査 *obsledovanie rabochey sily*」の 2 つの調査結果資料に加えて、③その他諸官庁の業務統計（求職者および登録失業者に関する公式統計、産業部門別の不定期の調査など）と④不定期的に実施される「家計調査 *obsledovanie byudjeta domashnikh khozyaistv*」が利用されている。これらの調査結果は、部分的にしか公開されていないため、利用上の制約が大きい。

上記 4 種類の情報源の中でも、国によって導入の時期が異なるものの、ILO 国際標準に準拠した②「労働力調査」が調査統計としては最も広い範囲を対象としており、有益である（表 1 を参照）。

表 1 中央アジア 5 カ国における労働力調査

国名	調査開始年	調査対象年齢	調査対象家計数	調査結果の公開
ウズベキスタン	2001 年	...	...	非公開

して国内に滞在すると、失業率は約 3 倍に膨れ上がり、労働可能年齢人口の就業率も約 15%ポイント上昇する（UNDP, 2010, p.38）。

カザフスタン	2001 年	15 才以上	21,000 件	毎四半期
キルギスタン ⁽¹⁾	2002年	15 才以上	5,000 件	毎年
タジキスタン ⁽²⁾	2004 年	15～75 才	...	調査実施直後
トルクメニスタン	2011 年	...	...	非公開

出所：Збарская (2014)、CISstat (2014)、Щербакова (2013)、Джайлобаева (2014)、TadStat (2017)、KazStat (2017)、World Bank (2003) に基づき、筆者作成。

注：(1) 2002 年から「雇用・失業調査」、2003 年から「家計調査」が実施されている。

(2) 2009 年から第 13 回国際労働統計会議の基準 (1982 年) へ移行した。

中央アジア各国の国家統計局は、上記の①「被雇用者調査」と③諸官庁の業務統計に基づいて労働資源バランス表を作成し、公式資料や刊行物の中で公表している。移行初期には、公開される統計の対象期間が限定的であったり、国ごとに公表度が異なったりと問題が大きかったが、時代とともに状況が改善し、統計資料の定期的な刊行や「労働雇用統計集」の刊行が行われるようになった。ただし、表 1 の通り、「労働力調査」の状況に国ごとの差があり、国ごとの横断比較は容易ではない。

(II) 統計の諸問題

以上の他に、労働統計に関する問題として、(a) 非公式経済（公式統計で反映されない経済活動）の影響、(b) 出稼ぎ移民の影響、(c) 児童労働の問題、そして (d) 国際標準産業分類 (ISIC) の導入時期が異なるため、部門分類の旧・新による非対称性やデータの信頼性などに関する問題を指摘することができる。以下でそれぞれについて簡単に見ていく。

(a) 非公式経済の影響

市場経済化後に、企業家活動が認められるようになり、法人格を有しない個人事業主や自営業者層が急速に増加した。その大部分は統計調査では捕捉できない「非公式経済」に従事したため、そこで発生した労働報酬等に関するデータが得られないことが問題視されてきた (Станчин, 2003, p.25; Лукьянова, 2017)。移行諸国における非公式雇用は、法人企業における非公式雇用、未登記の小企業や個人自営業者による経済活動、法人企業における「封筒で渡される給与」の受取りなどの実践が様々な方法で日常的に行われていたが

(World Bank, 2003, p. 34)、特に 1990 年代において、いずれも公式統計において過小評価されていることが問題であった。

世界銀行の調査によると、1990 年代におけるキルギスタンの公式民間部門の雇用比率は、CIS 諸国の中で最も低い 11%にとどまった³⁹。一方、農業部門の非公式雇用(129.33 万人)が著しく大きく、非公式雇用全体の 76%を占めていた(Программа КР, 2006)。1990 年代のウズベキスタンでも、闇経済の規模は GDP の 20~50%を占めるほど大きく、そこで労働力の約 3 割(主に農業、商業、サービス業)が従事していた(ADB, 2005, p.3)。

(b) 出稼ぎ移民と国内労働移動の影響

ソ連崩壊後、中央アジアからロシア等へ大量の出稼ぎ労働移民が流入した。しかし、各国の労働統計には「出稼ぎ移民 *trudovoi migrant*」の項目がなく、出国した出稼ぎ労働者は「一時欠席者 *vremenno otsutstvuyushchii*」として就業者数に含まれたままであった(Джайлобаева, 2014)。そのため、公式統計において実際に国内にいる就業者数の過大評価の問題が生じていた。移行初期において、中央アジアの中で最も多く労働移民を生み出したのはタジキスタンであった(UNDP, 2010)。キルギスタンも 1990~2005 年に、ロシアとカザフスタンで働く出稼ぎ労働者数が 50~100 万人(人口の 9~17%)に上った。その多くは高学歴者であった。また出稼ぎ労働者による本国への送金は GDP の 32%を占めるほど大きかった(Программа КР, 2006; Текеева, 2015; World Bank, 2015)⁴⁰。

(c) 児童労働の問題

特に農村地域において、農業部門における児童労働が大きいことが⁴¹、労働統計のもう 1 つの問題として指摘されている(World Bank, 2003; Программа КР, 2006; UNDP, 2010)。とりわけ産業構造の中で農業部門の比重が高いウズベキスタン、キルギスタン、タジキスタンでは、綿花などの収穫で繁忙期に、国有部門の労働者・職員をはじめ、学生や農村の 15

³⁹ 全就業者の 70%は非公式部門で雇用され、残り 30%に当たる公式部門のうち約 18%は国有部門に属していた(World Bank, 2015)。

⁴⁰ 仮にこのような出稼ぎ労働がなければ、国内の失業率は 15%ポイント上昇するという推計もある(Куддусов, 2009)。

⁴¹ この問題には 1 世帯当たりの子供の数の多さも関係している。例えば、トルクメニスタンの農村地域における世帯当たり平均子供数は 6 人であり、都市部の 4.6 人より 1.6 倍高い(Станчин, 2003, p.25)。

才未満の児童の労働力が大量に動員されている。しかし、労働統計にこのような労働力の動員は適切に反映されない点が問題である。

2014年に、このような問題に対処し、CIS 諸国間で相互に協力し、比較可能なデータを普及させていくために、ロシアと世界銀行の協力を受けて「CIS 地域における労働統計の発展」プロジェクトが開始された⁴²。2016年には、タジキスタンが世界銀行の支援を受けてCISで初めて(第19回国際労働統計会議による)ILO 勧告に基づく労働力調査を実施した。この調査では、中央アジア諸国で初めて、労働力に含まれない労働人口、失業率、非公式経済部門における就業、非正規就業、労働力の国内移動と国際移民の動向、12～17才の児童労働の状況、ボランティアによる労働活動などが調査された(TadStat, 2017)。

しかし、これらの問題は全面的に解決したわけではなく、統計上の歪みは現在も大きく残っている。

(d) 産業分類別の労働統計

産業分類は移行諸国にとって労働統計の国際比較を困難にするもう一つの問題である。

移行後しばらくの間は、国際標準とは異なる「全ソ国民経済部門分類(Obshchesoiuznyi klassifikator “Otrasli narodnogo khoziaistva”, OKONKh)」が用いられていた。その後、各国はCISstatの勧告に従い、国際標準産業分類(ISIC 改訂第3版)や欧州標準産業分類(NACE 改訂第1版・第2版)に対応させるべく、経済活動別部門分類(Obshchii klassifikator vidov ekonomicheskoi deiatelnosti, OKVED)に準拠した自国の経済活動分類への移行を進めた⁴³。これは24部門で構成されるソ連時代のOKONKhを15部門から構成される国際標準に準拠したOKVEDへと段階的に移行するものであった。しかし、統計制度移行の進捗や部門の定義が国ごとに異なったため、移行期の労働統計は一貫性や整合性を欠くことになった。カザフスタンは2015年以降に刊行された出版物において一部を遡及改訂したデータを発表しているが、それ以外の4国では、2020年に至るまで、国際標準に対応した労働統計は整備されていなかった。

⁴² 2014年4月15日付け第TF016781号のCIS統計委員会と世界銀行との補助金協定(Соглашение о Гранте № TF 016781 от 15 апреля 2014 г. между Межгосударственным статистическим комитетом Содружества Независимых Государств и Всемирным Банком, Москва)に基づく。

⁴³ ロシアの新旧新産業分類の詳細な比較は、久保庭(2009, 表1, pp. 30-31)を参照。

表 2 に、各国の国家統計局が NACE（第 2 次改訂）に対応した経済活動部門分類へ移行した時期を整理した。2010 年頃までに、各国ではそれぞれの状況を反映した OKVED を開発した状況が見て取れる。

表 2 中央アジア 5 カ国における産業分類表の国際標準への移行時期

国名	分類表の正式名称	導入時期	国際標準に類似の分類
ウズベキスタン	①「経済活動種類の全国分類表（Obshchegosudarstvennyi Klassifikator Vidov Ekonomicheskoi Deyatelnosti, OKED、改訂第 1 版）」	①2004 年	① OKONKh と NACE 改訂第 1 版
	②「経済活動種類の全国分類表（Obshchegosudarstvennyi Klassifikator Vidov Ekonomicheskoi Deyatelnosti, OKED、改訂第 2 版）」	②2011 年	②NACE 改訂第 2 版
カザフスタン	カザフスタン共和国国民分類表「経済活動種類の一般分類表（NK RK 03-2007 “Obshchii Klassifikator Vidov Ekonomicheskoi Deyatelnosti”, OKED 03-2007）」	2009 年	NACE 改訂第 2 版
	キルギス共和国国家分類表「経済活動種類」（Gosudarstvennyi Klassifikator Kyrgyzskoi Respubliki “Vidy Ekonomicheskoi Deyatelnosti”, GKED、第 3 次改訂）	2007 年（実験的導入）、2011 年（導入）	NACE 改訂第 2 版
タジキスタン	①タジキスタンの経済活動種類の一般分類表（Obshchii Klassifikator Vidov Ekonomicheskoi Deyatelnosti Tadzhikistana, OKED、第 1 次改訂）	①2000 年	① ISIC 改訂第 3 版と NACE 改訂第 1 版
	②タジキスタンの経済活動種類の一般分類表（Obshchii Klassifikator Vidov Ekonomicheskoi Deyatelnosti Tadzhikistana, OKED、第 2 次改訂）	②2015 年（実験的導入）	②NACE 改訂第 2 版
トルクメニスタン	①経済活動種類の国家分類表（Gosudarstvennyi Klassifikator Vidov Ekonomicheskoi Deyatelnosti, GKVED、第 1 次改訂）	①2003 年	① OKONKh と NACE 改訂第 1 版
	②経済活動種類の国家分類表（Gosudarstvennyi Klassifikator Vidov Ekonomicheskoi Deyatelnosti, GKVED、第 2 次改訂）	② 2014 年（実験的導入）、2016 年（導入）	②NACE 改訂第 2 版

出所：各国の国家統計局の部門分類表、Соколин（2013）、CISstat（2017）に基づき、筆者作成。

注：部門分類表は、各国の国家統計局のホームページ（ウズベキスタン：<https://www.stat.uz>；カザフスタン：<https://stat.gov.kz/>、キルギスタン：<http://www.stat.kg/ru/klassifikatory/>、タジキスタン：<https://www.stat.tj>、トルクメニスタン：<http://www.stat.gov.tm>）を参照されたい。

中央アジア各国における労働統計の改訂は、産業分類の変更に前後して継続して行われており、それが20年間以上も続いた。カザフスタン、キルギスタン、ウズベキスタンの国家統計局は、2015年までにNACE（第2次改訂）の4桁レベルに対応する自国の部門分類表を作成したが、5桁～7桁レベルの分類では各国に特有の項目が含まれているため、それぞれ独自の体系になっている⁴⁴。

中央アジア5カ国を横断的に比較するための産業部門別労働統計の整備については次項で説明する。

II 1991年以降のデータベースの構築

独立後の中央アジア諸国の労働統計には、次の3種類の情報源が存在する。1）統計年鑑、2）国家統計局ウェブサイトで公表された統計データ、3）CIS統計委員会資料（CISstat統計）である。資料の公表度や内容は国や時期によって異なる（統計表10および統計表11を参照）。

（1）データの典拠と産業分類

1）移行初期に関して、国家統計局が刊行した統計年鑑から労働者・職員数および平均賃金が得られるのは、カザフスタン（1991年～1994年）だけであり、その他の4カ国は平均賃金しか得られない（ウズベキスタンとキルギスタンは1991年1992年のみ、トルクメニスタンは1996年まで）。

産業部門別統計は、ソ連OKONKhに基づく18産業部門分類の下で、合計といくつかの産業部門のみが公表されている。1992年のウズベキスタンとキルギスタンは9部門、1992年以降のタジキスタンは農業部門のみ、1993年以降のトルクメニスタンは5部門のみであり、このデータの入手可能性が大きく制約されている。

⁴⁴ 中央アジア各国の労働統計体系をILO国際標準に対応させる際に発生する諸問題については、CISstat（2017）を参照されたい。

2) 国家統計局ウェブサイトから、移行後の全期間を通して労働者・職員数および平均賃金のデータが入手できるのはキルギスタンだけである。カザフスタンは 1998 年以降(2009 年の平均賃金のデータなし)、ウズベキスタンは 1997 年以降(平均賃金のデータなし)、タジキスタンは 1991 年～2005 年までのデータが入手可能であり、トルクメニスタンはデータを一切公表していない。

産業部門別統計は国ごと、時期ごとに違いがある。中央アジアの中で、カザフスタンだけは、移行後の部門別統計が一貫性を保っており、就業者数と平均賃金を同一の産業分類(18 部門と総計)で発表している。また、「経済活動分類別 OKED 2003~2007 に基づき遡及調整済み」と明記されている。

キルギスタンは、1994 年以前の就業者数は 14 部門(賃金は 22 部門)、1994 年以降の就業者数は 16 部門(賃金は 18 部門)、2000 年以降の両系列のデータは 17 部門分類で報告している。2000 年以降のデータに関しては、2000~2005 年は労働資源バランス表に基づく分類、2006~2010 年は労働力調査と家計調査に基づく分類であり、両者の期間に前後して産業部門分類が大きく変化した。

残りの 3 カ国は、公表データが遡及改訂済みか、ソ連時代の労働資源概念と ILO 方式のどちらに基づくものかがはっきりと説明されておらず、異なる定義の統計が接続されている可能性がある。ウズベキスタンは、就業者数は 11 部門分類で、タジキスタンは 12 部門分類(賃金は 18 部門)で報告している。

3) CISstat 統計からは、就業者数(Number of employed persons on pay-roll of enterprises)および月平均名目賃金(Average monthly nominal wages of employed persons)のデータが入手できる。ただし、上記の 2)と同様の問題がある。CISstat 統計からは、カザフスタン、キルギスタン、タジキスタンは 1980 年以降、ウズベキスタンは 1980~2001 年(賃金データは 1980~1999 年)、トルクメニスタンは 1980~1998 年のデータが入手できる(統計表 10 と統計表 11 を参照)。

CISstat の産業部門別統計は、基本的に 22 部門(および総計)構成であるが、時期や国、また統計項目により異なっている。カザフスタンの就業者数は 1991 年まで 14 部門、2010 年以降は 15 部門、賃金は 10 部門から 9 部門へ変化した。キルギスタンは 17 部門から 15 部門(賃金は 15 から 9 部門)へ、タジキスタンは 17 部門から 13 部門(賃金は 16 から 14 部門)へ、ウズベキスタンは 11 部門から 2001 年以降に 9 部門(賃金は 16 から 1999 年以

降に 14 部門) へ、トルクメニスタンは 17 部門から 1998 年以降に 11 部門 (賃金は 16 から 10 部門) へ再編成された。

CISstat 統計と国家統計局ウェブサイトや統計年盤のデータをウズベキスタンに関してみていくと、就業者数に関しては 1997 年以降の総計と 1997 年～2001 年の部門別データが合致し、平均賃金に関しては 1991 年と 1992 年のデータはほぼ合致していない (統計表 10a と統計表 11a)。特に 1992 年の商業・公共食堂と農業部門の平均賃金に関して、CISstat 統計は他の数値を大きく上回っている (23.6%と 15%の乖離)。その他の年についてはデータが得られないため、比較できない。トルクメニスタンに関しても、就業者数の欠損値が多く比較はできない。また、平均賃金もほぼ合致せず、特に 1992 年の文化 (-52.4%)、1991 年と 1992 年の農業 (それぞれ-27.2 と 35.0%)、輸送 (-29.8%と-24.0%) と学術・科学的サービス (18%と 25%) で大きく乖離している (統計表 10e と統計表 11e)。キルギスタンに関して、1991 年～1998 年と 2006 年～2010 年の就業者数は合致する (1995 年と 1997 年の営利市場活動を除く) が、1999 年～2005 年に関しては、合計も部門別のデータもほぼ合致しない (統計表 10c と統計表 11c)。平均賃金に関しては、1991 年～1994 年と 1999 年以降の系列がほぼ合致する。タジキスタンの就業者数に関しては、教育 (平均-14.8%の乖離)、国家管理機関・協同組合管理機関・社会組織の機構 (平均 8.0%) とその他 (平均 6.2%)、そして 1996 年までの農業部門 (平均 2.6%) 以外の部門別データが合致する (統計表 10d と統計表 11d)。また、平均賃金のデータも整合的である。

一方、カザフスタンについては、CIStat 統計と国家統計局との 2 種類の情報源から得られる就業者数 (1998 年～2010 年) と平均賃金 (1994 年、1998 年～2010 年) は、総計に関してのみ合致するが、産業部門別の数値に差が見られる (統計表 10b と統計表 11b ; 表 3a と表 3b)。この差の原因は、上述したように、産業部門分類が変更され、NACE 改訂第 2 版に準拠した国際標準 (OKED 03-2007) に基づいて遡及調整されたことにあると考えられる。

表 3a カザフスタンの産業部門別就業者数：カザフスタン国家統計局ウェブサイトと
CISstat 統計の比較 (%)

年	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉱工業	2.2	1.8	2.4	1.8	2.7	2.7	1.4	-0.9	-2.0	-2.1	-2.0	-1.9	0.0
建設業	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.0	-0.1	0.0
農業	-0.9	-0.8	-1.1	-0.9	-1.7	-1.6	-0.7	-0.7	-0.7	-0.7	-0.6	-0.8	0.0
輸送	-18.8	-18.7	-18.7	-19.7	-18.7	-18.7	-18.7	-18.7	-18.8	-18.8	-18.7	-18.8	-17.6
商業・公共食堂	-0.4	-0.4	-0.4	-0.4	-0.3	-0.4	-3.2	-0.4	-0.4	-0.5	-0.4	-0.4	0.0
保健・体育・社会保障	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	0.0
教育	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0
信用・社会保険	4.7	5.8	5.6	4.6	4.0	3.8	3.8	4.3	4.0	3.8	3.5	3.6	0.0
国家管理機関、協同組合管理機関、 社会組織の機構	85.3	...	-0.6	-0.5	-0.5	-0.6	-0.5	1.0	-0.5	-0.4	-0.4	-0.4	0.0
宿泊・飲食サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.7	0.6	0.6	0.6	0.0
ハウスキーピングサービス	...	...	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-0.2	0.1	0.0
その他のサービス部門	-66.8	-67.7	-68.9	-68.7	-68.8	-68.9	-65.4	-64.0	-55.8	-55.2	-54.9	-54.3	-44.1
不動産・賃貸など	-87.4	-87.3	-87.3	-75.7	-70.6	-70.9	-65.0	-67.9	-67.5	-68.8	-69.8	-70.3	-69.5
治外法権機関及び団体	...	0.0	...	...	-6.7	-2.3	-4.0	-9.7	-14.5	-20.0	-15.0	-25.0	0.0

出所：統計表 10b に基づき、筆者作成。

注：(国家統計局データ÷CISstat 統計－1) ×100) として計算。

表 3b カザフスタンの産業部門別月平均賃金：カザフスタン国家統計局と CISstat 統計の
比較 (%)

年	1991	1992	1993	1994	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2010
合計	-3.4	-3.4	-0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉱工業	-5.7	-6.0	-0.3	0.0	1.6	2.4	1.2	0.5	4.4	-0.8	-0.7	-0.6	-0.5	-0.5	-0.4	0.0
建設業	-6.2	-9.1	0.2	0.0	-3.2	-0.1	2.1	1.8	-0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	-0.2	0.0
農業	5.6	4.2	0.5	0.1	11.3	-1.3	-3.9	-0.4	-1.0	-1.1	-1.7	-1.7	-1.8	-2.0	-1.5	0.0
輸送	0.0	-4.8	10.7	5.0	0.1	-3.7	-1.7	-2.5	-3.5	-2.3	-1.6	-1.8	-1.7	-3.6	-4.6	0.0
通信	0.1	-9.3	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
商業・公共食堂	0.1	-7.6	7.2	0.3	-0.3	4.5	5.1	2.6	0.6	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	-0.4	0.0
住宅・公共経営；非生産的種類の住 民向け日常生活サービスなど	0.0	-9.4	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
保健・体育・社会保障	-0.1	-4.4	0.3	0.0	0.3	-0.2	0.0	0.5	0.0	-0.1	0.1	0.0	0.1	0.3	0.2	0.0
教育	0.0	-3.7	-0.5	-1.6	14.0	1.1	0.9	0.7	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
文化	-1.9	-6.8	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
学術・科学的サービス	-0.1	-8.9	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
信用・社会保険	-0.1	-11.2	14.3	0.1	4.0	3.9	4.4	8.4	5.5	7.7	4.8	3.4	3.9	3.2	3.2	0.0
国家管理機関、協同組合管理機関、 社会組織の機構	0.0	-9.7	7.2	0.0	0.8	0.1	5.5	0.6	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	-0.1	0.0
情報処理	...	-3.0	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

出所：統計表 11b に基づき、筆者作成。

注：(国家統計局データ÷CISstat 統計－1) ×100) として計算。

ただし、1998～2010 年の産業部門別就業者数の中で、建設業、保健・体育・社会保障（1998 年と 1999 年を除く）、信用・社会保険、国家管理・協同組合管理・社会組織の機構（1998 年を除く）、宿泊・飲食サービス業、ハウスキーピングサービス、治外法権機関及び団体の就業者数については、両系列の構成比が合致していることが確認できる（統計表 10b、表 4）。一方、不動産・賃貸部門の差は最も大きく、CISstat 統計の構成比が平均 2.9% 上回っている。また、その他のサービス部門（平均で 1.7%）、輸送業（1.5%）と農業（0.3%）の構成比も相対的に大きくなっているが、通信業（-1.6%）と鉱工業（-0.1%）の構成比は統計局データのそれを下回っている。なお、鉱工業については、2004 年までの CISstat 統計の構成比は平均-0.3%小さいが、2005 年以降は平均 0.2%上回るようになった。

表 4 カザフスタンの産業部門別構成比の比較：カザフスタン国家統計局ウェブサイトと CISstat 統計の就業者数

年	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉱工業	-0.3	-0.3	-0.3	-0.2	-0.3	-0.3	-0.2	0.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
農業	0.2	0.2	0.3	0.3	0.6	0.6	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0
輸送	1.7	1.8	1.7	1.5	1.4	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3
通信	-2.1	-2.1	-2.0	-1.5	-1.5	-1.5	-1.4	-1.4	-1.4	-1.4	-1.5	-1.5	-1.3
商業・公共食堂	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
保健・体育・社会保障	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
教育	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.0	-0.1	0.0
信用・社会保険	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
国家管理機関、協同組合管理機関、 社会組織の機構	-2.6	...	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
宿泊・飲食サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ハウスキーピングサービス	...	...	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他サービス	2.0	1.9	2.0	1.9	1.9	1.9	1.8	1.8	1.5	1.4	1.4	1.5	1.1
不動産・賃貸など	2.6	3.0	3.2	2.4	2.1	2.1	2.1	2.7	2.9	3.2	3.4	3.5	3.9
治外法権機関及び団体	...	0.0	...	...	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

出所：統計表 10 b に基づき、筆者作成。

注：（CISstat 統計データの構成比－国家統計局データの構成比）として計算。

中央アジア各国の国家統計局が CISstat に提出した公式労働統計のうち、経済活動人口、就業者数、失業率を表 5 にまとめた。ただし、タジキスタンとトルクメニスタンに関しては、ほとんどの年についてデータが得られないため、表 5 には世界銀行のデータを追加的に使用して欠損値を補間した。

表 5 中央アジア 5 カ国における労働力の構成（経済活動人口、就業者数、失業率）

	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
経済活動人口（千人、年平均値）																				
ウズベキスタン*	8255	8280	8272	8400	8475	8589	8709	8833	8924	9018	9174	9368	9621	9946	10224	10493	11299	11603	11930	12287
カザフスタン	7716	7578	6963	7118	7360	7490	7440	7053	7055	7107	7479	7400	7657	7841	7902	8029	8228	8415	8458	8611
キルギスタン*	1754	1841	1710	1716	1742	1792	1792	1811	1901	1913	1939	2116	2143	2177	2261	2285	2344	2380	2420	2456
タジキスタン*	1971	1917	1977	1887	1890	1777	1842	1855	1791	1794	1872	1904	1932	2132	2154	2185	2201	2217	2264	2280
トルクメニスタン	1650	1705	1761	1832	1892															
内、就業者数（千人、年平均値）																				
ウズベキスタン*	8255	8272	8259	8379	8449	8561	8680	8800	8885	8983	9136	9333	9589	9911	10196	10467	10735	11035	11328	11628
カザフスタン	7716	7578	6963	6582	6552	6519	6472	6128	6105	6201	6699	6709	6985	7182	7261	7404	7631	7857	7903	8114
キルギスタン*	1754	1836	1681	1645	1642	1652	1689	1705	1764	1768	1787	1850	1931	1991	2077	2096	2153	2184	2216	2244
タジキスタン*	1971	1909	1855	1855	1853	1731	1891	1790	1737	1745	1829	1857	1885	2090	2112	2137	2150	2168	2219	2233
トルクメニスタン	1527	1578	1628	1692	1749	1780	1816	1839	1908											
失業率（％）																				
ウズベキスタン											...	...	...	...	...	...	5.0	4.9	5.0	5.4
カザフスタン										12.8	10.4	9.3	8.8	8.4	8.1	7.8	7.3	6.6	6.6	5.8
キルギスタン					5.7	7.8	7.2	7.2	7.2	7.5	...	12.5	9.9	8.5	8.1	8.3	8.2	8.2	8.4	8.6
タジキスタン											...	...	...	7.4		...	9.5	...	11.5	...
トルクメニスタン																				
失業率（％）**																				
ウズベキスタン**	1.9	2.9	4.9	7.3	7.8	10.7	10.9	13.3	13.3	12.06	10.9	9.9	8.9	7.8	6.8	5.9	5.0	4.9	5.0	5.4
カザフスタン**	0.9	1	1.11	7.54	10.98	12.96	13.01	13.13	13.46	12.75	10.4	9.3	8.8	8.4	8.1	7.8	7.3	6.6	6.6	5.8
キルギスタン**	1	1.1	3.4	4.7	5.6	7.3	7.5	8.9	8.4	7.54	7.8	12.6	9.9	8.5	8.1	8.3	8.1	8.2	8.4	8.6
タジキスタン**	1.9	2.1	6.2	8.8	10.3	13.4	13.9	16.5	15.4	14.96	14.6	14.3	13.9	13.4	12.9	12.4	11.8	11.4	11.5	10.9
トルクメニスタン**	1.4	1.5	1.5	4.7	8.3	10.3	11	12.2	12.7	11.67	10.7	9.9	9.0	8.1	7.3	6.4	5.6	4.9	4.5	4.0

出所：CISstat 統計に基づき、筆者作成。

注：*労働資源バランス表に基づく（ウズベキスタンは 2007 年まで、キルギスタンは 2002 年まで）。**世界銀行（World Development Indicators データベース）。

（２）移行期データベースの統計的処理方法

以上で説明した通り、各国の国家統計局の公表データと CISstat 統計は必ずしも合致しない。CISstat は加盟国から可能な限り統一した基準でデータを収集・調整しデータベースを作成する努力を行ったと考えられる。そこで、中央アジア 5 カ国の労働統計データベースを構築するにあたって、CISstat 統計の系列を利用し、欠損値を各国家統計局ウェブサイトや統計年鑑から補うことを基本方針とする。

さらに、前項で述べたように、移行期の労働統計の産業部門分類は国ごとに異なるため、本稿では次の手順で統一的な産業部門分類へ集計する。この際、部門編成の基準として NACE（改訂第 1 版）とウズベキスタンの経済活動分類 OKED（改訂第 1 版）に依拠する。すなわち、OKONKh ベースの産業部門別統計を、表 6 のように組み替える。これは、あくまでも大分類での集計であり、各部門を構成する中身は国ごとに若干異なり、整合的ではない可能性がある点に改めて注意する。また、この作業によって、各国の産業部門編成の統一性は保たれるが、時系列の一貫性を欠く問題も残る。

就業者数は、以下の 10 部門と総計に再編成した：A-B：農業・狩猟・林業、漁業、C-E：鉱業、製造業、電力・ガス・水道、F：建設、G-H：商業・修繕、宿泊・飲食サービス業、I：輸送・通信、JK：金融、信用、保険、不動産、ビジネスサービス、L：行政・国防・保険、治外法権機関及び団体、M：教育、N：保健・社会サービス、O：その他サービス。
このようにして得られた就業者数を統計表 12 に示した。欠損値は線型補間の推計値を掲載した。

表 6 OKONKh から OKVED への産業部門の組み替え

旧分類コード	産業部門分類 (OKONKh)	旧分類の番号
10000	鉱工業	1
60000	建設業	2
20000	農業	3
30000	林業	4
40000	運輸	5
50000	通信	6
70000	商業・公共食堂	7
80000, 81000	物的調達・資材機械補給及び販売、一般的商業活動	8
90000, 90300	住宅・公共経営；非生産的種類の住民向け日常生活サービスなど	9
91000	保健、体育、社会保障	10
92000	教育	11
93000	文化	12
93000	芸術	13
95000	学術・科学的サービス	14
96000	金融、信用、社会保険	15
97000, 98000	国家管理機関、協同組合管理機関、社会組織の機構	16
82000	情報処理	17
87000	その他	18
新設の部門分類 (OKVED)		
n.a.	漁業	19
n.a.	地質学・気象学	20
n.a.	宿泊・飲食サービス業	21
n.a.	ハウスキーピングサービス	22
n.a.	その他のサービス部門	23
n.a.	不動産・賃貸など	24
n.a.	治外法権機関及び団体	25
n.a.	商業的市場活動	26
n.a.	鉱業	27
n.a.	製造業	28
n.a.	電力・ガス・水道	29

新分類コード	経済活動の種類 (OKVED)	旧分類の番号
C-E	鉱業、製造業、電力・ガス・水道	1, 27, 28, 29
F	建設	2
A-B	農業・狩猟・林業、漁業	3, 4, 19
I	輸送・通信	5, 6
G-H	商業・修繕、宿泊・飲食サービス業	7, 8, 21
N	保健・社会サービス	10
M	教育	11
J-K	金融、信用、保険、不動産、ビジネスサービス	14, 15, 17, 20, 24
L・Q	行政・国防・保険、治外法権機関及び団体	16, 25
O	その他サービス	9, 12, 13, 18, 22, 23, 26

出所：NACE (改訂第 1 版) とウズベキスタン共和国の「経済活動種類の全国分類表 (OKED 改訂第 1 版)」に基づき、筆者作成。

1991～2010 年までの CISstat 統計データは、総計と全部門の合計値が一致しない。ウズベキスタンの場合、1991 年～1996 年の就業者数総計は部門の合計値よりも平均 2.6%（標準偏差 1.4）大きく、1997～2001 年では平均 1.4%（標準偏差 0.1）小さい。カザフスタンに関して両者の差は 1997 年までの期間で平均 3.9%（標準偏差 1.0）、キルギスタンに関しては 2001 年までの期間の平均で 0.2%（標準偏差 0.2）、タジキスタンに関して全期間平均で 0.3%（標準偏差 0.1）、トルクメニスタンに関しては 1991 年～1995 年は一致するが、1996 年と 1998 年で平均 2.8%（標準偏差 0.4）、1997 年は 0.7%の差が生じている。これらの差は、一部の国や時期において、CISstat 統計のデータに 1991 年以降に新設された部門の統計が含まれていないことが関係していると考えられる。このことを考慮して、1991 年以降の系列については、CISstat 統計の部門別データを組み換えるととともに、「総計」と全部門の合計値が等しくなるように「その他サービス」部門の数値を調整した（総計が過大評価の場合、差額を計上）。

平均賃金の長期統計系列（統計表 13）については、表 6 の左側に記載された新設部門は欠損値が多いので除外し、旧 18 部門のうち 8（物的調達・資材機械補給および販売）、17（情報処理）および 18（その他）を除いた項目を対象に、総計と旧 15 部門を含む部門分類に再編成した。なお、1993 年以降（タジキスタンの場合は 1995 年以降）の平均賃金は、各国の通貨単位で表示している。

4. 労働統計の長期的動態

本節では、第 2 節と第 3 節で整備したソ連期と移行期の労働統計を接続させた上で、労働市場の長期的な動態を概観する。

I 労働長期系列の接続方法

上述したように、ソ連崩壊前後の旧部門分類・新分類データをそのまま接続することはできない。そこで、以下のように統計的処理する。

はじめに、ソ連期統計を 1991 年以降の産業分類に接続するために、労働者・職員数は 10 部門に組み替え、平均賃金は 15 部門構成に組み換える（統計表 12 および統計表 13）。労働者・職員数と平均賃金の部門構成は完全に合致しない。平均賃金の「3 農業」と「4 林業」部門は労働者・職員数の「3 農業・狩猟・林業、漁業」に対応し、平均賃金の「5 輸送」と「6 通信」は労働者・職員数の「4 輸送・通信」部門に、平均賃金の「8 住宅・

公共経営；非生産的種類の住民向け日常生活サービスなど」・「11 文化」・「12 芸術」は労働者・職員数の「10 その他サービス」部門に、平均賃金の「13 科学・科学サービス」・「14 信用・社会保険」は労働者・職員数の「8 金融、信用、保険、不動産、ビジネスサービス」に対応する。

続いて、ソ連期の農業部門の労働者・職員数にコルホーズ員数を加算する。これに従って、労働者・職員数もコルホーズ員数だけ増加する。

さらに、ソ連期と移行期の就業者数が整合的になるようにソ連期のデータを遡及改訂する。ここでは、ソ連期には失業者数がゼロであったと想定している点に注意しておく。CISstat 統計からは、1980 年以降の産業部門別就業者数の遡及データが得られる。またソ連期の統計年盤からは 1990 年以前の産業部門別就業者数（労働者・職員数とコルホーズ員数）データが得られる。そこで重複する期間に関して産業部門ごとに 2 種類の就業者数を比較した対比係数を計算する（（ソ連期データ／CISstat 統計－1）×100、％）（表 7）。

表 7 ソ連期就業者数と CISstat 統計就業者数の比較：対比係数（％）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
年	総計	鉱業、製造業、電力・ガス・水道	建設	農業・狩猟・林業・漁業	輸送・通信	商業・修繕、宿泊・飲食サービス業	保健・社会サービス	教育	金融、信用、保険、不動産、ビジネスサービス	行政・国防・保険、治外法権機関及び団体	その他サービス
ウズベキスタン											
1980	-10.2	-6.6	-6.7	-16.6	-0.5	-7.4	-3.1	-15.3	-15.3	-6.3	15.9
1985	-10.9	-6.3	-5.9	-19.2	-0.4	-6.9	-3.0	-15.4	-9.8	-6.5	18.1
1990	-20.9	-16.8	-22.2	-33.7	-2.2	-6.7	-3.4	-23.2	409.9	-32.4	67.1
カザフスタン											
1980	-4.8	-7.5	-2.4	-5.2	-0.2	-6.9	-3.5	-17.0	43.3	-10.2	28.3
1985	-5.0	-7.7	-4.9	-4.6	-0.2	-7.2	-3.5	-16.8	43.1	-11.3	26.9
1990	-13.6	-11.6	-17.9	-14.3	-0.7	-5.5	-4.1	-16.8	27.3	-34.6	11.4
キルギスタン											
1980	-10.0	-9.5	-6.3	-13.7	-1.0	-9.1	-7.0	-17.8	-13.8	-31.7	24.1
1985	-11.0	-10.2	-10.1	-13.9	-1.1	-7.1	-7.4	-17.3	-16.5	-33.9	18.7
1990	-17.4	-15.0	-15.7	-21.1	29.3	-9.7	-7.3	-17.4	-22.4	-52.2	-16.1
タジキスタン											
1980	-19.1	-10.5	-10.2	-32.2	-0.7	-9.1	-6.9	-17.9	-25.2	-31.3	28.0
1985	-19.9	-11.1	-24.3	-34.3	-0.7	-9.7	-6.9	-16.9	-27.3	-33.7	67.6
1990	-26.9	-17.8	-39.5	-41.2	25.1	-15.1	-6.9	-16.1	-35.2	-47.9	0.8
トルクメニスタン											
1980	-11.9	-15.4	-10.2	-14.2	-0.5	-14.1	-6.6	-21.9	-25.4	-24.5	19.3
1985	-13.9	-15.6	0.0	63.1	5.0	-9.9	-6.4	-21.1	-24.2	-24.6	-15.3
1990	-16.8	-17.5	0.0	59.3	39.9	-1.6	-1.6	-16.8	-20.9	-39.1	-18.5

出所：統計表 7、統計表 10 と統計表 12 に基づき、筆者作成。

注：（（ソ連期データ／CISstat 統計－1）×100 として計算。

表 7 から明らかなように、1980 年の対比係数は－19.1％（タジキスタン）～－4.8％（カザフスタン）の幅があるが、ソ連期統計年鑑の就業者数は CISstat 統計に比べて過小であ

る。この傾向は、1990 年に近づくほど強まる。また産業部門別に見た場合、サービス関連の産業で過小評価の傾向が強い。

同様に、平均賃金に関しては、総計、農業、文化を除く部門で対比係数が 0% となり、2 種類の統計が合致する（表 8）。ソ連期の農業部門の平均賃金データには賃金水準が低いコルホーズ員が含まれていないため、CISstat 統計よりも過大に評価されていると考えられる。

表 8 月平均賃金データのソ連期と CISstat の比較：対比係数（%）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
年	総計	鉱工業	建設業	農業	林業	輸送	通信	商業・公共 食堂	住宅・公共 経営、住民 向け生活 サービス	保健・社会 保障	教育	文化	芸術	学術・科学 的サービス	信用・社会 保険	国家管理機 関、協同組 合管理機関 など
ウズベキスタン																
1980	3.3	0.0	0.0	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-2.8	…	0.0	0.0	0.0
1985	3.9	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-2.6	…	0.0	0.0	0.0
1990	-1.4	0.0	-0.1	8.7	0.0	-0.3	0.0	-0.4	0.0	0.0	0.0	-2.3	…	0.0	0.0	0.0
カザフスタン																
1980	0.7	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-3.2	…	0.0	0.0	0.0
1985	0.4	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-3.7	…	0.0	0.0	0.0
1990	-1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	-2.4	-13.4	0.0	0.0	0.0	-1.2	…	0.0	0.0	0.0
キルギスタン																
1980	3.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.5	…	0.0	0.0	0.0
1985	0.2	0.0	0.0	-2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.9	…	0.0	0.0	0.0
1990	-1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-3.5	…	0.0	0.0	0.0
タジキスタン																
1980	2.2	0.0	0.0	-2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.4	…	0.0	0.0	0.0
1985	2.0	0.0	0.0	-2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.9	…	0.0	0.0	0.0
1990	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	-2.8	0.8	-14.6	0.0	0.0	0.0	-5.3	…	0.0	0.0	0.0
トルクメニスタン																
1980	4.1	-0.4	0.0	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-2.6	…	0.0	0.0	0.0
1985	4.6	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-3.0	…	0.0	0.0	0.0
1990	-1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-4.7	…	15.9	0.0	-0.3

出所：統計表 8、統計表 11 と統計表 13 に基づき、筆者作成。

注：（（ソ連期データ／CISstat データー－1）×100）として計算。

表 7 と表 8 において、カザフスタンの対比係数は経済全体でも産業部門別でも他の中央アジア 4 国より小さい。カザフスタン農業のソフホーズ化が他国よりも進展していたことがこの背景として考えられる。

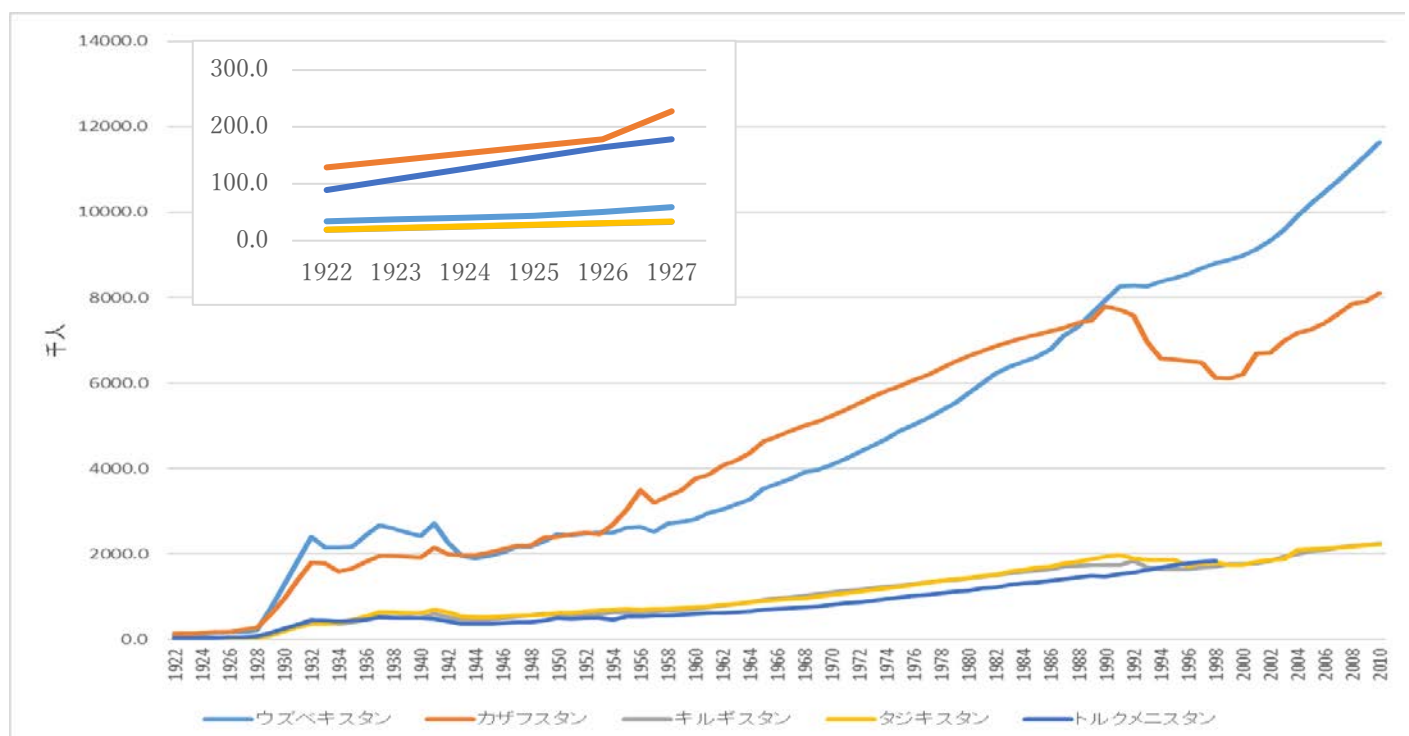
以上の分析からは対比係数が 1980 年以前にはさらに小さくなる可能性が考えられるが、本稿では、1980 年の対比係数を用いてそれ以前の産業部門別労働統計を遡及改訂する。推計結果を統計表 14 と統計表 15 に示した。

II 中央アジア 5 カ国における労働統計の長期動態

ここでは、中央アジア 5 カ国の産業部門別の就業と賃金の構造の長期動態を素描する。

図1に、中央アジア5カ国の就業者数の推移を示した⁴⁵。1922～2010年において、ウズベキスタンとカザフスタンの就業者数が著しく増加している⁴⁶。ソ連期に関して注目する点は、1928年～1932年に、農業の全面的集団化や遊牧民の強制的な定住化、農民のソフホーズ化が進んだ結果、就業者数が顕著に増加したことである。その後、1933年以降における大飢饉と大量の餓死の発生により就業者数が減少した。1937年以降の大粛清の痕跡も見られる。中央アジアの就業者数は、1940年頃に東部地域への疎開措置の結果として一時的に増加したが、第2次世界大戦期に再び減少した。1954年以降の数年間においてカザフスタンの就業者数が一時的に大きく増加した背景には、「処女地開拓」の開発政策があった。ソ連崩壊後の1991年以降は、移行改革に伴うGDPの下落や大量解雇、さらには中央アジア5カ国からの大量の人口流出を背景として、特にカザフスタンで就業者数が著しく縮小した。

図1：5カ国における就業者数の推移（1922～2010年、年平均、千人）



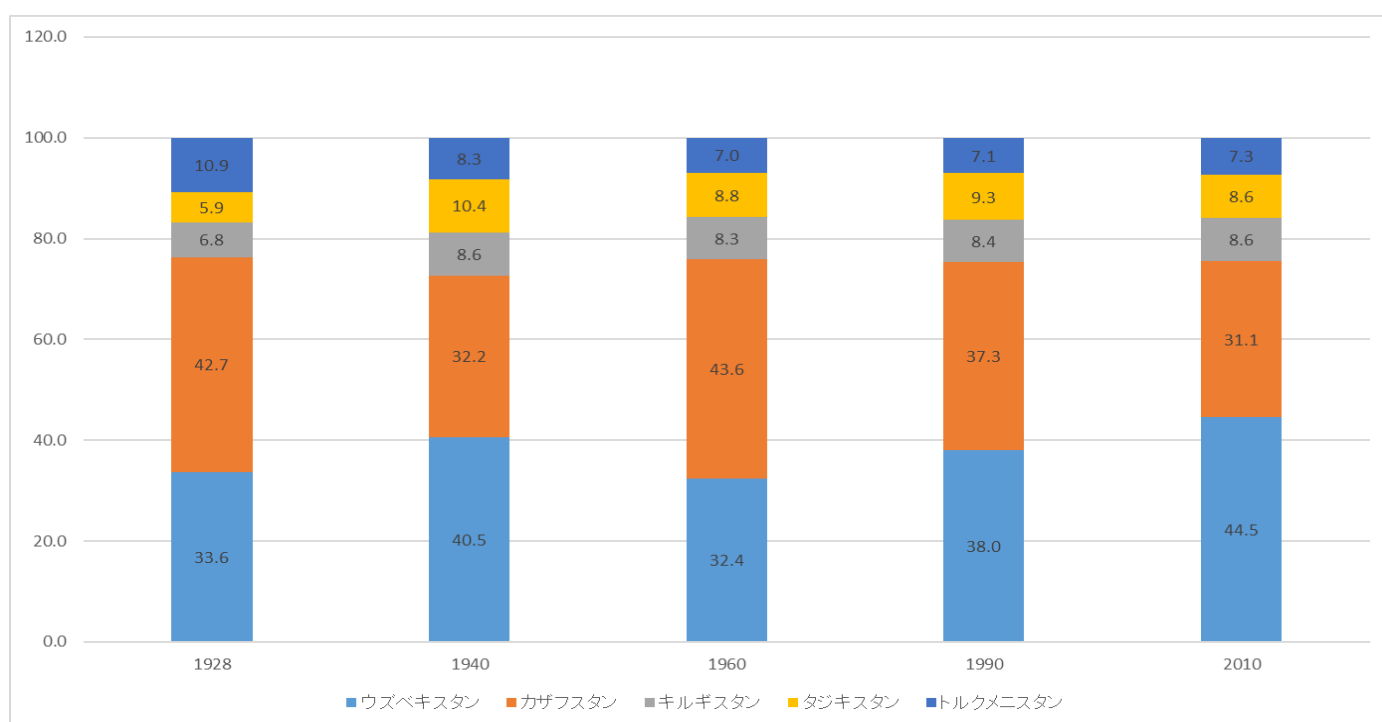
出所：統計表14に基づき、筆者作成。

⁴⁵ 残念ながら、キルギスタンに関しては、1913年、1920～1921年の鉱工業部門を除いて1922年以前のデータは得られなかった。

⁴⁶ 1928年からコルホーズ員数が含まれている。

図2に就業者数の国別の構成の推移を示した。中央アジア各国の就業者数のシェアは、1928～2010年に大きな変化が見られず、ウズベキスタンとカザフスタンが全体の大半を占める状況が続いている（期間平均で計75.18%）。しかし、第2次世界大戦後の時期に両国の順位が逆転した。ウズベキスタンとカザフスタンの就業者数シェアは1928年にそれぞれ33.6%と42.7%であったが、2010年にはそれぞれ44.5%と31.1%となった。この期間に、トルクメニスタンのシェアは3.6ポイント縮小した。

図2 中央アジアの国別就業構成（%）

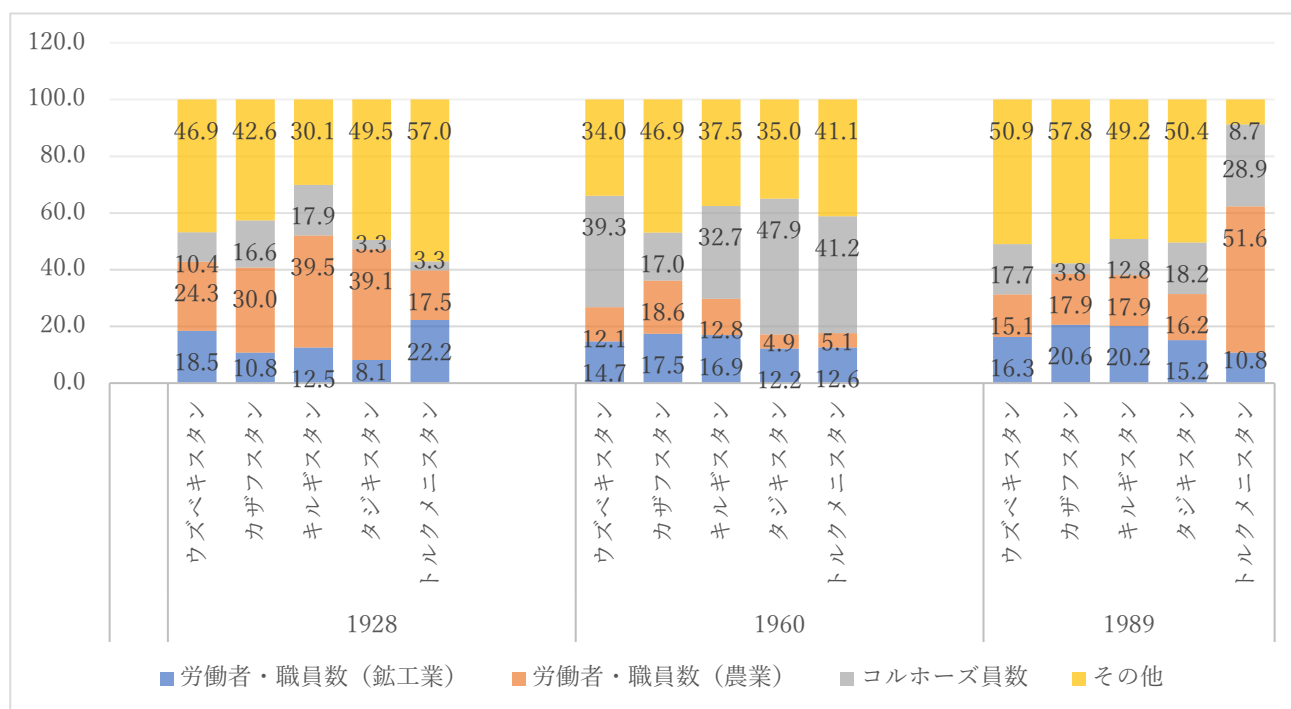


出所：統計表14に基づき、筆者作成。

続いて、就業者数の産業部門構成の変化について見ていく。まず、図3にソ連期の労働者・職員数およびコルホーズ員数の構成の推移を示した。1928～1960年の期間に、年平均就業者総数に占めるコルホーズ員の割合は5カ国すべてで大きく増加した。このことは、中央アジア地域が綿花生産に特化していった状況を反映している。コルホーズ員の割合は、タジキスタン（1928年3.3%から1960年47.9%へ）、トルクメニスタン（3.3%から41.2%へ）、ウズベキスタン（10.4%から39.3%へ）において特に大きく増大した。しかし、1960年以降

は、工業化が進み、農業以外の物的生産分野で就業者数が増加し、コルホーズ員の割合が減少に転じた。特にカザフスタンでは、コルホーズ員の減少が顕著であり、1960 年の 17.0%から 1989 年の 3.8%にまで縮小した。

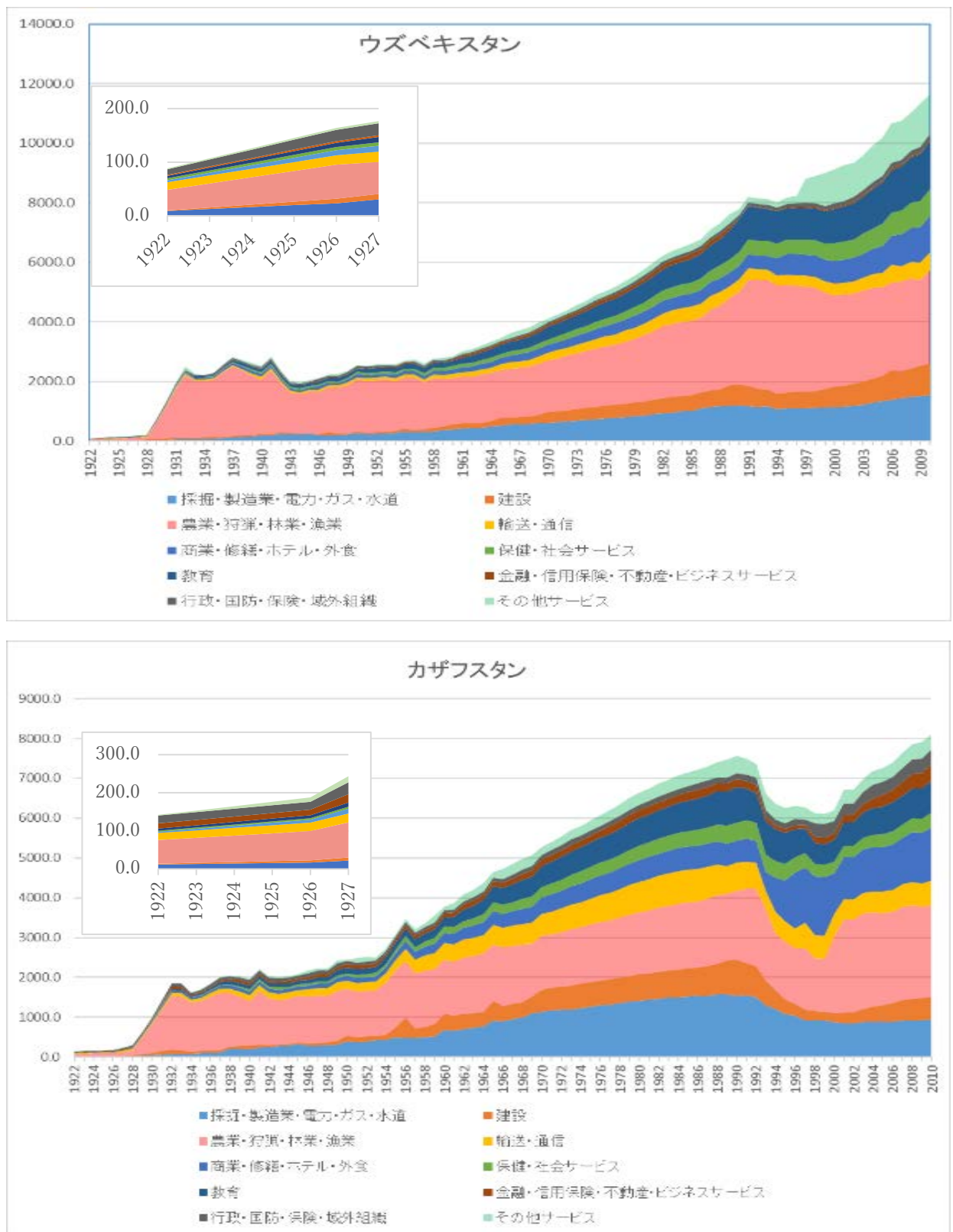
図 3 就業者数の構成比、国別・時期別の比較 (%)

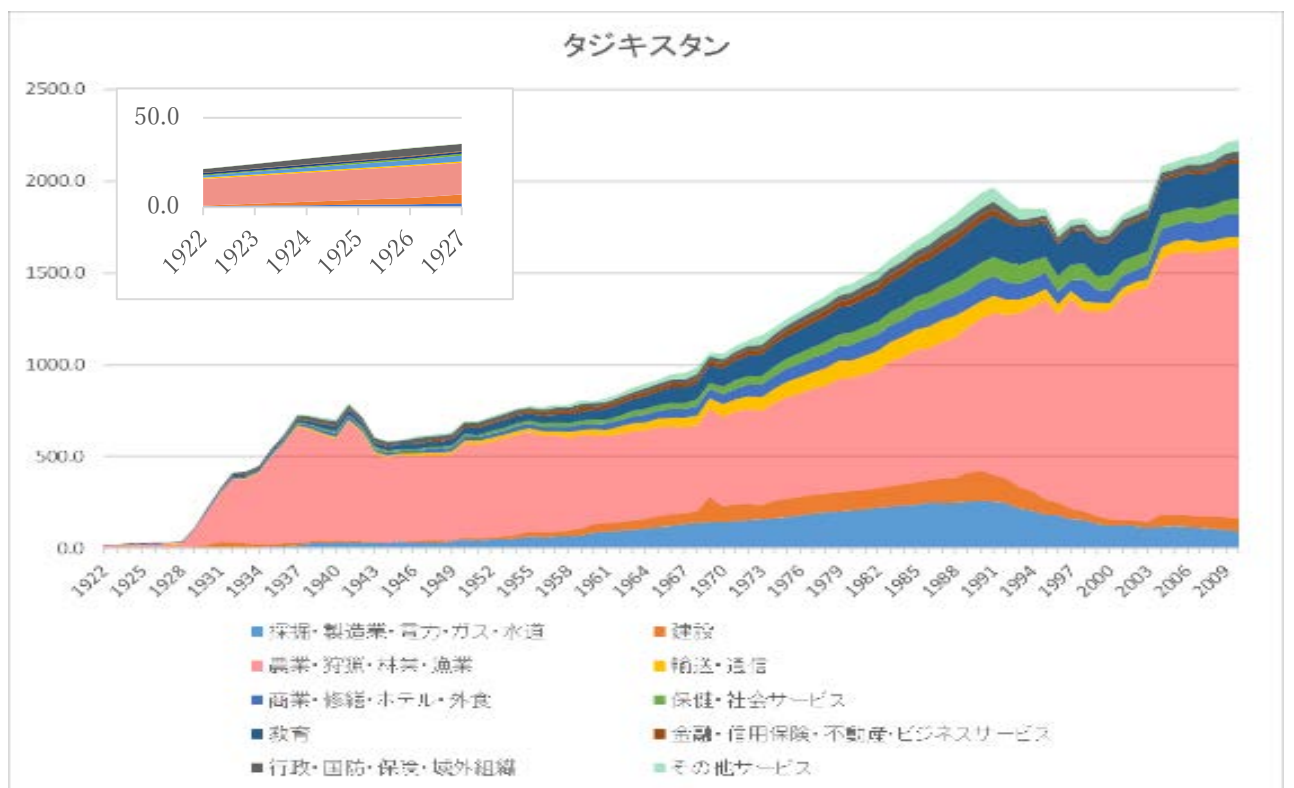
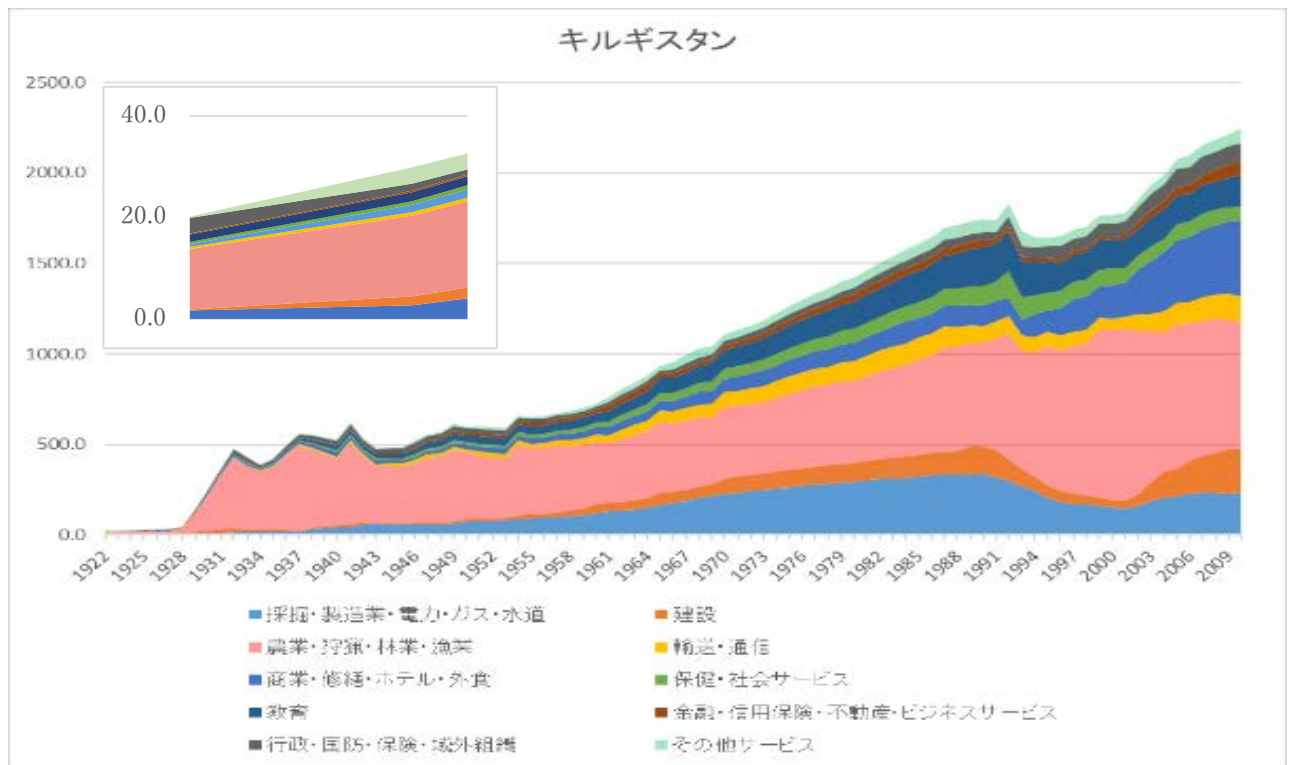


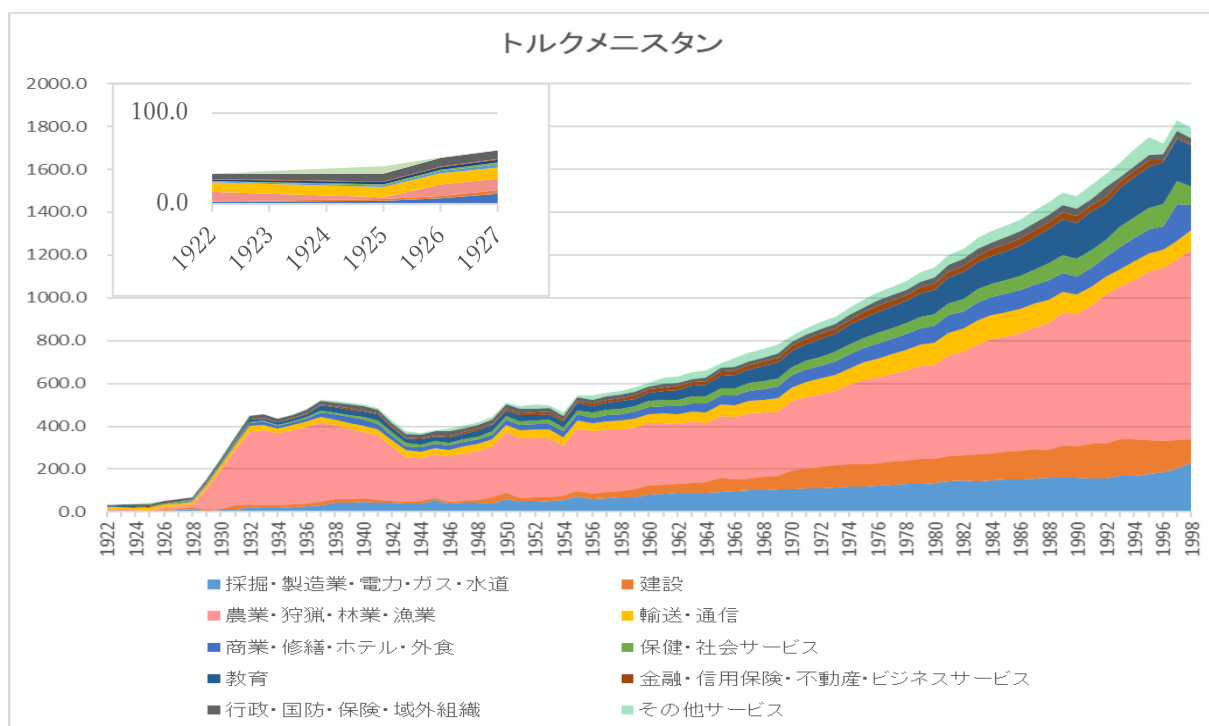
出所：統計表 5 と統計表 7 に基づき、筆者作成。

図 4 に、中央アジア 5 カ国の就業構造の長期的な変化を示した。期間全体を通して、カザフスタンとウズベキスタンにおいて農業部門のシェアが縮小し、その他の部門のシェアが拡大するという産業構造の多角化が最も大きく進展した。一方で、1992～1997 年の期間に内戦に苦しんだタジキスタンは、農業部門の割合が 1990 年の 42.9%から 2003 年の 67.8%まで拡大し、2004 年以降も就業者数全体の 7 割弱を占める状況が続いている。

図4 中央アジア5カ国の産業部門別就業構成の変化（1922～2010年、千人）





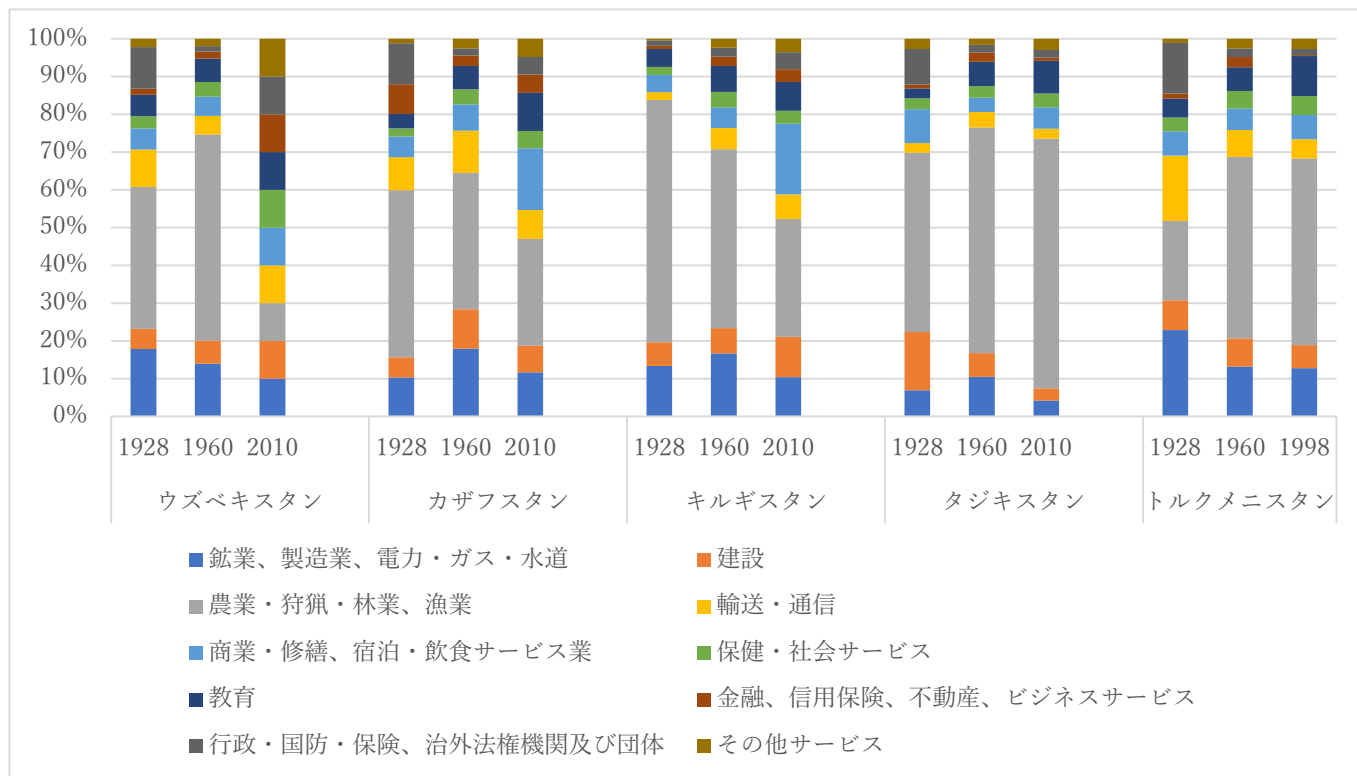


出所：統計表 14 に基づき、筆者作成。

注：トルクメニスタンは 1998 年までの数値。

図 5 には、1928 年、1960 年と 2010 年の就業者の産業部門別構成比率を示した。1928 年から 2010 年にかけて、いずれの国においても移行後に「鉱業、製造業、電力・ガス・水道」、「農業・狩猟・林業、漁業」と「行政・国防・保険、治外法権機関及び団体」の割合が相対的に縮小し、「商業・修繕、宿泊・飲食サービス業」（タジキスタンを除く）、「教育」と「その他サービス」部門の割合が顕著に拡大している。

図5 5カ国における部門別就業構造の変遷（1928年、1960年、2010年、%）

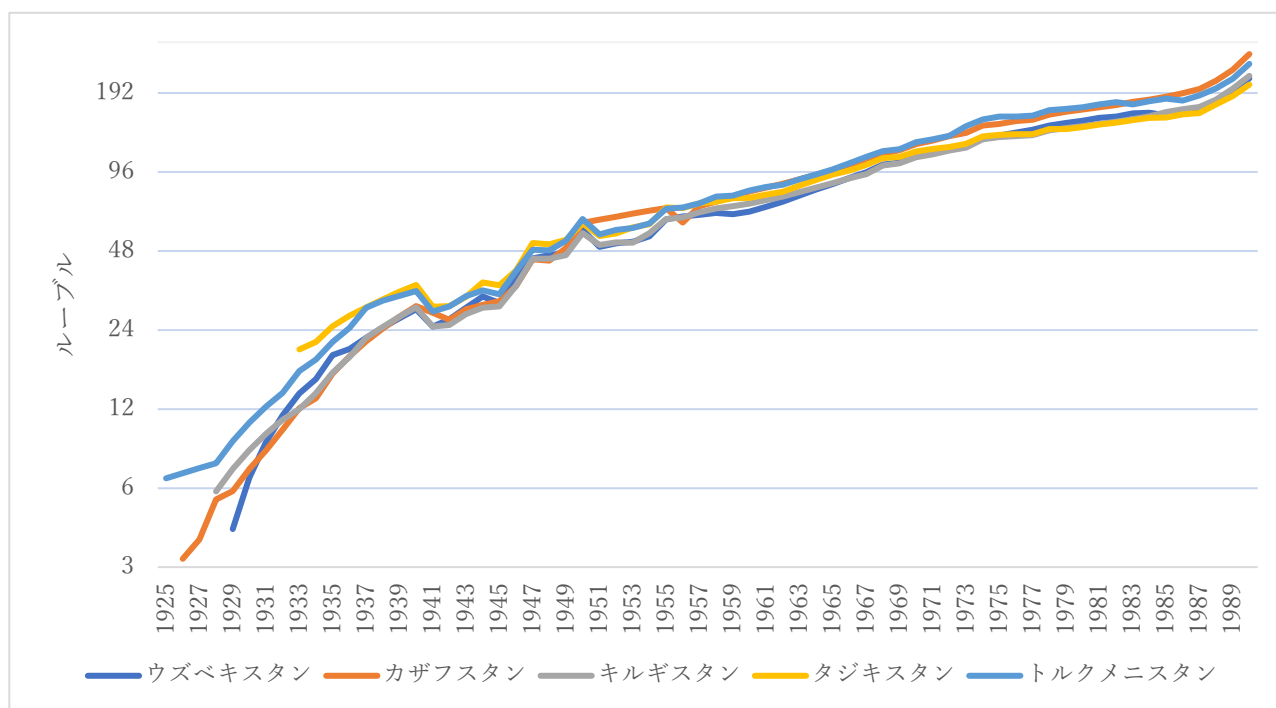


出所：統計表 14 に基づき、筆者作成。

注意：トルクメニスタンのみ 2010 年の代わりに 1998 年の数値を示した。

続いて、月平均名目賃金額の長期動態の状態を見ていく。ソ連期はルーブル表示、移行後は各国の自国通貨表示であり、直接の比較が難しいため、ソ連期と移行期は別にみていく。図 6 にはソ連期の推移を示した。中央アジア地域の経済発展に伴い、1990 年までに各国の平均賃金水準は上昇した。

図6 5カ国における月平均名目賃金の推移（1925～1991年、ルーブル、半対数）



出所：統計表 15 に基づき、筆者作成。

ここで注意しなければならないのは、ソ連期の平均賃金水準には、コルホーズ員の割合、産業部門構成、労働者・職員の職務構成、熟練労働者比率などの労働力の構成の国ごとの特徴が影響しているという点である。また、貨幣賃金に含まれていない報酬、例えば現物支給なども影響する（志田, 2011）。現物支給の詳細については、本稿の2節1項の（3）「労働報酬の統計」で説明した通りであるが、中央アジアの賃金水準の違いを確認する手がかりとして、表9に示したコルホーズ員の労働報酬を取り上げる。

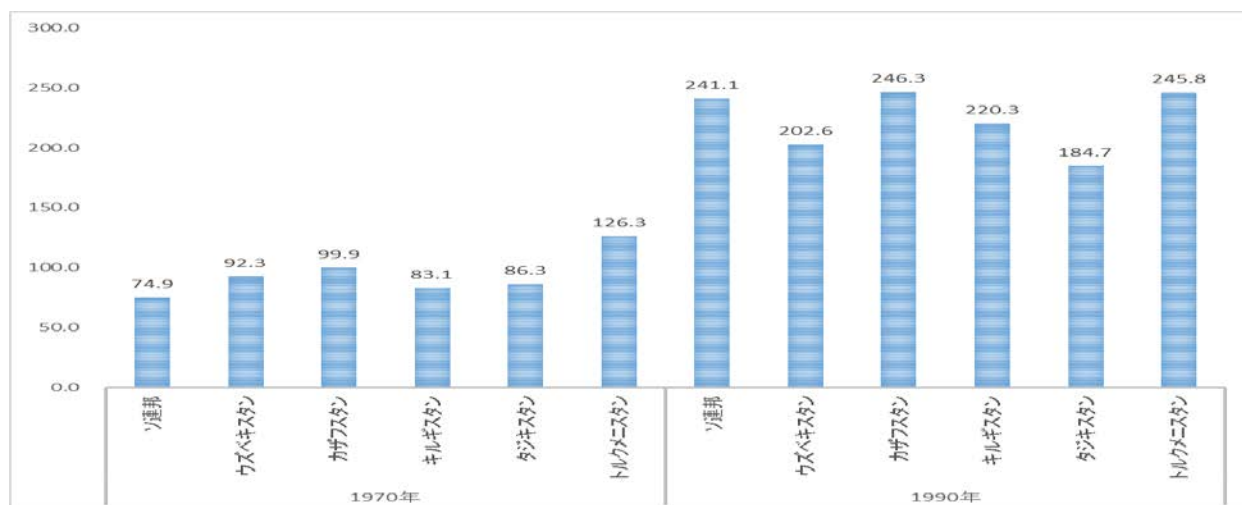
表 9 コルホーズ員に対する「一日当り期待生産高」当り平均穀物支給量と平均貨幣支給額

国名	単位	1937年	1940年	1950年	1951年	1952年
ソ連邦	平均穀物支給量 (キロ)	4.0	1.6	1.5	1.4	1.8
	平均貨幣支給額 (ルーブル)	0.9	0.9	1.5	1.5	1.4
ウズベキスタン	平均穀物支給量 (キロ)	0.4	0.3	1.6	1.6	1.7
	平均貨幣支給額 (ルーブル)	4.2	2.6	6.2	5.3	4.4
カザフスタン	平均穀物支給量 (キロ)	3.9	1.3	2.2	1.0	1.9
	平均貨幣支給額 (ルーブル)	0.9	1.0	1.1	0.9	1.0
キルギスタン	平均穀物支給量 (キロ)	2.7	1.6	0.8	1.2	2.2
	平均貨幣支給額 (ルーブル)	2.0	1.6	3.3	2.7	2.7
タジキスタン	平均穀物支給量 (キロ)	2.8	1.8	2.3	2.4	2.5
	平均貨幣支給額 (ルーブル)	4.7	3.2	11.5	10.0	9.3
トルクメニスタン	平均穀物支給量 (キロ)	0.8	0.4	1.8	1.8	1.8
	平均貨幣支給額 (ルーブル)	4.7	3.2	11.5	10.2	9.3

出所：ロシア連邦経済文書館所蔵ソ連中央統計局fond資料（F.1562, Op.33, Ed.2734, L.36-39, L.40-43）、西村・岩崎（1999, 表 21, 表 22）に基づき筆者作成。

ソ連期において 5 カ国の間で平均賃金の格差はそれほど大きくなかったが、ソ連末期に近づくほどカザフスタンおよびトルクメニスタンの賃金水準が相対的に高くなり、ソ連全体の水準を上回るようになった（図 7）。一方、タジキスタンの平均賃金は、第 2 次世界大戦前の時期において地域で最も高い水準にあったが、1990 年には最低水準となった。

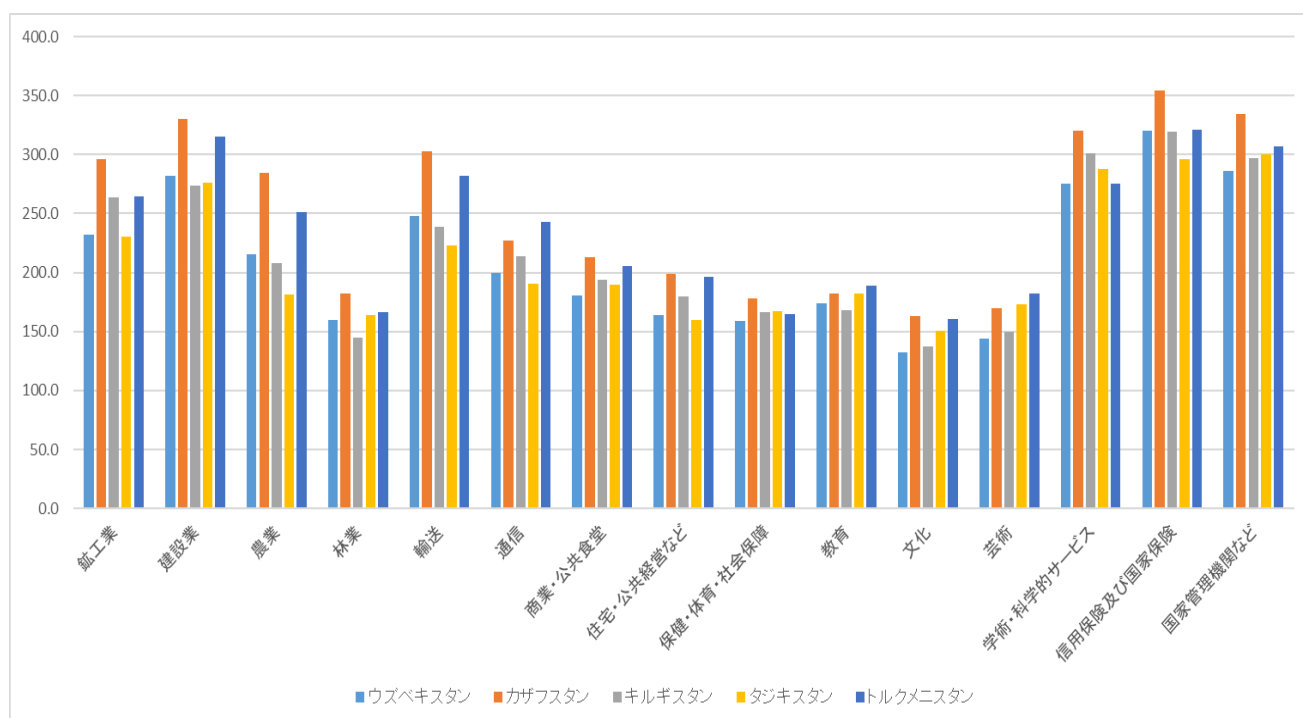
図7 ソ連と中央アジア5カ国におけるコルホーズの月平均労働報酬額（ルーブル）



出所：統計表8に基づき、筆者作成。

図8には、中央アジア5カ国に関して比較可能な1990年の産業部門別月平均賃金を示した。カザフスタンは、通信業、教育部門と芸術部門を除き、全ての部門で平均賃金が最も高い。特に、信用・社会保険部門では354.2ルーブル、国家管理機関・協同組合管理機関・社会組織の機構部門では334.7ルーブル、建設業では330.3ルーブル、学術・科学的サービスでは320.2ルーブルであった。これに次いで平均賃金が高い水準にあるのがトルクメニスタンであり、通信業、教育部門と芸術部門に関してはカザフスタンを上回った。地域の全体的な傾向として、文化と林業、芸術部門の平均賃金は低く、特にウズベキスタンで低い水準にあった（それぞれ132.7と143.9ルーブル）。

図8 1990年における5カ国の産業部門別・月平均賃金水準（ルーブル）



出所：統計表 15 に基づき、筆者作成。

次に、移行期についても見ていこう。前述のとおり、前世紀末の歴史に最も印象的な出来事として記されたソ連の中央集権的計画経済システムの放棄と社会主義体制の大転換は、数億人の日常生活を一変させた。当時の社会的な大混乱の中で、近い将来の生活像すら一夜にして分からなくなった人々の表情は、今でも筆者の記憶に刻み込まれている。

最初の大きな打撃の一つとなったのが、1991年1月22日の午後9時のテレビニュースで報道されたミハイル・ゴルバチョフ（Mikhail Gorbachev）政権による貨幣制度の改革であった⁴⁷。これは、1961年発行の50ルーブル貨幣と100ルーブル貨幣の廃止に伴ってし、国民は3時間後（23日午前0時）から3日間以内に、千ルーブルを限度額として廃止される貨幣を交換できるという内容であった。ただし、当時、金融機関の営業時間は日中のみであり、銀行口座からの引き出し限度額は1ヵ月で500ルーブルであった。そこで、翌朝には全国の金融機関の窓口で長大な行列ができ、3日間で列に並んでも旧貨幣を交換できない人やそれ以前に銀行口座から現金を引き出せなかった人も多く、大きな混乱が生じた

⁴⁷ 正式な理由としては海外からの偽造貨幣の流入対策で、実際は国内の過剰貨幣供給量への対応であった。詳しくは、Миркин（2021）。

(BBC, 2016)。その後に実施された移行改革は国により異なるが、移行初期の政治・経済的不安定や社会的な混乱の中で生じた生産の劇的な減少やインフレの高進などの諸問題は、程度の差こそあれ、ほぼ全ての移行国で発生しており、その結果生活水準が著しく低下した (World Bank, 2002; 岩崎, 2004 等)。表 10 からも分かるように、特に 1992~1994 年に生じたハイパーインフレーションが人々の生活を狂わせた。その背景には、1992 年 1 月からロシア政府が価格の自由化を進め、物価水準が前月比 245.3%高騰し、その後も 30 日ごとに物価水準が 8.6%~38 上昇し続けたことにあった (1993 年は月々 12.5~25.7%増)。毎月、賃金水準を 10 倍も上回るスピードで物価が上昇し続けたため、生活水準が劇的に下落した (Каледина, 2013)。

表 10 5 カ国における消費者物価指数 (CPI、1991~2010 年 : 1991~1992 年は 1993 年=100 ; 1994~2010 年は 1993 年=0.01)

a) 消費者物価指数の増加率																					
	1991	1992	1993	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
ウズベキスタン	109.70	645.20	534.20	534.20	1568.30	304.60	54.00	58.80	17.90	29.10	24.90	27.40	27.60	10.30	3.70	7.80	6.80	6.80	7.80	8.45	9.00
カザフスタン	78.80	1381.00	1662.30	1662.30	1876.64	176.20	39.30	17.40	7.10	8.30	13.20	8.40	5.90	6.40	6.90	7.60	8.60	10.80	17.00	7.30	6.20
キルギスタン	85.00	855.00	772.40	772.40	181.05	43.47	32.00	23.41	10.44	35.96	18.72	6.92	2.06	3.06	4.13	4.33	5.53	10.23	24.52	6.84	7.97
タジキスタン	112.00	1157.00	2195.00	2195.00	350.00	609.00	40.60	85.41	43.85	27.45	60.60	12.50	14.50	13.70	5.70	7.10	12.50	19.70	11.80	5.00	9.80
トルクメニスタン	103.00	493.00	3102.00	3102.00	1748.00	1005.30	992.40	83.70	16.80	24.20	8.30	11.60	8.80	5.60	5.90	10.70	10.49	8.65	8.90	0.20	4.60
b) 消費者物価指数 (推定値)																					
	1991	1992	1993	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
ウズベキスタン	0.3762	15.7679	100.0000	0.0100	0.1668	0.6750	1.0395	1.6507	1.9462	2.5125	3.1382	3.9980	5.1015	5.6269	5.8351	6.2902	6.7180	7.1748	7.7344	8.3877	9.1426
カザフスタン	0.0232	5.6744	100.0000	0.0100	0.1977	0.5459	0.7605	0.8928	0.9562	1.0356	1.1723	1.2708	1.3457	1.4319	1.5307	1.6470	1.7886	1.9818	2.3187	2.4880	2.6422
キルギスタン	0.1516	11.4626	100.0000	0.1000	0.2810	0.4032	0.5323	0.6569	0.7254	0.9863	1.1710	1.2520	1.2778	1.3169	1.3714	1.4308	1.5099	1.6644	2.0724	2.2141	2.3905
タジキスタン	0.0163	4.3573	100.0000	0.0100	0.0450	0.3191	0.4486	0.8317	1.1965	1.5249	2.4490	2.7552	3.1547	3.5869	3.7913	4.0605	4.5681	5.4680	6.1132	6.4188	7.0479
トルクメニスタン	0.0197	3.1230	100.0000	0.0001	0.0018	0.0204	0.2231	0.4099	0.4788	0.5946	0.6440	0.7187	0.7819	0.8257	0.8744	0.9680	1.0695	1.1620	1.2655	1.2680	0.0000

出所 : ADB (2006-2011) および EBRD (2000-2006) に基づき、筆者作成。

表 10a に ADB および EBRD に基づく消費者物価指数を示した。この元データは、移行初期の物価変動が激しかったため、指数ではなく、対前年変化率で示されているため、指数に再換算した。ただし、1993 年の前後で、基準の単位を変えて表示している (表 10b)。

表 11 5 カ国における名目賃金（自国通貨単位表示）

	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
ウズベキスタン（スム）	366.0	2581.9	27530.0	265.2	1066.0	2155.4	3214.9	4482.0	7134.0	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	504796.8
カザフスタン（テンゲ）	456.3	4786.0	128.0	1726.0	4786.0	6841.0	8541.0	9683.3	11863.5	14373.8	17302.8	20323.4	23127.9	28329.1	34060.4	40790.0	52479.0	60805.0	69207.8	77610.5
キルギスタン（ソム）	367.7	2544.3	85.9	233.4	368.2	490.9	680.2	840.6	1049.9	1227.0	1455.1	1684.4	1916.0	2240.3	2612.5	3269.7	3969.6	5378.0	6161.0	7189.0
タジキスタン（ソモニ）	370.0	2035.0	16155.4	34904.0	0.9	2.9	5.0	9.2	11.6	15.6	23.5	32.5	44.6	61.8	83.6	116.3	163.3	231.5	285.6	354.4
トルクメニスタン（マナト）	470.1	3592.8	137.0	1054.0	7545.0	72247.8	185479.2	271385.4	330700.0	596800.0	878100.0	950000.0	1750000.0	1850000.0	2503000.0	2504700.0	2535700.0	2900000.0	...	...

出所：筆者作成。

注：1993 年以前はルーブル、1993 年以降は自国通貨表示（タジキスタンの場合のみ 1995 年以降）。ウズベキスタンは、1993 年から 1 スム・クーポン＝1 ルーブル、1994 年から 1 スム＝1000 スム・クーポン。カザフスタンは、1993 年から 1 テンゲ＝500 ルーブル。キルギスタンは、1993 年から 1 ソム＝200 ルーブル。タジキスタンは、1995 年から 1 タジク・ルーブル＝100 ルーブル、2000 年から 1 ソモニ＝1000 タジク・ルーブル。トルクメニスタンは、1993 年から 1 マナト＝500 ルーブル。

表 11 には、1991～2010 の名目賃金の推移を示した。1993 年に各国はソ連ルーブルに代わる自国の通貨を導入し始めた。キルギスタンは、中央アジアで最も早い 1993 年 5 月 10 日に自国通貨のソム（1 ソム＝200 ルーブル）を導入した⁴⁸。トルクメニスタンは、同年 11 月 1 日にマナト（1 マナト＝500 ルーブル）を⁴⁹、カザフスタンは同年 11 月 15 日にテンゲ（1 テンゲ＝500 ルーブル）を導入した⁵⁰。ウズベキスタンは、まず 1993 年 11 月 15 日に一時的な通貨としてスム・クーポンを導入した⁵¹。これは対ルーブルが 1 対 1 であり、ルーブルと同時に利用された。その後、1994 年 7 月 1 日にスム（1 スム＝1000 スム・クーポン）という自国通貨が導入され⁵²、スム・クーポンが廃止された。タジキスタンは、1994 年 1 月 8 日までは旧式（旧ソ連）のルーブルを利用し、同年 1 月 1 日以降はロシア・

⁴⁸ 1993 年 5 月 3 日付け第 1182-XII 号のキルギスタン共和国最高会議決定「国民通貨の導入に関するキルギスタン共和国政府の提案について」。

⁴⁹ 1993 年 10 月 8 日付けトルクメニスタン共和国法第 888-XII 号「トルクメニスタンの通貨について」。

⁵⁰ 1993 年 11 月 12 日付け第 1399 号のカザフスタン共和国大統領令「カザフスタン共和国の国民通貨の導入について」。

⁵¹ 1993 年 11 月 12 日付け第 550 号の内閣決定「ウズベキスタン共和国の領土におけるスム・クーポンの導入について」。

⁵² 1994 年 6 月 16 日付け第 870 号の大統領令「ウズベキスタン共和国の国民通貨の導入について」。

ルーブル（1993年発行のもの）を使用するようになった。その後、1995年5月10日から2000年10月29日にかけて、タジク・ルーブル（1タジク・ルーブル＝100ルーブル）が使われ、2000年10月30日以降はソモニ（1ソモニ＝1000タジク・ルーブル）が導入された。

前述の通り、中央アジア各国の労働統計の定義は必ずしも統一的ではなく（また、国有・国営部門では俸給表に基づく旧来の算定方式が継承されたり、民間部門では国・部門・企業の属性による算定基準も異なったりし）、国ごとのインフレ率の差も著しい。これらの問題は国レベルの比較に影響する。以下では、このような問題を認識しつつ、5か国の賃金の状況に関して比較を試みたい。

ここでは、5カ国における移行期の賃金を比較するために、名目賃金の実質化を試みる。物価水準が異なる国の賃金を比較する場合、購買力平価（PPP）を用いた実質化が望ましいが、中央アジアに関して適切なPPPデータが入手できない場合があるため、ここでは、次善の方法ではあるが、消費者物価指数（CPI）と為替レートを用いて賃金を実質化する。具体的には、CPI指数で実質化した賃金を為替レートで米ドル表示に換算する。表12には、各国の対米ドル為替レートを示した。この際、為替レート系列の整備自体も難題であるため、以下の点に注意が必要である。第1に、前述の通り、各国では1992年まではソ連ルーブルが利用され、1993年以降に自国通貨が導入された点に改めて注意しておく。

表12 対米ドルの為替レート（年平均）

	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
ウズベキスタン（スム）	0.56*	288*	928*	17.3	29.8	40.1	62.9	94.5	124.6	236.6	430.0	774.4	971.6	1020.2	1114.0	1219.3	1263.7	1321.1	1467.5	1587.8
カザフスタン（テンゲ）	0.56*	288*	4.7	35.5	61.0	67.3	75.4	78.3	119.5	142.1	146.7	153.3	149.6	136.0	132.9	126.1	122.6	120.3	147.5	147.4
キルギスタン（ソム）	0.56*	288*	8.3	10.8	10.8	12.8	17.4	20.8	39.0	47.7	48.4	46.9	43.6	42.6	41.0	40.2	37.3	36.6	42.9	46.0
タジキスタン（ソモニ）	0.56*	288*	928*	2180*	0.1	0.3	0.6	0.8	1.2	2.1	2.4	2.8	3.1	3.0	3.1	3.3	3.4	3.4	4.1	4.4
トルクメニスタン（マナト）	0.56*	288*	2.0	19.2	110.9	3257.7	4143.4	4890.2	5200.0	5200.0	5200.0	5200.0	5200.0	5200.0	5200.0	5200.0	5200.0	14250.0	2.9	...

出所：International Monetary Fund, International Financial Statistics、および各国の中央銀行のデータに基づき、筆者作成。

注：*ソ連ルーブル

第 2 に、表 12 は各国の公式レートを示しているが、当時、複数のレートが存在した。公式レートは国家機関の経済分析や国際比較に使用されたが、それとは大きく異なる商業レート (kommercheskii kurs) が対外取引や外国投資に利用され、市場レート (rynochnyi kurs) は国内の法人・組織の取引に利用された。この他に、闇為替レートも存在した (Окунев, 2020; Волосевич, 2014)。

ソ連ルーブルの公式レートは、1990 年において 1 ルーブル=0.63 米ドルであったが、闇で 0.03~0.04 米ドルで取引された (Каледина, 2013)。実勢からの公式レートと著しい乖離は大きな批判を招いた (Гайдар, 1998)。そこで、ゴルバチョフ政権の下で 1990 年 10 月 26 日付けソ連大統領令「外貨に対するルーブルの商業レートの導入および全ソ連外貨市場の創造に関する措置について」が承認され、同年 11 月 1 日に商業レート (1 ドル米=1.8 ルーブル) が導入され、翌年 1 月 1 日に市場レート (1 米ドル=32.4 ルーブル) も導入された (Астафьев, 2020)。1992 年 7 月 1 日には、公式レートが商業レートと同じ水準の 125 ルーブル/米ドルに固定され、商業レートは廃止された。この時の市場レートは 130 ルーブル/米ドルであった。その後、公式レートは 1993 年 1 月 442 ルーブル/米ドルから同年 12 月に 1247 ルーブルへ引き上げられた。アンドレイ・ネチャエフ (Andrey Nechaev) 経済大臣によると、1992 年から 1993 年にかけて「特別扱い商品」(特定企業のロビー活動による特例) 向けの為替レート (優遇措置) も存在した (TACC, 2015)。1992 年 7 月から 1998 年 1 月までで、ロシア・ルーブルの価値が 47 分の 1 となり、為替レートも 125 ルーブル/米ドルから 5960 ルーブル/米ドル (1997 年のデノミで 5.9 ルーブル/米ドル) になった⁵³。また、中央アジア共和国でも公式レートと闇レートにも大きな差があったことに留意されたい (Седракан, 2017 など)。

そして、1990 年代前半における為替レートの日ごと・月ごとの変化が非常に大きかった。カザフスタンの場合、1993 年の秋に 4.69 テンゲ/米ドルだったレートが、同年 12 月には 5.25 テンゲ/米ドル、翌年に 35.64 テンゲ/米ドルへと高騰し、自国通貨安が著しく進んだ (Бейноева, 2018)。表 12 から明らかであるように、他の国も同様の状況にあった。一方、トルクメニスタンでは、1996 年に公式レートが 1 マナト=5200 米ドルで固定され、2008 年 5 月 1 日に 1 マナト=14250 米ドルへ改訂されるまで、11 年間にわたって一切修

⁵³ 「暗黒の火曜日」となった 1994 年 10 月 11 日に、大手商業銀行の投機により、モスクワ銀行間通貨取引所のレートが 2833 から 3926 へと 38.5%下落した。翌日のロシア中央銀行による介入の結果、1994 の水準に戻ったが、10 月のインフレ率は前月の 8%から 15%へ跳ね上がった。詳細は、TACC (2020)。

正されなかった。しかし、当時の現地ニュース等の報道（TURKMENISTAN.RU, 2001; ЕБРР, 2004）によれば、市場レートは毎年上昇し、ピークの時は公式レートを約 5 倍上回っていた。また、通貨切り下げが為替レートの変動のもう 1 つの原因となった。カザフスタンでは、1999 年（64.6%）と 2009 年（25%）にテンゲが切り下げられ、トルクメニスタンでは、2008 年にマナトが切り下げられた（5000:1）。

タジキスタンに関しては、旧ソ連諸国の中で最後までソ連・ルーブルが使用されていたことが為替レートの変動に大きく影響した。ロシア政府は、1993 年 7 月 26 日に、1961~1992 年発行のソ連ルーブルから新ルーブルへ交換の期限を同年 8 月 7 日まで、交換限度額を 35000 ルーブル（約 35 米ドル）とする、2 回目の貨幣制度改革を実施した。これは旧ソ連圏に再度パニックを呼んだ⁵⁴。タジキスタンではソ連ルーブルが 1995 年まで使用されていたため、旧ソ連圏（特にハイパーインフレが激しかったウクライナなど）の至るところからの人々が内戦で苦しんでいたタジキスタンを訪れ、手元に残っていたソ連ルーブルを米ドルや何らかの商品（価値あるもの）に交換しようとした。その結果、タジキスタン国内にソ連ルーブル貨幣が過剰に流入し、経済状況の悪化を加速させた。

表 13 5 カ国における実質賃金の推移

a) 実質賃金 (名目賃金/CPI、自国通貨)																					
	1991	1992	1993	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
ウズベキスタン (スム)	973.0	163.7	275.3	2753000.0	1589.6	1579.3	2073.5	1947.6	2303.0	2839.4	...	...	...	...	...	...	...	...	...	55213.5	
カザフスタン (テンゲ)	19651.0	843.4	1.3	12800.0	8732.0	8766.4	8995.4	9566.2	10126.6	11455.8	12261.3	13616.1	15102.1	16152.3	18507.7	20680.4	22805.2	26480.4	26223.6	27816.9	29373.1
キルギスタン (ソム)	2424.8	222.0	0.9	859.0	830.5	913.1	922.3	1035.5	1158.8	1064.5	1047.9	1162.2	1318.2	1454.9	1633.6	1825.9	2165.5	2385.1	2595.0	2782.6	3007.3
タジキスタン (ソモニ)	22632.5	467.0	161.6	1615540.0	775644.4	2.9	6.6	6.0	7.7	7.6	6.4	8.5	10.3	12.4	16.3	20.6	25.5	29.9	37.9	44.5	50.3
トルクメニスタン (マナト)	23912.4	1150.4	1.4	1370000.0	570346.3	369383.2	323788.0	452503.8	566853.3	556156.2	926750.7	1221838.8	1214967.4	2119410.9	2115694.1	2585796.7	2341827.1	2182110.7	2291653.9	...	...
b) 実質賃金 (米ドル)																					
	1991	1992	1993	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
ウズベキスタン	1737.5	0.6	0.3	2966.6	92.0	53.0	51.8	31.0	24.4	22.8	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	34.8
カザフスタン	35091.1	2.9	0.3	2729.2	245.7	143.8	133.7	126.8	129.3	95.8	86.3	92.8	98.5	108.0	136.1	155.6	180.9	216.1	218.0	188.6	199.3
キルギスタン	4330.0	0.8	0.1	103.5	76.6	84.4	72.0	59.6	55.6	27.3	22.0	24.0	28.1	33.3	38.3	44.5	53.9	63.9	71.0	64.9	65.4
タジキスタン	40415.2	1.6	0.2	1740.9	354.5	23.5	22.2	10.6	9.9	6.2	3.1	3.6	3.7	4.1	5.5	6.6	7.7	8.7	11.0	10.7	11.5
トルクメニスタン	42700.6	4.0	0.7	685000.0	29708.1	3330.3	99.4	109.2	115.9	107.0	178.2	235.0	233.6	407.6	406.9	497.3	450.4	419.6	160.8	...	...

⁵⁴ その結果、限度額が 10 万ルーブルに引き上げられ、交換の期限も 8 月末まで延長されたが、例年通りに 8 月の休暇（1 ヶ月間）を取っていた多くの人は貨幣の交換に失敗し、91 年の貨幣改革から僅かに残っていた資産を無くしてしまった。詳しくは、Каледина（2013）。

出所：筆者作成。

注：1993 年以前はルーブルで、1993 年からは自国通貨表示（タジキスタンの場合のみ 1995 年以降）。ウズベキスタンは、1993 年から 1 スム・クーポン＝1 ルーブル、1994 年から 1 スム＝1000 スム・クーポン。カザフスタンは、1993 年から 1 テンゲ＝500 ルーブル。キルギスタンは、1993 年から 1 ソム＝200 ルーブル。タジキスタンは、1995 年から 1 タジク・ルーブル＝100 ルーブル、2000 年から 1 ソモニ＝1000 タジク・ルーブル。トルクメニスタンは、1993 年から 1 マナト＝500 ルーブル。

以上の歴史的経緯を踏まえつつ、中央アジア 5 カ国の実質賃金の推移を見ていこう。表 13 からは次の 2 点を指摘できる。第 1 に、中央アジア 5 カ国の実質賃金は、1990 年代前半において毎年大きく変動した。第 2 に、2000 年前後の時期を見ると、トルクメニスタンの実質賃金の水準が最も高く、カザフスタン、キルギスタン、ウズベキスタンの順で続き、タジキスタンが最低水準にある。

1991 年の実質賃金水準の高さは、実勢レートから大きく乖離した公式レートを用いてドル換算したことが影響していると考えられる（商業レートや闇市場レートに基づく推計値がより現実に近い数値になる可能性が高い）。また、2000 年以降のトルクメニスタンにおける実質賃金水準の高さも、公式レートではなく市場レートに基づきドル換算した場合、表 13 の推計値と比べてより実態に近い 4 から 5 分の 1 低い値になると考えられる。

ADB（2003,p.142）による 1998 年の月平均賃金推計（カザフスタンは 128 米ドル、ウズベキスタンは 56 米ドル、キルギスタンは 51 米ドル、タジキスタンは 8.8 米ドル）に比べると、本稿の推定値はそれほど大きく乖離していない。その差は、用いた CPI と為替レートの種類に由来すると考えられる。

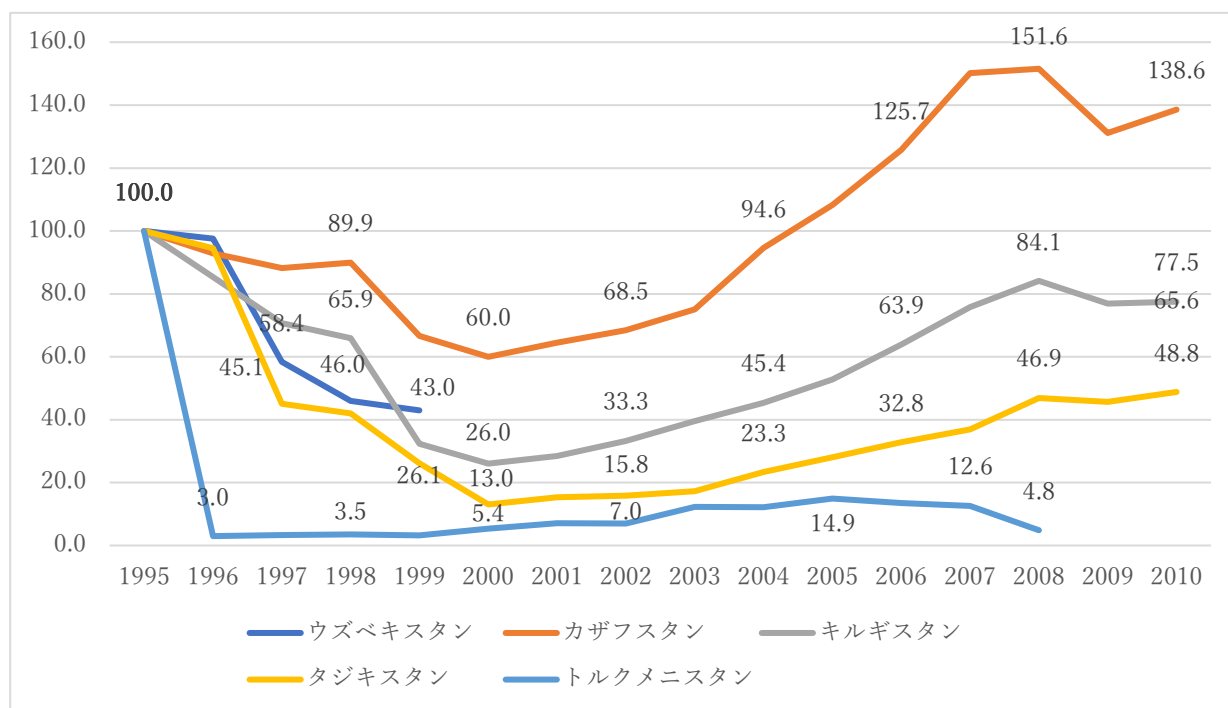
表 14 と図 9 に、実質賃金指数を示した。1990 年代前半の自国通貨の導入やハイパーインフレ、価格自由化等の移行改革による経済的ショックが大きく統計データ系列の数値が安定しないため、1995 年を基準年としている。

表 14 5 カ国における実質賃金指数（1995 年～2010 年）

(1995年=100%)																
	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
ウズベキスタン	100.0	97.6	58.4	46.0	43.0	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	65.6
カザフスタン	100.0	92.9	88.2	89.9	66.6	60.0	64.5	68.5	75.1	94.6	108.2	125.7	150.2	151.6	131.1	138.6
キルギスタン	100.0	85.3	70.7	65.9	32.3	26.0	28.5	33.3	39.5	45.4	52.8	63.9	75.7	84.1	76.9	77.5
タジキスタン	100.0	94.5	45.1	41.9	26.1	13.0	15.3	15.8	17.3	23.3	28.1	32.8	36.9	46.9	45.7	48.8
トルクメニスタン	100.0	3.0	3.3	3.5	3.2	5.4	7.1	7.0	12.2	12.2	14.9	13.5	12.6	4.8	...	...
(対前年度比、%)																
	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
ウズベキスタン	100.0	97.6	59.8	78.7	93.5	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
カザフスタン	100.0	92.9	94.9	102.0	74.1	90.0	107.6	106.2	109.6	126.0	114.4	116.2	119.5	100.9	86.5	105.7
キルギスタン	100.0	85.3	82.8	93.2	49.1	80.5	109.4	116.9	118.7	114.9	116.2	121.1	118.5	111.0	91.4	100.9
タジキスタン	100.0	94.5	47.7	93.0	62.3	49.9	117.2	103.7	109.0	135.1	120.4	116.8	112.4	127.2	97.3	106.9
トルクメニスタン	100.0	3.0	109.9	106.1	92.3	166.6	131.8	99.4	174.4	99.8	122.2	90.6	93.2	38.3	...	...

出所：表 13b)に基づき、筆者作成。

図 9 5 カ国における実質賃金指数の推移（1995 年=100%）



出所：表 14 に基づき、筆者作成。

1990 年代を通じて、5 カ国ともに実質賃金が大幅に低下したが、特にトルクメニスタンでハイパーインフレが著しかったため、実質賃金の下落幅が大きかった。2000 年代に入る

と、カザフスタン、キルギスタン、タジキスタンの順で実質賃金が上昇したが、1995 年の水準に回復したのはカザフスタンのみであり、2008 年の実質賃金は 1995 年の 152.6%の水準にあった。

5. おわりに

本稿は、1910 年から 2010 年までの 100 年間における中央アジア 5 カ国を対象に、ソ連中央統計局フォンド機密解除資料をはじめとして入手可能な統計資料を収集し、長期統計を整備し、産業部門別労働統計に基づき、中央アジア地域全体と各国の労働市場の長期的かつ構造的な変化を定量的に概観した。また、労働統計系列の整備にあたっては、ソ連期と現代の労働統計制度の相違点を明らかにした。

1922 年から 2010 年にかけて、中央アジアの中でもウズベキスタンおよびカザフスタンで就業者数が特に大きく増加したが、1930 年代および 1940 年代、そしてソ連が崩壊した 1991 年以降の時期に、移行改革の実施に伴う激動の中で、いずれの国においても就業者数が減少した。特に「ショック療法」による改革が実施されたカザフスタンで、就業者数が大きく減少した。この期間に各国の労働力構成に大きな変化は見られなかったが、地域全体の就業者数の 75.6%を占めるウズベキスタンとカザフスタンにおいて、就業者数のシェアが逆転し、トルクメニスタンではシェアの低下が 3.6%ポイント低下した(1920 年の 10.9%から 2010 年の 7.3%)。

1928 年から 1960 年までは、5 カ国ともにコルホーズ員数が二桁台の伸びを記録し、特にタジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタンが綿花生産地としての産業特化を進めたことを背景にコルホーズ員の比重が大きくなった。1960 年代以降は、工業化が進展し、特にカザフスタンの非農業部門の就業者数の比重が拡大し、コルホーズ員の割合が 1960 年の 17%から 1989 年の 3.8%へ縮小した。ソ連崩壊と独立宣言の後の期間に、カザフスタンとウズベキスタンにおいて就業構造の多様化が最も大きく進展したが、対照的に就業者の 7 割弱を占めるタジキスタンの農業部門の比重の大きさは維持された。移行後は、いずれの国においても、商業をはじめとするサービス部門の比重が拡大していった。

中央アジア各国の名目賃金は経済発展に伴って上昇を続け、国ごとの賃金格差は大きくなかったものの、カザフスタンとトルクメニスタンの水準が相対的に高かった(コルホーズの月平均労働報酬でもソ連全体のレベルを上回っていた)。しかし、第 2 次世界大戦前において賃金水準が最も高かったタジキスタンは、1990 年には最も賃金水準が低い国となった。

1990 年時点の 5 カ国の賃金水準を比較すると、カザフスタンは、通信業、教育部門、芸術部門を除く産業部門で高く、中でも信用・社会保険部門、国家管理機関・協同組合管理機関・社会組織の機構部門、建設業、そして学術・科学的サービスで賃金水準が高かった。トルクメニスタンの平均賃金は中央アジアで 2 番目に高く、通信業、教育部門と芸術部門ではカザフスタンの水準を上回った。なお、中央アジア各地域の文化、林業および芸術部門は相対的に低い平均賃金水準を記録し、とりわけウズベキスタンの文化と芸術部門のレベルは低かった。

移行期にはは、1990 年代前半に物価水準や公式為替レートが大きく変動したことを背景に、実質賃金が激しく低下した。特にトルクメニスタンのハイパーインフレが厳しいものであり、実質賃金の下落幅が著しかった。2000 代に入ると、カザフスタン、キルギスタン、タジキスタンの順で実質賃金が上昇してきたが、1995 年の水準を取り戻したのはカザフスタンだけであり、2008 年の実質賃金は 1995 年の 152.6% の水準へと上昇した。

本稿では中央アジア 5 カ国の長期労働統計を整備したが、その際に多くの留意すべき点を念頭におき、その上で欠損値の補間や推計等の統計的処理を実施した。時期や国によってはいささか無理な推計値も含まれているのは否定できないが、ここで構築されたデータベースが当該地域に関する数量経済史研究の発展に役立つことを願うばかりである。

6. 参考文献

[露文文献]

- Астафьев, Д. (2020) История российского рубля и почему ему свойственно обесцениваться / Электронный ресурс (<https://vc.ru/finance/183229-istoriya-rossiyskogo-rublya-i-pochemu-emu-svoystvenno-obescenivatsya>).
- Бейноева, М. (2018) Как менялся курс национальной валюты с 1993 года. Инфографика / Электронный ресурс (<https://lsm.kz/kak-menyalsya-kurs-nacional-noj-valyuty-s-1993-goda>).
- Благих, И. А. (2018) Экономическая история России в 2 ч., Часть 2. XX - начало XXI века: учебник для академического бакалавриата / И. А. Благих, Г. Г. Богомазов; под общей редакцией Г. Г. Богомазова, 2-е изд., Москва: Издательство Юрайт, С. 253.
- Волосевич, А. (03.06.2014) «Конвертация узбекского сума: забытая реформа» (<http://www.asiaterra.info/economy/konvertatsiya-uzbekskogo-suma-zabytaya-reforma>).

- Гайдар, Е. Т. (1998) Экономика переходного периода. Очерки экономической политики посткоммунистической России (1991-1997) / Москва: Ин-т экономики переходного периода, 1114 с.
- Гозулов, А. И. (1973) Экономическая статистика, Изд. Статистика, Москва.
- Джайлобаева, Г. (2014) Статистика рынка труда и заработной платы в Кыргызстане. Национальный статистический комитет Кыргызской Республики / Электронный ресурс, Минск.
- ЕБРР (2004) «СТРАТЕГИЯ ДЛЯ ТУРКМЕНИСТАНА» (https://www.ebrd.com/downloads/about/policies/2004-06-23,_Strategy_for_Turkmenistan-_Russian_web.pdf).
- Еремина, Н. М. и Маршалова, В. П. (1971) Статистика труда / Изд. 2-е, переработанное и дополненное, Статистика, Москва, С.300.
- Есимбекова, С. Е. (2020) История становления государственной статистики Республики Казахстан. Организация статистической деятельности Казахстана / *Научно-практические исследования*, 3-1 (26), 2020.
- Збарская, И. А. (2014) Проект «Развитие статистики труда в регионе СНГ»: цели и задачи его реализации // Презентация доклада на совещании «Развитие статистики труда в регионе СНГ: проблемы и перспективы информационного обмена» / Электронный ресурс, Минск, 11-12 Декабря 2014 года.
- Каледина, А. (26.07.2013, обновлено: 26.05.2021) «Горячий июль 1993-го, или Как Центробанк отобрал у россиян деньги», МИА «Россия сегодня», Сетевое издание РИА Новости (<https://ria.ru/20130726/952217000.html>).
- Кашин, Ю. И. (2014) Вопросы денежного обращения (1919-1982 годы) (ведомственные материалы): из неопубликованного // По страницам архивных фондов Центрального банка Российской Федерации, Москва, Выпуск 15, С. 223.
- Лукьянова, А. Л. (2017) Статистика труда в странах СНГ: взгляд пользователя / Электронный ресурс, Женева, 18-19 Октября 2017г.
- Миркин, Я. (21.01.2021) «Павловская денежная реформа: 30 лет спустя», Российская газета, Федеральный выпуск, № 12 (8363).

- МОТ (2008): Международная организация труда. Кыргызстан: экономический рост, занятость и сокращение бедности / Международное бюро труда, Бишкек.
- Назаров, М. Г., Партешко, Н. С., Румянцев, В. Н. (1981) Статистика труда / Финансы и статистика, Москва, С.261.
- Окунев, Д. (26.10.2020) «Коммерческим курсом: как Горбачев разрешил покупать доллары», АО «Газета.Ру» (https://www.gazeta.ru/science/2020/10/26_a_13333339.shtml).
- Петров, А. И. (ред.) (1975) Курс экономической статистики / Изд. 5-е, переработанное и дополненное, Статистика, Москва, С. 567.
- Программа КР (2006) «Национальная политика занятости населения Кыргызской Республики до 2010 года», одобрена постановлением N.591 Правительства КР от 17 августа 2006 г.
- Прохоров, А. М. (гл. ред.) (1969–1978), Трудодень // Большая советская энциклопедия: в 30 т. / 3-е издание, Москва (<https://biblioclub.ru/index.php?page=dict&termin=749646>).
- Седракан, Р. (04.08.2017) «Деноминация российской валюты за последний век. От Октябрьской революции до денежной реформы 1998 года», газета «Известия» (<https://iz.ru/626534/ruben-sedrakian/denominatciia-rossiiskoi-valiuty-za-poslednii-vek>).
- Соколин, В. Л. (2013) Отраслевые классификации и бизнес-регистры в странах СНГ // Семинар ЮНИДО для стран СНГ по гармонизации промышленной статистики с международными стандартами в регионе СНГ, Вена, 16-17 декабря 2013г.
- Станчин, И. (2003) Цели в области развития на пороге тысячелетия: Отчет Туркменистана / совместно: Аронский Ю., Аманниязова Л., Государственный комитет Туркменистана по статистике, Ашхабад, С.73.
- ТАСС (10.03.2020) «Крупнейшие падения курса рубля» (<https://tass.ru/info/7934795>)
- ТАСС (26.10.2015) «Российский рубль прошел два десятка лет, чтобы стать свободно конвертируемым» (<https://tass.ru/ekonomika/2377871>).
- Текеева, Л. (2015) О важности достоверного измерения трудовой миграции для Кыргызстана. Национальный статистический комитет Кыргызской Республики // Статистический комитет СНГ «Проблемы измерения основных показателей рынка труда и трудовой миграции при переписях населения и обследованиях рабочей силы», 4-6 Августа 2015г.
- Хамраева, Т. Р. (2010) Создание и деятельность статистической службы в Туркестане / Актуальные проблемы гуманитарных и естественных наук, № 8, С.93-95.

- Хохлов, Е. Б. (2021) История правового регулирования хозяйства и труда в СССР. // Том 1. Хозяйство и труд в условиях становления социалистического общества / Учебное пособие, Издательство "Проспект".
- Хрипливый, Ф. П. (1969–1978) Оплата труда в колхозах // Большая советская энциклопедия: в 30 т. / Гл. ред. А. М. Прохоров., 3-е изд., Москва (<https://biblioclub.ru/index.php?page=dict&termin=724626>).
- Щербакова, Е. М. (2013) Рынки труда в странах СНГ / *Демоскоп Weekly*, № 629-630. (<http://demoscope.ru/weekly/2015/0629/barometer629.pdf>).
- BBC (22.01.2016) «Ясин: если не залезть в карман народа, кризис не одолеть» (https://www.bbc.com/russian/business/2016/01/160122_yasin_pavlov_currency_reform_25_years).
- CISstat (2014): Статистический комитет Содружества Независимых Государств, Рынок труда в странах Содружества в 2013 году // Статистика СНГ. Статистический бюллетень, № 10 (541), С.23.
- CISstat (2017): Статистический комитет Содружества Независимых Государств. О состоянии и развитии национальных систем классификаций в государствах-участниках СНГ / Электронный ресурс, Москва, 01 Июля 2017 г.
- KazStat (2007): НК РК 03-2007 Общий классификатор видов экономической деятельности (ОКЭД), 14.12.2007.
- KazStat (2017): Бюро национальной статистики Агентства по стратегическому планированию и реформам Республики Казахстан. Реализация рекомендаций 19-ой Международной Конференции статистиков труда. Опыт Казахстана / Электронный ресурс, Женева, 18-19 Октября 2017г.
- KyrgStat (2011): Государственный классификатор Кыргызской Республики "Виды экономической деятельности" (ГКЭД, версия 3) 01.01.2011.
- Куддусов, Д. (2009) Таджикиские трудовые мигранты в глобальном финансовом кризисе: мнение мигрантов / ИИЦ «Соцсервис», Май 2009 г.
- SSSRstat (1976): Центральное статистическое управление (ЦСУ) при Совете Министров СССР. Общесоюзный классификатор «Отрасли народного хозяйства (ОКОНХ)» / N. 1 75 018, утв. Госкомстатом СССР, Госпланом СССР, Госстандартом СССР 1 января 1976 г., Москва.

- SSSRstat (1991): Государственный комитет СССР по статистике. Народное хозяйство СССР в 1990 году // статистический ежегодник, Издательство «Финансы и Статистика», Москва.
- TadStat (2001): Общий Классификатор Видов Экономической Деятельности Таджикистана (ОКЭД, ред. 1), 01.01.2001.
- TadStat (2009): Агентство по статистике при Президенте Республики Таджикистан. Рынок труда в Республике Таджикистан / Душанбе.
- TadStat (2017): Агентство по статистике при Президенте Республики Таджикистан. Внедрение рекомендаций 19-ой Международной Конференции статистиков труда в Республике Таджикистан / Электронный ресурс, Женева, 18-19 Октября 2017г.
- TsSU (1983): Центральное статистическое управление СССР. Труд в СССР / статистический сборник, Издательство «Финансы и Статистика», Москва.
- TsUNKhU SSSR (1936): Центральное управление народно-хозяйственного учета Госплана СССР. Труд в СССР: ежегодник / [отв. Редактор Е.И. Уряшзон и С.А. Хейнман], ЦУНХУ Госплана СССР – В/О Союзоргучет, Москва.
- TURKMENISTAN.RU (02.07.01) «ЧТО ПОЧЕМ В АШХАБАДЕ...» (<http://www.turkmenistan.ru/ru/node/13205>).
- TurkmStat (2003): Государственный классификатор видов экономической деятельности (ГКВЭД, ред. 1) 01.05.2003.
- UNDP (2010): Программа развития Организации Объединенных Наций. Национальный отчет по человеческому развитию 2008-2009 гг. Занятость в контексте человеческого развития / Душанбе.
- UzbStat (2004): Государственный комитет Республики Узбекистан по статистике. Общегосударственный Классификатор Видов Экономической Деятельности Республики Узбекистан (ОКЕД, ред. 1) 02.04.2004.
- World Bank (2003): Всемирный Банк. Узбекистан. Оценка уровня жизни населения // Экономическая и социальная политика, направленная на повышение уровня жизни населения (в двух томах). Том II: Полный отчет, № 25923, Май, С.164.
- World Bank (2015): Всемирный Банк. Переход к улучшению занятости в Кыргызской Республике: Диагностическое исследование ситуации в области занятости / Отчет № 99777-KG, 18 Сентября 2015 г.

ZAKON.KZ (2012): Kazakhstan online law database. Министерством труда и соцзащиты населения РК подготовлен прогноз баланса трудовых ресурсов на 2013-2017 годы / Электронный ресурс (https://online.zakon.kz/Document/?doc_id=31327179#pos=3;-80).

[英文文献]

ADB (Asian Development Bank) (2005) *Private Sector Assessment in Uzbekistan*. Prepared by Cyril Lin, IFG Development Initiatives Ltd., and Jurgen Conrad, Asian Development Bank (ADB).

ADB (Asian Development Bank) (2006~2011) *Key Indicators for Asia and the Pacific 2006~2011*. (www.adb.org/statistics)

Brück, T., Esenaliev, D., Kroeger, A., Kudebayeva, A., Mirkasimov, B., Steiner, S. (2014) “Household survey data for research on well-being and behavior in Central Asia,” *Journal of Comparative Economics*, Volume 42, Issue 3, pp. 819-835.

CISstat (2015): Interstate statistical committee of the commonwealth of CIS. *Official Statistics of the Countries of the Commonwealth of Independent States 2015*, CD-ROM.

EBRD (European Bank for Reconstruction and Development) (2000~2006) *Transition Report 2000~2006*. (<https://www.ebrd.com/documents/comms-and-bis/pdf-transition-report-2000-english.pdf?blobnocache=true>)

EUROSTAT (2008) *NACE Rev.2 Statistical classification of economic activities in the European Community*. Luxembourg: Office for Official Publications of the European Communities. 2008, 363 p.

ILO (1990) *Statistical Sources and Methods*, Vol. 3, Economically Active Population, Employment, Unemployment and Hours of Work (household surveys), 2nd edition, International Labour Office, Geneva.

UN (2002) *International Standard Industrial Classification of All Economic Activities (ISIC)*, Revision 3.1, United Nations, New York, 2002.

World Bank (WB), *Transition: The First Ten Years: Analysis and Lessons for Eastern Europe and the Former Soviet Union*, 2002.

[和文文献]

岩崎一郎 (2013) 「中央アジア第二次産業の長期発展経路：百年統計の構築と比較経済分析」

『アジア経済』 54 (1)、2013 年、pp.2-46。

岩崎一郎 (2004) 『中央アジア体制移行経済の制度分析—政府-企業間関係の進化と経済成果』

東京大学出版会、2004 年、351 項。

イワノフ・Yu.、河本和子、雲和広、浜由樹子、ホメンコ・T. (2020) 「中央アジアの統計

制度, Statistical System of Central Asia」 CEI Working Paper Series N.2019-13、Center for

Economic Institutions, Institute of Economic Research、Hitotsubashi University、2020 年 2

月、11 項。

久保庭眞彰 (2009) 「ロシアの新分類産業連関表」、猪俣哲史・桑森啓編『2005 年 BRICs 国

際産業連関表の作成と利用』アジア国際産業関連シリーズ No.73、アジア経済研究所、

2009 年、27-51 頁。

雲和広 (2021) 「中央アジアの人口統計」『比較経済』第 58 巻、第 1 号、2021 年 1 月、25-38

頁。

志田仁完 (2011) 「ソ連構成共和国の家計統計データベースの再構築：住民貨幣収支バラン

スの活用と CIA 推計の評価」ロシア研究センター・ワーキングペーパーNo.29、一橋大

学経済研究所ロシア研究センター、2011 年 3 月、85 項。

志田仁完 (2020 年) 「第 3 章労働統計」 in 久保庭眞彰、雲和広、志田仁完 (編著) (2020)

『アジア長期経済統計 10 ロシア』東洋経済新報社、2020 年、500 項。

西村可明・岩崎一郎 (1999) 「ソ連中央アジア地域長期農業統計—1913～1952 年—」 COE

プロジェクト・ディスカッションペーパーNo.99-36、一橋大学経済研究所、1999 年、5 項。

付録A 統計資料リスト

A分類 ロシア連邦経済文書館所蔵ソ連閣僚会議付属中央統計局フオンド機密解除資料

- [A3] Ф. 1562, Оп. 33, Ед. 2734: Основные показатели развития народного хозяйства и культурного строительства по районам Средней Азии, Узбекской, Казахской, Киргизской, Таджикской и Туркменской ССР и районам Закавказья: Грузинской, Азербайджанской, Армянской ССР на 1952 г.
- [A6] Ф. 1562, Оп. 41, Ед. 65: Статистические динамические ряды за 1913-1951 годы.
- [A11] Ф. 1562, Оп. 41, Ед. 433: Важнейшие показатели развития экономики и культуры союзных республик.
- [A12] Ф. 1562, Оп. 41, Ед. 655: Труд в СССР: статистический сборник: часть I: приложение к еженедельному Статистическому бюллетеню ЦСУ СССР № 48 (739) от 30 декабря 1963 года.
- [A301] Ф. 1562, Оп. 21, Ед. 11: Сводные таблицы основных показателей развития народного хозяйства и культуры районов Средней Азии за 1938 год.
- [A302] Ф. 1562, Оп. 33, Ед. 473: Разработочные таблицы ЦСУ СССР динамических рядов о численности рабочих и служащих в СССР по республикам, областям, краям и АССР за 1937 г., 1940 г., 1942-1951 г.г.
- [A303] Ф. 1562, Оп. 33, Ед. 2304: Таблицы и справки ЦСУ СССР об основных показателях развития народного хозяйства и культуры и выполнения народнохозяйственного плана по СССР, отдельным областям, республикам, городам за 1951-1955 гг., представленные в Совет Министров СССР и ЦК КПСС.
- [A304] Ф. 1562, Оп. 33, Ед. 2314: Динамические ряды, таблицы и доклады ЦСУ СССР и Госплана СССР расчета баланса денежных доходов и расходов населения СССР, основные фонды СССР по формам собственности и отраслям народного хозяйства в ценах на 1 июля 1950 г. за 1913-1955 годы.
- [A305] Ф. 1562, Оп. 33, Ед. 4558: Динамические ряды ЦСУ СССР по расчету баланса трудовых ресурсов на I-января и I-июня 1955-1960 г.г. и по расчету в среднем за 1955-1960 г.г. (по методологии плановых органов) по СССР и союзным республикам.

- [A306] Ф. 1562, Оп. 41, Ед. 112: Основные показатели развития общественного хозяйства колхозов: статистический сборник
- [A307] Ф. 1562, Оп. 41, Ед. 114: Основные показатели развития народного хозяйства и культуры СССР за 1913-1955 г.г.: статистический сборник.
- [A308] Ф. 1562, Оп. 41, Ед. 296: Статистический сборник ЦСУ СССР «Труд в СССР». Часть I, 1960 г.
- [A309] Ф. 1562, Оп. 41, Ед. 365: Статистический сборник ЦСУ СССР «Итоги переоценки основных фондов на 1 января 1960 года». Том I. Часть I, 1961 г.
- [A310] Ф. 1562, Оп. 41, Ед. 656: Статистический сборник ЦСУ СССР «Труд в СССР». Часть II, 1963 г.
- [A311] Ф. 1562, Оп. 337, Ед. 6049: Таблицы ЦСУ СССР динамических рядов данных о среднегодовой численности рабочих и служащих по отраслям народного хозяйства по союзным республикам за 1940, 1945, 1950–1962 гг.
- [A312] Ф. 1562, Оп. 337, Ед. 6050: Таблицы ЦСУ СССР динамических рядов данных о фонде заработной платы рабочих и служащих по отраслям народного хозяйства по союзным республикам за 1956–1962 гг.
- [A313] Ф. 4372, Оп. 30, Ед. 841: Сведения об итогах выполнения народнохозяйственного плана I пятилетки Узбекской ССР, 1932 г.
- [A314] Ф. 4372, Оп. 36, Ед. 786: Материалы о развитии народного хозяйства Казахской ССР на III пятилетие и итоги выполнения плана за II пятилетие, 9 ноября 1937 г. – 9 января 1939 г.

В分類 ソ連閣僚会議付属中央統計局およびソ連国家統計委員会刊行統計年鑑

- [B1] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР: статистический сборник, Государственное статистическое издательство, М., 1956.
- [B2] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1957 году: статистический ежегодник, Государственное статистическое издательство, М., 1958.

- [B3] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1958 году: статистический ежегодник, Государственное статистическое издательство, М., 1959.
- [B4] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1959 году: статистический ежегодник, Госстатиздат ЦСУ СССР, М., 1960.
- [B5] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1960 году: статистический ежегодник, Госстатиздат ЦСУ СССР, М., 1961.
- [B6] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1961 году: статистический ежегодник, Госстатиздат ЦСУ СССР, М., 1962.
- [B7] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1962 году: статистический ежегодник, Госстатиздат ЦСУ СССР, М., 1963.
- [B8] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1963 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1965.
- [B9] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство хозяйство СССР в 1964 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1965.
- [B10] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1965 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1966.
- [B11] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1967 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1968.
- [B12] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1968 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1969.

- [B13] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1969 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1970.
- [B14] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1970 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1971.
- [B16] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1972 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1973.
- [B17] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1973 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1974.
- [B18] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1974 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1975.
- [B19] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Народное хозяйство СССР в 1975 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1976.
- [B22] Центральное статистическое управление СССР, Народное хозяйство СССР в 1978 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1979.
- [B23] Центральное статистическое управление СССР, Народное хозяйство СССР в 1979 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1980.
- [B24] Центральное статистическое управление СССР, Народное хозяйство СССР в 1980 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1981.
- [B26] Центральное статистическое управление СССР, Народное хозяйство СССР в 1982 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», М., 1983.
- [B27] Центральное статистическое управление СССР, Народное хозяйство СССР в 1983 году: статистический ежегодник, Издательство «Финансы и Статистика», М., 1984.
- [B28] Центральное статистическое управление СССР, Народное хозяйство СССР в 1984 году: статистический ежегодник, Издательство «Финансы и Статистика», М., 1985.

- [B29] Центральное статистическое управление СССР, Народное хозяйство СССР в 1985 году: статистический ежегодник, Издательство «Финансы и Статистика», М., 1986.
- [B30] Государственный комитет СССР по статистике, Народное хозяйство СССР за 70 лет: юбилейный статистический ежегодник, Издательство «Финансы и Статистика», М., 1987.
- [B31] Государственный комитет СССР по статистике, Народное хозяйство СССР в 1987 году: статистический ежегодник, Издательство «Финансы и Статистика», М., 1988.
- [B32] Государственный комитет СССР по статистике, Народное хозяйство СССР в 1988 году: статистический ежегодник, Издательство «Финансы и Статистика», М., 1989.
- [B33] Государственный комитет СССР по статистике, Народное хозяйство СССР в 1989 году: статистический ежегодник, Издательство «Финансы и Статистика», М., 1990.
- [B34] Государственный комитет СССР по статистике, Народное хозяйство СССР в 1990 году: статистический ежегодник, Издательство «Финансы и Статистика», М., 1991.

С分類 ソ連閣僚会議付属中央統計局およびソ連国家統計委員会刊行統計資料(統計年鑑を除く)

- [C3] ЦСУ СССР среднеазиатское статистическое управление, Народное хозяйство Средней Азии в 1963 году: статистический сборник, Издательство «Узбекистан», Ташкент, 1964.
- [C7] Центральное статистическое управление СССР, Труд в СССР: статистический сборник, Издательство «Статистика», М., 1968.
- [C23] Центральное статистическое управление СССР, Труд в СССР: статистический сборник, Издательство «Финансы и Статистика», М., 1983.
- [C301] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Сельское хозяйство СССР: статистический сборник, Госстатиздат ЦСУ СССР, М., 1960.
- [C302] Центральное статистическое управление при Совете Министров СССР, Сельское хозяйство СССР: статистический сборник, Издательство «Статистика», М., 1971.
- [C303] Государственный комитет СССР по статистике, Сельское хозяйство СССР: статистический сборник, Издательство «Финансы и Статистика», М., 1988.
- [C304] Государственный комитет СССР по статистике, Труд в СССР: статистический сборник, Издательство «Финансы и Статистика», М., 1975.

[C305] Государственный комитет СССР по статистике, Труд в СССР: статистический сборник, Издательство «Финансы и Статистика», М., 1978.

[C306] Государственный комитет СССР по статистике, Труд в СССР: статистический сборник, Издательство «Финансы и Статистика», М., 1988.

D分類 ソ連閣僚会議附属国家計画委員会刊行統計資料

[D1] Центральное управление народнохозяйственного учета СССР, СССР за 15 лет: статистические материалы по народному хозяйству, Государственное социально-экономическое издательство, М., 1932.

[D301] Госплан СССР. Экономико-статистический сектор. Труд в СССР. Справочник 1926-1930 гг.. Под ред. Я.М.Бинемана. М.: Планхозгиз, 1930.

[D302] Центральное управление народнохозяйственного учета СССР, Народное хозяйство СССР: статистический справочник 1932, Государственное социально-экономическое издательство, М., 1932.

[D303] Центральное управление народно-хозяйственного учета при Госплане) сектор учета труда [1932] Труд в СССР: экономико-статистический справочник, Государственное экономическое издательство, Москва.

[D304] Центральное управление народно-хозяйственного учета Госплана СССР, Труд в СССР: ежегодник / [отв. редактор Е.И. Уряшзон и С.А. Хейнман], ЦУНХУ Госплана СССР – В/О Союзоргучет, М., 1935.

[D305] Центральное управление народно-хозяйственного учета Госплана СССР, Труд в СССР: ежегодник / [отв. редактор Е.И. Уряшзон и С.А. Хейнман], ЦУНХУ Госплана СССР – В/О Союзоргучет, М., 1936.

[D306] Центральное управление народнохозяйственного учета Госплана Союза ССР, Колхозы во второй сталинской пятилетке: статистический сборник / под ред. И.В. Саутина. 1939.

[D307] Центральное управление народнохозяйственного учета Госплана Союза ССР, Итоги развития Народного хозяйства во второй пятилетке 1940: статистический сборник. 1941.

[D308] Центральное управление народно-хозяйственного учета Госплана СССР, Народное хозяйство Союза С.С.Р. в цифрах: краткий справочник, ЦУНХУ Госплана СССР – В/О Союзоргучет, М., 1938.

E 分類 ソ連連邦省刊行統計資料

- [E301] Центральное бюро статистики труда [1924] Труд в СССР: статистико-экономический обзор (октябрь 1922- март 1924), ЦБСТ, Москва.

F 分類 カザフスタン政府刊行統計資料

- [F1] Управление народнохозяйственного учета Казахской АССР, Социалистическое строительство Казахской АССР: экономико-статистический справочник за 1920-1935 гг., В/С «Союзоргучет», Москва, Алма-Ата, 1936.
- [F2] Статистическое управление Казахской ССР, Народное хозяйство Казахской ССР: статистический сборник, Казахское государственное издательство, Алма-Ата, 1957.
- [F4] Центральное статистическое управление при Совете Министров Казахской ССР, Народное хозяйство Казахской ССР в 1960 и 1961 гг.: статистический сборник, Госстатиздат, Алма-Ата, 1963.
- [F5] Центральное статистическое управление при Совете Министров Казахской ССР, Народное хозяйство Казахстана: статистический сборник, Издательство «Казахстан», Алма-Ата, 1968.
- [F7] Центральное статистическое управление при Совете Министров Казахской ССР, Народное хозяйство Казахстана в 1974 г.: статистический сборник, Издательство «Казахстан», Алма-Ата, 1975.
- [F11] Центральное статистическое управление Казахской ССР, Народное хозяйство Казахстана в 1985 г.: статистический ежегодник, Издательство «Казахстан», Алма-Ата, 1986.
- [F14] Государственный комитет Казахской ССР по статистике, Народное хозяйство Казахстана за 70 лет: статистический сборник, Издательство «Казахстан», Алма-Ата, 1990.
- [F301] Госкомстат Республики Казахстан, Региональный статистический ежегодник Казахстана за 1993 г., Алматы, 1994.
- [F302] Госкомстат Республики Казахстан, Статистический ежегодник Казахстана за 1994 г., Алматы, 1995.
- [F303] Website: Бюро национальной статистики Агентства по стратегическому планированию и реформам Республики Казахстан (<https://stat.gov.kz/>)

G 分類 キルギス政府刊行統計資料

- [G3] Центральное статистическое управление при Совете Министров Киргизской ССР, Народное хозяйство Киргизской ССР в 1963 году: статистический ежегодник, Издательство «Статистика» киргизское отделение, Фрунзе, 1964.
- [G6] Центральное статистическое управление при Совете Министров Киргизской ССР, Народное хозяйство Киргизской ССР в 1975 г.: статистический ежегодник, Издательство «Кыргызстан», Фрунзе, 1976.
- [G9] Центральное статистическое управление Киргизской ССР, Народное хозяйство Киргизской ССР в 1984 году: статистический ежегодник, Издательство «Кыргызстан», Фрунзе, 1985.
- [G10] Государственный комитет Киргизской ССР по статистике, Народное хозяйство Киргизской ССР в 1989 году: статистический ежегодник, Издательство «Кыргызстан», Фрунзе, 1991.
- [G301] Центральное статистическое управление Киргизской ССР, Кыргызстан за годы советской власти, статистический сборник, Издательство «Кыргызстан», Фрунзе, 1970.
- [G302] Национальный статистический комитет Кыргызской Республики, Статистический ежегодник Кыргызской Республики 1994 ч.1, Бишкек, 1995.
- [G303] Национальный статистический комитет Кыргызской Республики, Статистический ежегодник Кыргызской Республики 1995 ч.1, Бишкек, 1996.
- [G304] Национальный статистический комитет Кыргызской Республики, Кыргызстан в цифрах, Статистический сборник. Бишкек, 2000.
- [G305] Национальный статистический комитет Кыргызской Республики, Кыргызстан в цифрах, Бишкек, 2005.
- [G306] Национальный статистический комитет Кыргызской Республики, Кыргызстан в цифрах, Бишкек, 2006.
- okved
- [G307] Национальный статистический комитет Кыргызской Республики, Статистический ежегодник Кыргызской Республики, Бишкек, 2011.

[G308] Website: Национальный статистический комитет Кыргызской Республики
(<http://www.stat.kg/>)

Н分類 タジキスタン政府刊行統計資料

- [H2] Центральное статистическое управление при Совете Министров Таджикской ССР, Народное хозяйство Таджикской ССР в 1960 году: краткий статистический сборник, Государственное статистическое издательство, Душанбе, 1961.
- [H3] Центральное статистическое управление при Совете Министров Таджикской ССР, Народное хозяйство Таджикской ССР в 1961 году: краткий статистический сборник, Государственное статистическое издательство, Душанбе, 1962.
- [H7] Центральное статистическое управление Таджикской ССР, Народное хозяйство Таджикской ССР в 1968 г.: статистический ежегодник, Издательство «Статистика», Душанбе, 1969.
- [H8] Центральное статистическое управление Таджикской ССР, Народное хозяйство Таджикской ССР в 1971 г.: статистический ежегодник, Издательство «Ирфон», Душанбе, 1972.
- [H9] Центральное статистическое управление Таджикской ССР, Народное хозяйство Таджикской ССР в 1974 году: статистический ежегодник, Издательство «Ирфон», Душанбе, 1975.
- [H11] Центральное статистическое управление Таджикской ССР, Советский Таджикистан за 60 лет: юбилейный статистический ежегодник, Издательство «Ирфон», Душанбе, 1984.
- [H301] Госкомстат Таджикской ССР. Народное хозяйство Таджикской ССР в 1988 г.: статистический ежегодник, Издательство «Ирфон», Душанбе, 1990.
- [H302] Госкомстат Таджикской ССР. Народное хозяйство Таджикской ССР в 1989 г.: статистический ежегодник, Издательство «Ирфон», Душанбе, 1991.
- [H303] Государственный комитет статистики Республики Таджикистан. Таджикистан: 15 лет государственной независимости, Статистический сборник. Душанбе, 2006.
- [H304] Агентство по статистике при Президенте Республики Таджикистан. Регионы Республики Таджикистан. Статистический сборник. Душанбе, 2010.

- [H305] Агентство по статистике при Президенте Республики Таджикистан. Таджикистан в цифрах. Статистический сборник. Душанбе, 2011.
- [H306] Агентство по статистике при Президенте Республики Таджикистан. Рынок труда в Республике Таджикистан. Статистический сборник. Душанбе, 2014.
- [H307] Website: Агентство по статистике при Президенте Республики Таджикистан. (<https://www.stat.tj>)

I 分類 トルクメニスタン政府刊行統計資料

- [I2] Центральное статистическое управление при Совете Министров ТССР, Народное хозяйство Туркменской ССР: статистический сборник, Госстатиздат, Ашхабад, 1962.
- [I5] Центральное статистическое управление при Совете Министров Туркменской ССР, Туркменистан за 50 лет: статистический сборник, Издательство «Туркменистан», Ашхабад, 1974.
- [I6] Центральное статистическое управление при Совете Министров ТССР, Народное хозяйство ТССР в 1974 году: статистический ежегодник, Издательство «Туркменистан», Ашхабад, 1976.
- [I11] Центральное статистическое управление Туркменской ССР, Туркменистан в цифрах в 1984 г.: статистический сборник, Издательство «Туркменистан», Ашхабад, 1985.
- [I14] Государственный комитет ТССР по статистике, Туркменистан в цифрах в 1990 году: краткий статистический сборник, Издательство «Туркменистан», Ашхабад, 1991.
- [I301] Управление народно-хозяйственного учета Туркменской ССР, 15 лет Туркменской ССР: статистический сборник / [под редакцией П. Т. Малинина], Партиздат, Ашхабад, 1939.
- [I302] Центральное статистическое управление Туркменской ССР, Народное хозяйство Туркменской ССР в 1989 году: статистический ежегодник, Издательство «Туркменистан», Ашхабад, 1990.
- [I303] Государственный комитет Туркменистана по статистике, Туркменистан в цифрах в 1995 году: краткий статистический сборник, Издательство «Туркменистан», Ашхабад, 1996.
- [I304] Государственный комитет Туркменистана по статистике (<http://www.stat.gov.tm>)

J 分類 ウズベキスタン政府刊行統計資料

- [J1] Управление народно-хозяйственного учета УзССР, Узбекистан за 15 лет: статистический сборник, Государственное издательство научно-технической и социально-экономической литературы, Ташкент, 1939.
- [J5] Центральное статистическое управление при Совете Министров Узбекской ССР, Народное хозяйство Узбекской ССР за 50 лет: юбилейный статистический ежегодник, Издательство «Узбекистан», Ташкент, 1974.
- [J7] Центральное статистическое управление при Совете Министров Узбекской ССР, Народное хозяйство Узбекской ССР в 1975 г.: статистический ежегодник, Издательство «Узбекистан», Ташкент, 1976.
- [J14] Государственный комитет Узбекской ССР по статистике, Узбекистан в цифрах в 1990 году: краткий статистический сборник, Издательство «Ўзбекистон», Ташкент, 1991.
- [J301] Управление народно-хозяйственного учета УзССР, Краткий статистический сборник УзССР, Издательство совета народных комиссаров УзССР, Ташкент, 1936.
- [J302] Центральное статистическое управление при Совете Министров Узбекской ССР, Народное хозяйство Узбекской ССР в 1958 г.: статистический ежегодник, Издательство «Узбекистан», Ташкент, 1959.
- [J303] Центральное статистическое управление при Совете Министров Узбекской ССР, Народное хозяйство Узбекской ССР в 1960 г.: статистический ежегодник, Издательство «Узбекистан», Ташкент, 1961.
- [J304] Центральное статистическое управление при Совете Министров Узбекской ССР, Народное хозяйство Узбекской ССР в 1969 г.: статистический ежегодник, Издательство «Узбекистан», Ташкент, 1970.
- [J305] Центральное статистическое управление при Совете Министров Узбекской ССР, Народное хозяйство Узбекской ССР в 1985 г.: статистический ежегодник, Издательство «Узбекистан», Ташкент, 1986.
- [J306] Центральное статистическое управление при Совете Министров Узбекской ССР, Народное хозяйство Узбекской ССР в 1990 г.: статистический ежегодник, Издательство «Узбекистан», Ташкент, 1991.

- [J307] Государственный комитет Республики Узбекистан по статистике, Статистический ежегодник Республики Узбекистан. Ташкент, 2009.
- [J308] Государственный комитет Республики Узбекистан по статистике. Статистический ежегодник Республики Узбекистан. Ташкент, 2012.
- [J308] Website: Государственный комитет Республики Узбекистан по статистике.
(<https://www.stat.uz>)

K分類 独立国家共同体国家間統計委員会刊行統計資料・公開データ

- [K1] Статистический комитет Содружества Независимых Государств, Страны-члены СНГ: статистический ежегодник, Финстатинформ, М., 1993.
- [K2] Статистический комитет Содружества Независимых Государств, Страны-члены СНГ в 1993 г.: статистический ежегодник, Статкомитет СНГ, М., 1994.
- [K3] Межгосударственный статистический комитет Содружества Независимых Государств, Содружество Независимых Государств в 1997 году: статистический ежегодник, Статкомитет СНГ, М., 1998.
- [K4] Межгосударственный статистический комитет Содружества Независимых Государств, 10 лет Содружества Независимых Государств (1991-2000): статистический сборник, Статкомитет СНГ, М., 2001.
- [K5] Межгосударственный статистический комитет Содружества Независимых Государств, Содружество Независимых Государств в 2001 году: статистический ежегодник, Статкомитет СНГ, М., 2002.
- [K6] Межгосударственный статистический комитет Содружества Независимых Государств, Содружество Независимых Государств в 2005 году: статистический ежегодник, Статкомитет СНГ, М., 2006.
- [K7] Межгосударственный статистический комитет Содружества Независимых Государств, Содружество Независимых Государств в 2008 году: статистический ежегодник, Статкомитет СНГ, М., 2009.
- [K8] Межгосударственный статистический комитет Содружества Независимых Государств, Содружество Независимых Государств в 2009 году: статистический ежегодник, Статкомитет СНГ, М., 2010.

- [K9] Межгосударственный статистический комитет Содружества Независимых Государств, Содружество Независимых Государств в 2010 году: статистический ежегодник, Статкомитет СНГ, М., 2011.
- [K10] Межгосударственный статистический комитет Содружества Независимых Государств, 20 лет Содружеству Независимых Государств 1991-2010: статистический сборник, Статкомитет СНГ, М., 2011.
- [K11] Межгосударственный статистический комитет Содружества Независимых Государств, Содружество Независимых Государств в 2011 году: статистический ежегодник, Статкомитет СНГ, М., 2012.
- [K12] Interstate Statistical Committee of the Commonwealth of Independent States, Official Statistics of the Countries of the Commonwealth of Independent States 2009-14, Interstate Statistical Committee of the CIS, Moscow. (CD-ROM)
- [K13] Interstate Statistical Committee of the Commonwealth of Independent States, Official Statistics of the Countries of the Commonwealth of Independent States 2010-15, Interstate Statistical Committee of the CIS, Moscow. (CD-ROM)
- [K14] Interstate Statistical Committee of the Commonwealth of Independent States, Official Statistics of the Countries of the Commonwealth of Independent States 2011-16, Interstate Statistical Committee of the CIS, Moscow. (CD-ROM)
- [K15] Website: Межгосударственный статистический комитет Содружества Независимых Государств (<http://www.cisstat.com/>).
- [K301] Межгосударственный статистический комитет Содружества Независимых Государств, 25 лет Содружеству Независимых Государств 1991-2015, Статистический сборник. Москва 2015.

L 分類 欧州復興開発銀行刊行資料

- [L1] European Bank for Reconstruction and Development, Transition Report 2006: Finance in Transition, European Bank for Reconstruction and Development, London, 2006.
- [L2] European Bank for Reconstruction and Development, Transition Report 2007: People in Transition, European Bank for Reconstruction and Development, London, 2007.

- [L3] European Bank for Reconstruction and Development, Transition Report 2008: Growth in Transition, European Bank for Reconstruction and Development, London, 2008.
- [L4] European Bank for Reconstruction and Development, Transition Report 2005: Business in Transition, European Bank for Reconstruction and Development, London, 2005.
- [L301] European Bank for Reconstruction and Development, Transition Report 1998: Financial sector in Transition, European Bank for Reconstruction and Development, London, 1998.
- [L302] European Bank for Reconstruction and Development, Transition Report 2000: Employment, skill and Transition, European Bank for Reconstruction and Development, London, 2000.
- [L303] European Bank for Reconstruction and Development, Transition Report 2003: Integration and regional cooperation, European Bank for Reconstruction and Development, London, 2003.
- [L304] European Bank for Reconstruction and Development, Transition Report 2004: Infrastructure, European Bank for Reconstruction and Development, London, 2004.
- [L305] European Bank for Reconstruction and Development, Transition Report 2010: Recovery and reform, European Bank for Reconstruction and Development, London, 2010.
- [L306] EUROSTAT, NACE Rev.2 Statistical classification of economic activities in the European Community. Luxembourg: Office for Official Publications of the European Communities. 2008.
- [L307] International Labour Organization, Statistical Sources and Methods, Vol. 3, Economically Active Population, Employment, Unemployment and Hours of Work (household surveys), 2nd edition, International Labour Office, Geneva, 1990.

N分類 その他

- [N1] Ivanov, Youri and Tatiana Khomenko, “A retrospective analysis of the economic development of countries of the Commonwealth of Independent States,” RRC Working Paper Series No. 17, Russian Research Center, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, Tokyo, June 2009. (Available at: http://www.ier.hit-u.ac.jp/rrc/RRC_WP_No17.pdf)
- [N301] Академия наук СССР, Институт истории, Советское крестьянство в годы Великой Отечественной войны / Ю. В. Арутюнян, Издательство Академии наук СССР, 1963.
- [M302] World Bank, Transition: The First Ten Years: Analysis and Lessons for Eastern Europe and the Former Soviet Union, 2002.
- [M303] Website: World Bank, World Development Indicators.

(<https://data.worldbank.org/indicator/SL.UEM.TOTL.ZS?end=2016&locations=KZ-UZ-KG-TJ-TM&start=1991>).

[M304] United Nations, International Standard Industrial Classification of All Economic Activities (ISIC), Revision 3.1, United Nations, New York, 2002.

付録 B 統計表

凡例

1. 各統計表の出所の詳細は、付録Aの統計資料リストを参照。個々の資料には、14 分類毎に、A1 や F12 等とそれぞれ通し番号が割り当てられており、統計表の出所には、これら資料通し番号に加えて、参照したページ数や付表等の情報が付されている。但し、A分類のソ連 閣僚会議中央統計局フォンド機密解除資料を出典とする場合は、当該資料にその作成者(機関)が付与したページ数ではなく、保存ファイル(ロシア語では“единица хранения”。略して“Ед.”)に綴じ込まれた文書類の一葉(ロシア語では“лист”。略して“Л.”)それぞれにロシア経済文書館ないし資料寄託機関が別途振った通し番号を言及している。

2. 特に断りのない限り、表中の記号は下記を意味する。

…：データの欠如

—：該当する事象が発生ないし存在していない

0.0, 0.00 等：数値が極めて小さい

目次

統計表 1 統計データの有無と出典

統計表 7 中央アジア 5 カ国におけるコルホーズ員数

統計表 8 中央アジア 5 カ国におけるコルホーズ員の月平均賃金

統計表 14 (a~k) 中央アジア 5 カ国における産業部門別の就業者数

統計表 15 (a~p) 中央アジア 5 カ国における産業部門別の月平均賃金

* 統計表 2~6 及び統計表 10~13 は、紙幅の都合上、本稿では掲載しない。

統計表1 統計データの有無と出典
Table 1 Data sources

	1		2		3		4		5	
	ウズベキスタン Uzbekistan		カザフスタン Kazakhstan		キルギスタン Kyrgyzstan		タジキスタン Tajikistan		トルクメニスタン Turkmenistan	
	労働者・職員数	平均賃金	労働者・職員数	平均賃金	労働者・職員数	平均賃金	労働者・職員数	平均賃金	労働者・職員数	平均賃金
	統計データの有無(出典別) Data availability (by data source)									
1901	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1902	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1903	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1904	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1905	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1906	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1907	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1908	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1909	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1910	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1911	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1912	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1913	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1914	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1915	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1916	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1917	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1918	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1919	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1920	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1921	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1922	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...
1923	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1924	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1925	...	...	...	...	...	...	...	...	▢	▢
1926	▢	...	△	△	...	...	▢	...	▢	...
1927	...	...	△	△	...	...	...	...	...	...
1928	○	...	△○	△	○	▢	○▢	...	○▢	▢
1929	△○▢	▢	△○	△	△○	...	△○	...	△○	...
1930	...	...	△	△	...	...	...	...	...	...
1931	△	...	△	△	...	...	△	...	△	...
1932	▢	...	△	△	▢	▢	...	...	▢	▢
1933	△○▢	○▢	△○	○△	△○	○	△○	○	△○	○
1934	○▢	○▢	○▢△	○▢△	○	○	○	○	○	○
1935	○▢	○▢	△○	△○	○	○	○	○	○	○
1936	○▢	○▢	△○	△○	○	○	○	○	○	○
1937	▢	▢	▢△	▢△	▢	▢	▢	...	▢	▢
1938	...	...	...	...	...	...	...	...	▢	▢
1939	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1940	△○▢	○▢	△○▢	○▢	△○	○▢	△○▢	○	△○▢	○▢
1940	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
1941	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1942	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
1943	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
1944	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
1945	△○▢	...	△○▢	...	△○	...	△○▢	...	△○	...
1945	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
1946	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
1947	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
1948	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
1949	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
1950	△○▢	△○	△○▢	△○	△○▢	△○	△○▢	△○	△○▢	△○
1950	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
1951	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
1952	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
1953	△	△	△▢	△	△▢△	△	△	△	△	△
1954	△	...	△	△	△	△	△	△	△	△
1955	△○▢	△○	△○▢	△○	△○▢	△○	△○▢	△○	△○▢	△○▢
1956	△▢	△○	△▢	△○	△	△○	△▢	△○	△▢	△○
1957	△▢▢	△	△▢	△	△▢	△	△▢▢	△	△▢▢	△

統計表1 統計データの有無と出典(続き)
Table 1 Data sources

	1 ウズベキスタン Uzbekistan		2 カザフスタン Kazakhstan		3 キルギスタン Kyrgyzstan		4 タジキスタン Tajikistan		5 トルクメニスタン Turkmenistan	
	労働者・職員数	平均賃金	労働者・職員数	平均賃金	労働者・職員数	平均賃金	労働者・職員数	平均賃金	労働者・職員数	平均賃金
	統計データの有無(出典別)Data availability (by data source)									
1958	△□□	△	△□□	△	△□□	△	△□□	△	△□□	△
1959	△□	△	△□	△	△□	△	△□	△	△□	△
1960	△○□□	△○□	△○□□	△○□	△○□□	△○	△○□□	△○	△○□□	△○□
1961	△○□	△□	△○□	△	△○□	△	△○□	△	△○□	△
1962	△○□□	△	△○□	△	△○□□	△	△○□□	△	△○□□	△
1963	○□	…	○□	…	○□□	…	○□	…	○□	…
1964	○□	…	○□	…	○□	…	○□	…	○□	…
1965	○□□	○□	○□□	○	○□	○	○□□	○□	○□□	○□
1966	○□	□	○□	□	○	□	○□	□	○	□
1967	○□	□	○□	□	○	□	○□	□	○	□
1968	□	□	□	□	△	□	□	□	△	□
1969	□□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
1970	○□□	○□	○□□	○□	○□□	○□	○□□	○□	○□□	○□
1971	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
1972	□□	□	□□	□	□□	□	□□	□	□□	□
1973	□□	□	□□	□	□□	□	□□	□	□□	□
1974	□□	□	□□	□	□□	□	□□	□	□□	□
1975	○□	○□	○	○	○□	○□	○	○	○	○□
1976	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1977	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1978	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1979	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1980	○□	○□	○□	○□	○	○□	○	○□	○	○□
1981	○	○□	○	○□	○	○□	○	○□	○	○□
1982	○	○□	○	○□	○	○□	○	○□	○	○□
1983	○□	○□	○□	○□	○□	○□	○□	○□	○□	○□
1984	○□	○□	○□	○□	○□	○□	○□	○□	○□	○□
1985	□	○□	□	○□	□	○□	□	○	□	○□
1986	□	○□	□	○□	□	○□	□	○	□	○□
1987	□	○□	□	○□	□	○□	□	○	□	○□
1988	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
1989	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
1990	□	☆	□	□	□☆	☆	□	□	□	☆
1991		☆		☆		☆	☆	☆		☆
1992		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		☆
1993			☆	☆	☆	☆	☆	☆		
1994			☆	☆	☆	☆	☆	☆		
1995					☆	☆	☆	☆		
1996					☆	☆	☆	☆		
1997	☆				☆	☆	☆	☆		
1998	☆		☆	☆	☆	☆	☆	☆		
1999	☆		☆	☆	☆	☆	☆	☆	…	…
2000	☆	…	☆	☆	☆	☆	☆	☆	…	…
2001	☆	…	☆	☆	☆	☆	☆	☆	…	…
2002	☆	…	☆	☆	☆	☆	☆	☆	…	…
2003	☆	…	☆	☆	☆	☆	☆	☆	…	…
2004	☆	…	☆	☆	☆	☆	☆	☆	…	…
2005	☆	…	☆	☆	☆	☆	☆	☆	…	…
2006	☆	…	☆	☆	☆	☆	☆	☆	…	…
2007	☆	…	☆	☆	☆	☆	☆	☆	…	…
2008	☆	…	☆	☆	☆	☆	☆	☆	…	…
2009	☆	…	☆	☆	☆	☆	☆	☆	…	…
2010	☆	…	☆	☆	☆	☆	☆	☆	…	…

出所:筆者作成

△	A分類 ロシア連邦経済文書館所蔵ソ連閣僚会議付属中央統計局fond機密解除資料のデータ
□	B分類 ソ連閣僚会議付属中央統計局及びソ連国家統計委員会刊行統計年鑑(Народное хозяйство СССР)
○	C分類 ソ連閣僚会議付属中央統計局及びソ連国家統計委員会刊行統計資料(統計年鑑を除く)、およびD分類 ソ連閣僚会議付属国家計画委員会刊行統計資料の「Труд в СССР」シリーズのデータ
□	F分類 カザフスタン政府刊行統計資料、G分類 キルギス政府刊行統計資料、H分類 タジキスタン政府刊行統計資料、I分類 トルクメニスタン政府刊行統計資料、J分類 ウズベキスタン政府刊行統計資料のデータ
△	年平均賃金fondのデータ
□	非物的サービス部門のデータが欠如している
	同年の異なる統計集からのデータ
	K分類 独立国家共同体国家間統計委員会刊行統計資料・公開データ
☆	各共和国国家統計局のHPで公開されているデータ

統計表7 中央アジア5カ国におけるコルホーズ員数

	1	2	3	4	5	6	7
	ソ連邦 USSR	中央アジア					
		Central Asia	ウズベキスタン	カザフスタン	キルギスタン	タジキスタン	トルクメニスタン
			Uzbekistan	Kazakhstan	Kyrgyzstan	Tajikistan	Turkmenistan
	年平均コルホーズ員数（千名）		Annual average number of kolkhozniks (thousand persons)				
1901	...	...	...	...	...	...	...
1902	...	...	...	...	...	...	...
1903	...	...	...	...	...	...	...
1904	...	...	...	...	...	...	...
1905	...	...	...	...	...	...	...
1906	...	...	...	...	...	...	...
1907	...	...	...	...	...	...	...
1908	...	...	...	...	...	...	...
1909	...	...	...	...	...	...	...
1910	...	...	...	...	...	...	...
1911	...	...	...	...	...	...	...
1912	...	...	...	...	...	...	...
1913	...	...	...	...	...	...	...
1920	...	...	...	...	...	...	...
1921	...	...	...	...	...	...	...
1922	...	...	...	...	...	...	...
1923	...	...	...	...	...	...	...
1924	...	...	...	...	...	...	...
1925	...	...	...	...	...	...	...
1926	...	...	...	...	...	...	...
1927	...	...	...	...	...	...	...
1928	845.0	73.0	20.0	43.0	7.0	1.0	2.0
1929	3,150.7	889.8	437.0	254.8	82.5	45.0	70.5
1930	5,456.3	1,706.6	854.0	466.6	158.0	89.0	139.0
1931	7,762.0	2,523.4	1,271.0	678.4	233.5	133.0	207.5
1932	10,067.7	3,340.2	1,688.0	890.2	309.0	177.0	276.0
1933	12,373.3	3,395.0	1,514.0	1,102.0	275.0	221.0	283.0
1934	14,679.0	3,319.7	1,506.0	1,033.0	255.0	251.7	274.0
1935	16,984.7	3,443.0	1,543.0	1,028.0	278.0	313.0	281.0
1936	19,290.3	3,838.0	1,746.0	1,113.0	330.0	359.0	290.0
1937	21,596.0	4,148.0	1,837.0	1,212.0	378.0	417.0	304.0
1938	23,901.7	3,838.0	1,697.3	1,112.0	347.0	396.3	285.3
1939	26,207.3	3,528.0	1,557.7	1,012.0	316.0	375.7	266.7
1940	28,513.0	3,218.0	1,418.0	912.0	285.0	355.0	248.0
1941	27,510.4	3,812.1	1,685.0	1,097.7	359.3	426.4	243.7
1942	26,507.8	3,064.5	1,283.7	911.9	277.8	385.8	205.3
1943	25,505.2	2,582.0	1,031.9	839.9	230.5	313.6	166.1
1944	24,502.6	2,561.0	1,003.7	860.1	236.6	301.0	159.6
1945	23,500.0	2,637.2	1,039.9	902.4	233.5	299.3	162.1
1946	24,261.0	2,728.8	1,093.4	916.0	250.9	299.6	168.9
1947	25,022.0	2,820.3	1,147.0	929.6	268.3	299.8	175.7
1948	25,783.0	2,911.9	1,200.5	943.1	285.7	300.1	182.5
1949	26,544.0	3,003.4	1,254.0	956.7	303.1	300.3	189.3
1950	27,305.0	3,043.0	1,334.0	888.0	272.0	325.0	224.0
1951	26,689.3	2,993.8	1,324.9	857.3	261.2	329.3	221.0
1952	26,073.7	2,944.5	1,315.7	826.6	250.5	333.7	218.1
1953	25,458.0	2,895.3	1,306.6	795.9	239.7	338.0	215.1
1954	25,828.0	2,788.3	1,195.0	819.6	279.9	329.4	164.4

統計表7 中央アジア5カ国におけるコルホーズ員数（続き）

	1	2	3	4	5	6	7
	ソ連邦 USSR						
		中央アジア Central Asia	ウズベキスタン	カザフスタン	キルギスタン	タジキスタン	トルクメニスタン
			Uzbekistan	Kazakhstan	Kyrgyzstan	Tajikistan	Turkmenistan
	年平均コルホーズ員数（千名）		Annual average number of kolkhozniks (thousand persons)				
1955	26,198.0	2,875.4	1,254.5	825.2	248.6	332.5	214.6
1956	26,980.0	2,912.7	1,269.5	848.1	256.0	320.1	219.0
1957	25,280.0	2,468.7	1,056.1	614.3	257.0	319.7	221.6
1958	25,075.0	2,455.5	1,070.9	615.4	239.7	307.6	221.9
1959	24,109.0	2,402.6	1,017.9	622.4	231.3	312.6	218.4
1960	21,769.0	2,325.0	989.0	611.0	211.0	294.0	220.0
1961	20,323.0	2,084.0	981.0	389.0	210.0	286.0	218.0
1962	19,784.0	2,061.0	970.0	373.0	219.0	288.0	211.0
1963	19,198.0	2,015.0	982.0	305.0	216.0	294.0	218.0
1964	19,001.0	1,984.0	974.0	301.0	212.0	288.0	209.0
1965	18,644.0	1,991.0	980.0	293.0	216.0	285.0	217.0
1966	18,458.0	2,005.0	992.0	296.0	217.0	279.0	221.0
1967	18,227.0	1,994.0	986.0	295.0	215.0	268.0	230.0
1968	17,954.0	2,006.0	1,001.0	296.0	215.0	266.0	228.0
1969	17,173.0	1,993.0	1,011.0	276.0	213.0	264.0	229.0
1970	16,715.0	2,039.0	1,029.0	288.0	215.0	263.0	244.0
1971	16,313.0	2,076.0	1,059.0	286.0	213.0	264.0	254.0
1972	16,108.0	2,077.0	1,060.0	284.0	212.0	262.0	259.0
1973	15,919.0	2,089.0	1,067.0	285.0	207.0	258.0	272.0
1974	15,697.0	2,086.0	1,047.0	281.0	213.0	262.0	283.0
1975	15,173.0	2,091.0	1,047.0	280.0	204.0	265.0	295.0
1976	14,824.0	2,088.0	1,046.0	278.0	207.0	256.0	301.0
1977	14,415.0	2,065.0	1,051.0	275.0	189.0	246.0	304.0
1978	14,131.0	2,076.0	1,064.0	280.0	183.0	246.0	303.0
1979	13,698.0	2,021.0	1,001.0	286.0	185.0	245.0	304.0
1980	13,344.0	1,988.0	998.0	278.0	180.0	239.0	293.0
1981	13,052.0	2,016.0	1,016.0	273.0	184.0	234.0	309.0
1982	12,925.0	2,029.0	1,021.0	270.0	187.0	234.0	317.0
1983	12,917.0	2,084.0	1,041.0	278.0	192.0	242.0	331.0
1984	12,836.0	2,111.0	1,055.0	281.0	196.0	241.0	338.0
1985	12,687.0	2,126.0	1,062.0	280.0	198.0	245.0	341.0
1986	12,560.0	2,105.0	1,038.0	279.0	202.0	249.0	337.0
1987	12,236.0	2,097.0	1,041.0	276.0	189.0	254.0	337.0
1988	12,000.0	2,097.4	1,046.5	264.0	189.8	256.9	340.2
1989	11,900.0	2,132.7	1,090.2	254.0	183.0	257.9	347.6
1990	11,900.0	2,200.4	1,119.8	264.3	191.4	258.3	366.7

出所：筆者作成（137 項の「統計表の出所」をご参照ください。以下同様）

注 1：赤字は欠損値の「推計」。

注 2：1932~37 年のデータは、働く子供と高齢者が含まれていない。

注 3：1953 年 10 月からトラクター運転手の所属がコルホーズ員から MTS の労働者へ移動された。

統計表 8 中央アジア5カ国におけるコルホーズ員の月平均賃金

	1	2	3	4	5	6	7
	ソ連邦 USSR	中央アジア Central Asia					
			ウズベキスタン	カザフスタン	キルギスタン	タジキスタン	トルクメニスタン
			Uzbekistan	Kazakhstan	Kyrgyzstan	Tajikistan	Turkmenistan
		コルホーズ員の月平均賃金（ルーブル） Monthly average wage of kolkhozniks (roubles)					
1960	...	...	...	47.0	37.0	...	
1961	...	...	...	...	...	...	...
1962	...	...	...	...	...	...	...
1963	...	...	...	...	...	...	...
1964	...	...	...	...	...	...	...
1965	51.3	...	70.4	69.0	68.8	...	...
1966	...	...	...	...	...	...	...
1967	...	...	...	...	...	...	...
1968	...	...	...	...	...	...	...
1969	...	...	...	...	...	...	...
1970	74.9		92.3	99.9	83.1	86.3	126.3
1971	...	...	...	...	...	...	...
1972	...	...	...	...	...	...	...
1973	...	...	...	...	...	...	...
1974	...	...	...	...	...	...	...
1975	92	...	96.4	113.0	99.3	...	125.0
1976	98.5	...	...	...	...	...	...
1977	105.4	...	...	...	...	...	...
1978	109.5	...	...	...	...	...	...
1979	113.6	...	...	...	...	...	...
1980	118.5	...	130.0	139.4	117.6	129.8	152.3
1981	122.1	...	128.5	...	117.3	...	141.0
1982	128.9	...	125.3	...	122.0	...	148.0
1983	141.1	...	135.4	...	148.5	...	161.0
1984	147.7	...	128.8	...	158.1	...	159.0
1985	153.4	...	130.1	166.6	160.1	140.6	161.9
1986	163	...	129.7	173.0	150.6	146.5	146.6
1987	170.2	...	132.1	186.8	160.5	138.3	161.4
1988	181.8	...	149.6	199.3	165.4	158.4	179.2
1989	200.8	...	165.0	210.3	198.0	166.3	203.9
1990	241.1	...	202.6	246.3	220.3	184.7	245.8

出所：筆者作成。

統計表 14a 経済全体の就業者数
Table 14a Employed in the Total Economy

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	年平均就業者数(千名) Annual average of employed (thousand persons)					
1901	...	...	...	...	...	...
1902	...	...	...	...	...	...
1903	...	...	...	...	...	...
1904	...	...	...	...	...	...
1905	...	...	...	...	...	...
1906	...	...	...	...	...	...
1907	...	...	...	...	...	...
1908	...	...	...	...	...	...
1909	...	...	...	...	...	...
1910	...	...	...	...	...	...
1911	...	...	...	...	...	...
1912	...	...	...	...	...	...
1913	...	...	...	...	...	...
1914	...	...	...	...	...	...
1915	...	...	...	...	...	...
1916	...	...	...	...	...	...
1917	...	...	...	...	...	...
1918	...	...	...	...	...	...
1919	...	...	...	...	...	...
1920	...	...	...	...	...	...
1921	...	...	...	...	...	...
1922	290.4	89.1	128.9	19.0	19.4	34.0
1923	330.6	107.9	141.2	21.8	22.3	37.3
1924	370.7	126.7	153.6	24.6	25.2	40.6
1925	410.9	145.6	166.0	27.4	28.0	43.9
1926	454.6	164.4	178.3	30.2	30.9	50.7
1927	531.7	178.3	227.6	33.0	33.8	58.9
1928	638.1	214.5	272.7	43.6	37.9	69.4
1929	1611.5	708.0	530.2	138.6	87.7	146.9
1930	2763.1	1271.4	832.2	245.0	166.8	247.6
1931	4013.1	1834.8	1232.6	351.4	245.9	348.3
1932	5187.0	2409.9	1571.1	457.9	303.8	444.3
1933	5153.6	2142.5	1792.8	408.4	361.7	448.1
1934	4929.1	2142.3	1592.2	373.4	391.6	429.6
1935	5167.0	2176.8	1662.6	406.2	471.7	449.8
1936	5735.0	2439.9	1813.2	471.3	539.5	471.2
1937	6340.8	2682.8	1967.1	535.9	640.9	514.1
1938	6216.1	2595.3	1951.8	527.5	635.0	506.3
1939	6093.5	2507.9	1936.6	519.1	629.2	500.7
1940	5971.0	2420.5	1921.4	510.8	623.3	495.1
1941	6646.5	2719.0	2151.9	601.5	696.6	477.6
1942	5837.5	2273.5	1992.2	519.0	631.4	421.4
1943	5313.3	1967.5	1968.7	470.5	536.4	370.1
1944	5246.2	1907.5	1984.0	469.2	520.9	364.6
1945	5373.2	1960.2	2044.4	466.9	526.4	375.5
1946	5587.6	2038.6	2118.3	506.5	541.9	382.3
1947	5856.2	2177.3	2187.1	539.8	554.3	397.7
1948	5895.8	2176.8	2185.2	554.2	564.7	414.8
1949	6284.8	2293.8	2384.2	596.6	571.1	439.1
1950	6562.9	2457.8	2406.7	576.7	621.5	500.2
1951	6616.8	2449.9	2467.3	583.6	626.9	489.0
1952	6711.2	2489.4	2495.3	580.4	650.2	495.9
1953	6702.3	2497.0	2462.9	577.0	671.3	494.0
1954	6998.0	2509.9	2690.1	642.4	692.6	463.1
1955	7546.3	2625.4	3048.9	629.5	708.9	533.5
1956	8008.9	2639.6	3488.5	641.4	701.9	537.6
1957	7636.5	2517.7	3198.6	659.2	707.8	553.3
1958	8016.4	2707.5	3357.3	671.1	721.3	559.3
1959	8250.7	2746.3	3492.8	691.6	743.0	577.0

1960	8653.8	2804.0	3768.9	716.9	758.7	605.4
1961	8984.6	2966.7	3866.3	752.5	779.9	619.2
1962	9336.1	3035.8	4070.0	797.0	805.8	627.5
1963	9669.1	3164.9	4183.5	835.9	839.2	645.6
1964	10040.9	3277.3	4372.5	874.8	862.7	653.6
1965	10681.7	3531.8	4634.7	926.1	900.7	688.4
1966	11011.1	3653.6	4756.3	960.4	927.8	712.9
1967	11325.4	3770.0	4879.0	994.6	939.7	742.1
1968	11695.5	3921.9	5007.3	1033.4	974.6	758.3
1969	11945.1	3978.4	5104.9	1071.3	1009.6	780.8
1970	12291.3	4086.1	5231.0	1105.6	1049.0	819.6
1971	12704.4	4233.9	5380.4	1143.9	1092.8	853.3
1972	13084.0	4387.1	5519.2	1168.5	1128.4	880.9
1973	13491.7	4534.8	5680.2	1197.4	1161.7	917.5
1974	13913.0	4701.1	5813.4	1243.0	1206.5	949.0
1975	14327.6	4887.1	5939.4	1267.2	1247.9	986.0
1976	14702.3	5026.9	6070.1	1300.8	1286.8	1017.7
1977	15069.3	5169.7	6187.0	1337.1	1330.4	1045.0
1978	15508.9	5352.4	6341.8	1366.2	1372.0	1076.5
1979	15971.9	5536.4	6497.7	1402.0	1421.0	1114.7
1980	16397.8	5751.7	6639.8	1424.6	1441.8	1139.9
1981	16889.4	5991.6	6749.5	1465.5	1483.5	1199.3
1982	17344.8	6224.3	6863.9	1506.4	1521.3	1228.9
1983	17755.8	6389.4	6963.3	1543.9	1581.1	1278.1
1984	18077.9	6498.4	7063.5	1580.0	1624.7	1311.3
1985	18387.9	6619.1	7136.0	1614.3	1680.7	1337.8
1986	18722.1	6780.8	7208.6	1651.1	1713.9	1367.7
1987	19287.2	7107.7	7294.9	1702.7	1774.7	1407.2
1988	19693.1	7312.2	7399.7	1716.1	1820.3	1444.8
1989	20200.4	7624.1	7467.0	1738.9	1878.6	1491.8
1990	20909.0	7940.8	7805.6	1747.9	1938.3	1476.4
1991	21224.0	8255.0	7716.2	1754.1	1971.3	1527.4
1992	21171.5	8271.4	7577.8	1835.9	1908.9	1577.5
1993	20386.3	8259.0	6963.4	1680.6	1855.4	1627.9
1994	20152.6	8378.7	6581.8	1645.4	1855.2	1691.5
1995	20243.6	8449.2	6551.5	1641.7	1852.5	1748.7
1996	20242.7	8561.0	6518.9	1651.5	1731.0	1780.3
1997	20448.5	8680.0	6472.3	1689.3	1791.0	1815.9
1998	20267.2	8800.0	6127.6	1704.9	1796.0	1838.7
1999	18491.7	8885.0	6105.4	1764.3	1737.0	...
2000	18697.8	8983.0	6201.0	1768.4	1745.4	...
2001	19450.6	9136.0	6698.8	1787.0	1828.8	...
2002	19749.1	9333.0	6708.9	1850.1	1857.1	...
2003	20389.5	9589.0	6985.2	1930.5	1884.8	...
2004	21172.6	9910.6	7181.8	1991.2	2089.0	...
2005	21646.4	10196.3	7261.0	2077.1	2112.0	...
2006	22103.6	10467.0	7403.5	2096.1	2137.0	...
2007	22668.9	10735.4	7631.1	2152.7	2149.7	...
2008	23244.9	11035.4	7857.2	2184.3	2168.0	...
2009	23667.1	11328.1	7903.4	2216.4	2219.2	...
2010	26119.6	11628.4	8114.2	2243.7	2233.3	1900.0

統計表 14b 採掘・製造業・電力・ガス・水道部門の就業者数
Table 14b Employed in the Mining, quarrying; Manufacturing; Electricity, Gas and water supply

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	年平均就業者数(千名) Annual average of employed (thousand persons)					
1901	...	...	...	...	...	...
1902	...	...	...	...	...	...
1903	...	...	...	...	...	...
1904	...	...	...	...	...	...
1905	...	...	...	...	...	...
1906	...	...	...	...	...	...
1907	...	...	...	...	...	...
1908	...	...	...	...	...	...
1909	...	...	...	...	...	...
1910	...	...	...	...	...	...
1911	...	...	...	...	...	...
1912	...	...	...	...	...	...
1913	...	...	...	1.2	...	...
1914	...	...	...	...	...	...
1915	...	...	...	...	...	...
1916	...	...	...	...	...	...
1917	...	...	...	...	...	...
1918	...	...	...	...	...	...
1919	...	...	...	...	...	...
1920	...	...	...	1.4	...	...
1921	...	...	...	1.5	...	...
1922	25.6	9.1	11.9	1.7	0.6	2.4
1923	31.4	12.7	13.2	1.9	0.8	2.8
1924	37.1	16.3	14.4	2.2	1.1	3.2
1925	42.9	19.9	15.7	2.4	1.4	3.5
1926	51.0	23.4	17.0	2.7	1.7	6.3
1927	70.4	30.8	22.2	4.0	2.2	11.2
1928	92.7	38.1	30.3	5.4	2.8	16.1
1929	79.6	30.0	32.4	9.1	2.2	5.9
1930	100.7	37.2	39.6	10.8	4.3	8.9
1931	149.3	59.6	58.9	12.5	6.4	11.8
1932	172.1	47.9	80.8	14.3	7.6	21.6
1933	186.0	64.9	78.8	14.9	8.8	18.6
1934	197.8	75.2	80.8	15.0	8.5	18.3
1935	225.5	81.8	91.0	17.0	11.5	24.2
1936	261.5	97.2	104.9	17.9	14.0	27.5
1937	317.2	139.7	111.4	17.7	16.4	31.9
1938	454.0	154.1	199.1	30.9	26.9	43.0
1939	474.7	157.9	208.1	34.8	28.5	45.4
1940	508.8	194.5	192.2	39.8	34.3	48.1
1941	546.3	190.4	237.1	44.1	31.3	43.5
1942	618.8	250.3	238.0	56.4	31.7	42.2
1943	638.6	231.2	275.8	60.4	30.5	40.7
1944	620.6	221.3	271.2	57.1	29.7	41.1
1945	736.4	254.5	329.8	60.3	37.1	54.7
1946	616.1	206.9	283.5	55.5	32.1	38.2
1947	630.5	208.2	286.1	59.7	34.8	41.8
1948	647.5	210.8	301.7	58.7	34.8	41.5
1949	681.3	219.3	320.4	63.2	38.2	40.2
1950	848.9	271.7	395.3	73.0	49.0	59.9
1951	775.2	240.1	369.7	74.1	44.2	47.2
1952	810.8	253.9	385.2	75.3	46.8	49.5
1953	865.4	264.6	418.6	81.4	51.0	49.9
1954	901.3	278.1	428.0	82.1	55.9	57.3
1955	1062.7	329.4	502.0	94.6	64.6	72.1
1956	994.6	304.5	472.5	93.9	61.6	62.1
1957	1015.7	310.5	480.2	96.1	62.7	66.2
1958	1048.0	321.0	492.1	101.6	64.7	68.6
1959	1128.6	366.2	514.8	110.9	68.0	68.7

1960	1358.3	396.7	677.5	120.6	84.1	79.4
1961	1386.1	424.0	659.7	127.0	90.5	84.8
1962	1456.1	441.2	695.4	134.8	97.2	87.5
1963	1522.1	457.2	735.4	141.4	100.6	87.5
1964	1610.1	488.3	773.3	150.2	107.3	91.0
1965	1822.4	526.7	918.8	165.7	116.8	94.5
1966	1854.4	555.7	899.8	176.7	125.2	96.9
1967	1932.2	570.1	943.1	187.8	130.8	100.5
1968	1996.7	571.5	981.0	204.4	136.5	103.4
1969	2175.9	608.0	1105.3	215.4	142.0	105.2
1970	2236.6	620.3	1137.9	225.6	145.8	107.1
1971	2296.0	639.9	1162.7	234.0	149.8	109.7
1972	2345.2	656.0	1184.3	240.7	153.1	111.1
1973	2401.0	684.6	1196.2	246.7	157.6	115.8
1974	2477.5	716.4	1223.2	256.4	163.2	118.2
1975	2558.1	746.1	1256.2	264.7	170.9	120.2
1976	2629.9	764.6	1292.5	270.6	178.6	123.4
1977	2701.6	784.5	1324.0	277.3	188.9	126.8
1978	2766.4	809.0	1349.5	284.2	194.7	129.0
1979	2841.3	834.8	1383.1	290.2	200.6	132.6
1980	2912.7	864.0	1410.0	295.5	206.9	136.3
1981	3005.2	903.7	1443.3	302.5	213.9	141.8
1982	3079.9	932.6	1470.8	309.0	221.4	146.1
1983	3154.4	966.9	1499.8	313.9	228.2	145.6
1984	3199.4	995.9	1505.3	316.2	234.5	147.5
1985	3247.3	1015.1	1519.6	321.8	240.6	150.2
1986	3351.1	1091.4	1532.4	327.3	247.2	152.8
1987	3419.6	1137.4	1541.2	332.7	251.4	156.9
1988	3470.0	1162.2	1562.7	335.4	251.4	158.3
1989	3495.0	1183.8	1562.4	334.9	254.4	159.5
1990	3494.9	1201.4	1538.9	334.4	260.7	159.5
1991	3469.5	1179.0	1561.0	318.7	256.5	154.3
1992	3353.5	1147.0	1502.5	299.6	249.8	154.6
1993	3130.1	1167.0	1305.4	269.6	219.0	169.1
1994	2887.0	1067.1	1201.3	241.2	208.3	169.1
1995	2745.9	1093.2	1088.1	205.0	183.0	176.6
1996	2699.6	1107.2	1045.2	182.8	181.0	183.4
1997	2564.5	1109.0	921.5	171.6	159.0	203.4
1998	2587.4	1114.0	922.7	167.9	153.0	229.8
1999	2335.6	1124.0	920.9	158.0	132.7	...
2000	2289.0	1145.0	875.5	147.2	121.3	...
2001	2274.3	1160.0	845.0	146.6	122.7	...
2002	2315.6	1186.0	846.0	161.7	121.9	...
2003	2403.7	1223.0	878.3	187.7	114.7	...
2004	2489.4	1284.0	881.8	206.1	117.5	...
2005	2564.1	1348.0	883.6	211.5	121.0	...
2006	2631.3	1402.0	886.2	225.3	117.8	...
2007	2698.2	1446.0	906.6	231.2	114.4	...
2008	2739.6	1487.0	919.1	229.1	104.4	...
2009	2764.6	1513.0	921.9	226.1	103.6	...
2010	2815.8	1540.0	948.8	233.5	93.5	...

統計表 14c 建設業の就業者数
Table 14c Employed in the Construction

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	年平均就業者数(千名) Annual average of employed (thousand persons)					
1901	...	...	...	...	...	...
1902	...	...	...	...	...	...
1903	...	...	...	...	...	...
1904	...	...	...	...	...	...
1905	...	...	...	...	...	...
1906	...	...	...	...	...	...
1907	...	...	...	...	...	...
1908	...	...	...	...	...	...
1909	...	...	...	...	...	...
1910	...	...	...	...	...	...
1911	...	...	...	...	...	...
1912	...	...	...	...	...	...
1913	...	...	...	...	...	...
1914	...	...	...	...	...	...
1915	...	...	...	...	...	...
1916	...	...	...	...	...	...
1917	...	...	...	...	...	...
1918	...	...	...	...	...	...
1919	...	...	...	...	...	...
1920	...	...	...	...	...	...
1921	...	...	...	...	...	...
1922	4.2	1.1	2.2	0.2	0.4	0.3
1923	8.7	2.9	3.1	0.6	1.2	0.9
1924	13.2	4.8	4.0	1.0	2.0	1.4
1925	17.7	6.7	4.9	1.4	2.8	1.9
1926	22.2	8.6	5.8	1.8	3.6	2.5
1927	29.3	10.0	8.2	2.2	4.9	4.0
1928	41.4	11.5	15.6	2.6	6.2	5.6
1929	79.7	20.4	38.4	6.5	8.2	6.1
1930	150.0	52.9	63.9	11.7	14.5	7.0
1931	236.1	70.1	96.9	18.9	30.2	19.9
1932	223.6	56.4	108.5	20.7	23.6	14.4
1933	179.5	47.2	91.3	10.6	17.0	13.5
1934	147.1	50.9	58.3	10.7	14.7	12.5
1935	129.8	43.4	55.2	8.2	12.0	10.9
1936	137.5	40.0	65.1	8.5	11.4	12.6
1937	128.4	36.1	60.1	5.7	9.8	16.7
1938	143.2	41.8	66.9	8.2	9.9	16.5
1939	158.0	47.5	73.7	10.6	9.9	16.2
1940	172.7	53.2	80.4	13.1	10.0	15.9
1941	150.9	47.3	70.1	12.9	7.2	13.4
1942	129.1	41.4	59.8	12.7	4.3	10.8
1943	115.7	54.0	42.6	8.8	3.3	6.9
1944	98.7	30.0	49.9	6.2	4.0	8.6
1945	83.2	28.5	37.6	5.9	3.0	8.2
1946	99.6	30.5	48.6	6.6	6.0	7.9
1947	189.5	100.9	57.8	10.3	10.4	10.2
1948	131.3	37.9	61.2	10.3	9.4	12.7
1949	163.8	35.8	84.6	8.5	7.0	27.9
1950	240.7	54.8	129.9	14.5	11.0	30.4
1951	199.2	41.1	121.1	12.5	7.7	16.8
1952	214.7	47.4	125.0	12.5	11.5	18.4
1953	206.8	47.3	115.8	13.2	14.0	16.5
1954	255.9	65.0	130.3	19.0	21.4	20.2
1955	388.6	82.7	231.3	23.0	24.4	27.3
1956	668.8	79.4	522.2	20.3	23.7	23.3
1957	413.9	97.2	236.6	25.6	27.4	27.1
1958	483.9	118.2	267.4	33.1	34.2	31.1
1959	552.9	128.1	311.4	35.4	41.1	36.8

1960	715.0	175.1	395.7	49.1	50.3	44.7
1961	674.0	158.7	377.0	46.6	47.9	43.9
1962	673.0	158.7	374.9	48.0	47.9	43.4
1963	687.0	169.4	370.8	49.9	51.2	45.7
1964	689.1	175.9	360.6	51.3	54.5	46.8
1965	930.9	247.0	487.8	68.4	60.0	67.6
1966	771.7	223.3	374.9	57.7	61.2	54.6
1967	808.4	247.4	385.2	57.7	61.3	56.8
1968	842.9	260.5	397.5	62.4	63.0	59.6
1969	948.3	270.7	409.8	64.1	141.4	62.4
1970	1146.9	349.7	542.5	84.9	82.3	87.6
1971	1200.5	365.1	568.6	88.4	86.8	91.6
1972	1246.0	383.2	581.9	90.5	92.4	98.0
1973	1262.8	394.2	597.3	92.0	77.9	101.4
1974	1312.9	404.6	615.7	92.1	96.8	103.6
1975	1334.6	414.6	623.8	93.5	98.4	104.3
1976	1341.5	421.6	619.8	95.2	100.0	104.8
1977	1370.4	429.6	631.1	99.3	103.3	107.2
1978	1392.4	437.6	641.3	100.7	102.2	110.6
1979	1424.4	449.5	651.9	102.7	105.0	115.3
1980	1446.1	463.9	662.1	102.5	104.3	113.3
1981	1478.5	489.3	664.5	104.1	102.5	118.1
1982	1499.5	501.2	666.1	108.2	105.1	118.9
1983	1527.6	511.9	667.6	113.9	109.1	125.1
1984	1568.7	519.0	693.4	115.7	113.8	126.8
1985	1582.6	516.7	698.6	119.4	118.1	129.8
1986	1637.1	542.5	712.6	123.0	125.6	133.4
1987	1693.8	565.7	737.7	123.8	131.0	135.6
1988	1719.0	556.6	773.0	126.5	131.7	131.2
1989	2008.2	689.5	857.4	151.5	160.7	149.1
1990	2079.1	710.0	907.9	152.8	160.8	147.6
1991	1930.4	676.0	796.3	147.0	147.7	163.4
1992	1789.0	598.0	780.3	114.2	132.4	164.1
1993	1555.6	561.0	619.6	89.4	116.3	169.3
1994	1356.3	520.0	481.8	77.1	106.6	170.8
1995	1208.3	538.1	364.1	65.7	81.3	159.1
1996	1107.5	539.0	296.6	57.9	68.0	146.0
1997	1057.7	550.0	261.5	57.0	57.0	132.2
1998	1001.7	573.0	222.8	50.7	47.0	108.2
1999	941.8	640.0	210.7	47.8	43.3	...
2000	983.7	676.0	226.3	45.0	36.4	...
2001	1045.0	702.0	264.1	45.7	33.2	...
2002	1088.8	729.0	268.4	60.2	31.2	...
2003	1225.4	763.0	329.3	102.2	30.9	...
2004	1400.9	808.0	380.4	144.0	68.5	...
2005	1479.9	849.0	415.2	153.7	62.0	...
2006	1682.3	977.0	460.4	181.4	63.5	...
2007	1696.4	910.0	518.1	205.3	63.0	...
2008	1779.8	944.0	549.0	221.8	65.0	...
2009	1868.7	1008.0	551.3	244.0	65.4	...
2010	1947.4	1065.0	569.8	240.1	72.5	...

統計表 14d 農業・狩猟・林業・漁業の就業者数
Table 14d Employed in the Agriculture, hunting and forestry; Fishing

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	年平均就業者数(千名) Annual average of employed (thousand persons)					
1901	...	...	...	...	...	...
1902	...	...	...	...	...	...
1903	...	...	...	...	...	...
1904	...	...	...	...	...	...
1905	...	...	...	...	...	...
1906	...	...	...	...	...	...
1907	...	...	...	...	...	...
1908	...	...	...	...	...	...
1909	...	...	...	...	...	...
1910	...	...	...	...	...	...
1911	...	...	...	...	...	...
1912	...	...	...	...	...	...
1913	...	...	...	...	...	...
1914	...	...	...	...	...	...
1915	...	...	...	...	...	...
1916	...	...	...	...	...	...
1917	...	...	...	...	...	...
1918	...	...	...	...	...	...
1919	...	...	...	...	...	...
1920	...	...	...	...	...	...
1921	...	...	...	...	...	...
1922	137.9	38.4	62.2	11.9	14.9	10.5
1923	146.7	44.6	65.9	12.9	15.6	7.7
1924	155.5	50.9	69.5	13.9	16.3	4.8
1925	164.2	57.2	73.1	14.9	17.0	2.0
1926	186.6	63.4	76.8	15.9	17.7	12.7
1927	198.9	59.8	91.9	16.9	17.7	12.6
1928	269.9	80.1	129.7	26.1	19.2	14.8
1929	1206.5	578.3	351.3	107.8	73.8	95.3
1930	2210.2	1091.6	592.3	202.9	144.6	178.9
1931	3247.9	1604.9	867.2	297.9	215.4	262.5
1932	4243.6	2107.1	1123.0	393.0	283.1	337.3
1933	4320.7	1911.4	1354.0	352.8	351.6	351.0
1934	4182.4	1895.3	1236.8	323.2	388.0	339.1
1935	4371.1	1940.7	1252.5	351.4	478.8	347.7
1936	4836.6	2181.3	1341.7	410.5	544.7	358.4
1937	5237.3	2322.3	1441.0	470.2	633.5	370.3
1938	4887.0	2157.8	1341.2	435.6	605.7	346.7
1939	4540.5	1993.3	1241.4	400.9	577.8	327.0
1940	4194.1	1828.8	1141.6	366.3	550.0	307.4
1941	4904.5	2144.2	1353.2	453.8	652.6	300.8
1942	4036.3	1658.1	1173.1	360.8	589.9	254.4
1943	3456.9	1347.9	1108.8	309.1	481.6	209.5
1944	3453.7	1328.1	1144.8	314.8	463.5	202.4
1945	3522.4	1373.5	1162.0	314.2	465.9	206.8
1946	3631.6	1428.9	1191.2	335.0	463.7	212.8
1947	3753.0	1494.4	1216.0	357.5	463.1	222.1
1948	3791.7	1547.2	1180.0	368.3	464.5	231.6
1949	3982.8	1628.3	1252.4	396.8	467.6	237.7
1950	4090.1	1743.0	1184.9	367.5	511.3	283.3
1951	4051.6	1748.0	1159.0	350.8	513.3	280.5
1952	4027.9	1744.1	1143.1	339.9	523.2	277.5
1953	4029.6	1747.7	1145.2	328.2	529.9	278.7
1954	4156.1	1679.6	1307.0	398.5	540.0	231.1
1955	4356.0	1731.0	1431.7	361.3	542.8	289.1
1956	4351.2	1749.5	1413.8	368.7	528.6	290.7
1957	4134.9	1555.3	1390.8	370.5	525.4	292.9
1958	4252.4	1683.5	1419.4	356.1	505.6	287.9
1959	4116.3	1593.3	1379.6	349.5	506.8	287.1

1960	4031.2	1554.0	1364.6	343.4	479.8	289.4
1961	4017.6	1576.0	1350.3	332.4	472.1	286.8
1962	4111.1	1573.6	1431.1	348.6	478.0	279.8
1963	4191.7	1620.3	1431.1	362.5	489.8	288.0
1964	4229.2	1625.1	1471.2	371.8	482.4	278.7
1965	4206.2	1617.3	1429.2	391.4	481.3	287.0
1966	4280.2	1654.8	1476.4	379.9	476.5	292.7
1967	4270.6	1649.4	1462.7	388.0	466.2	304.3
1968	4276.1	1673.3	1448.0	383.2	469.6	302.0
1969	4192.5	1718.8	1324.6	369.4	476.5	303.2
1970	4314.5	1734.8	1364.5	399.9	492.5	322.9
1971	4372.0	1779.1	1357.3	392.9	507.2	335.5
1972	4450.3	1828.9	1374.1	393.4	513.4	340.5
1973	4540.2	1860.6	1419.5	396.3	516.4	347.5
1974	4652.4	1914.4	1424.8	410.2	531.1	372.0
1975	4778.0	1958.8	1452.5	423.8	553.8	389.1
1976	4881.6	2001.4	1480.2	433.7	568.3	398.0
1977	4935.8	2023.1	1481.2	442.4	579.9	409.1
1978	5067.1	2092.8	1518.0	444.0	591.8	420.6
1979	5187.7	2135.2	1542.7	456.1	619.2	434.6
1980	5281.3	2211.5	1560.8	455.6	615.8	437.6
1981	5460.1	2301.9	1580.5	469.0	635.2	473.5
1982	5644.2	2417.5	1612.4	485.2	646.4	482.7
1983	5789.7	2468.0	1633.5	494.9	679.9	513.4
1984	5875.7	2488.0	1654.8	505.5	695.7	531.7
1985	5964.6	2510.9	1661.9	529.1	721.9	540.8
1986	5986.6	2521.7	1655.2	539.2	720.0	550.5
1987	6293.5	2708.2	1694.7	577.2	742.8	570.6
1988	6473.5	2810.4	1732.6	577.2	762.5	590.8
1989	6603.2	2938.1	1675.9	577.2	790.1	621.9
1990	6868.1	3120.2	1726.3	572.0	831.0	618.6
1991	7579.2	3554.9	1876.2	622.3	878.2	647.6
1992	7882.1	3656.4	1939.3	700.6	888.5	697.3
1993	7792.2	3681.1	1796.0	655.4	946.7	713.0
1994	7474.3	3622.4	1419.2	690.8	999.3	742.6
1995	7694.5	3592.6	1444.5	776.4	1092.3	788.7
1996	7565.6	3562.8	1388.9	778.6	1023.5	811.8
1997	7892.2	3533.0	1554.2	815.6	1145.0	844.4
1998	7623.2	3467.0	1341.6	837.1	1090.0	887.5
1999	6588.9	3220.0	1324.5	926.9	1117.5	...
2000	7088.6	3093.0	1920.0	942.6	1133.0	...
2001	7573.3	3062.0	2344.6	948.5	1218.2	...
2002	7534.1	3046.0	2325.3	908.2	1254.6	...
2003	7579.7	3063.0	2406.9	834.8	1275.0	...
2004	7579.0	3043.0	2370.8	774.6	1390.6	...
2005	7510.3	2967.0	2318.7	799.6	1425.0	...
2006	7430.6	2936.0	2301.8	760.2	1432.6	...
2007	7519.7	2998.0	2349.2	742.4	1430.1	...
2008	7562.4	3036.0	2336.2	742.8	1447.4	...
2009	7377.9	2898.0	2293.3	718.6	1468.0	...
2010	7592.2	3127.0	2294.9	699.1	1471.2	...

統計表 14e 輸送・通信業の就業者数
Table 14e Employed in the Transport, storage and communications

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	年平均就業者数(千名) Annual average of employed (thousand persons)					
1901	...	...	...	...	...	...
1902	...	...	...	...	...	...
1903	...	...	...	...	...	...
1904	...	...	...	...	...	...
1905	...	...	...	...	...	...
1906	...	...	...	...	...	...
1907	...	...	...	...	...	...
1908	...	...	...	...	...	...
1909	...	...	...	...	...	...
1910	...	...	...	...	...	...
1911	...	...	...	...	...	...
1912	...	...	...	...	...	...
1913	...	...	...	...	...	...
1914	...	...	...	...	...	...
1915	...	...	...	...	...	...
1916	...	...	...	...	...	...
1917	...	...	...	...	...	...
1918	...	...	...	...	...	...
1919	...	...	...	...	...	...
1920	...	...	...	...	...	...
1921	...	...	...	...	...	...
1922	44.2	14.1	18.3	0.4	0.7	10.7
1923	46.2	14.9	19.3	0.5	0.7	10.9
1924	48.2	15.7	20.2	0.5	0.7	11.1
1925	50.2	16.5	21.1	0.6	0.7	11.3
1926	53.2	17.3	22.0	0.7	0.7	12.5
1927	56.3	19.3	23.1	0.7	0.9	12.3
1928	60.9	21.3	25.7	0.8	1.0	12.2
1929	70.1	24.4	28.2	1.1	1.1	15.3
1930	84.3	32.8	29.5	2.5	1.9	17.7
1931	126.7	41.1	59.0	3.8	2.6	20.2
1932	153.9	42.7	75.0	5.2	3.5	27.6
1933	153.4	44.2	75.0	4.4	4.4	25.3
1934	149.4	46.4	72.5	4.0	4.5	21.9
1935	170.8	48.1	89.5	5.2	5.3	22.8
1936	184.7	48.2	98.8	6.9	6.8	23.9
1937	201.4	52.3	106.7	7.3	9.7	25.3
1938	223.3	61.1	116.2	9.1	10.7	26.1
1939	245.9	69.8	125.8	11.0	11.8	27.6
1940	268.5	78.5	135.3	12.8	12.8	29.1
1941	271.0	73.6	142.0	13.7	12.1	29.5
1942	273.5	68.8	148.8	14.5	11.5	29.9
1943	289.9	68.0	165.4	14.6	11.4	30.5
1944	278.6	65.3	157.2	15.1	11.2	29.7
1945	265.7	65.0	149.8	13.3	10.2	27.3
1946	304.4	72.6	170.7	17.2	13.7	30.2
1947	319.6	73.9	183.0	17.2	14.8	30.8
1948	336.7	78.1	192.7	17.3	16.5	32.0
1949	369.5	84.4	214.5	19.2	16.8	34.5
1950	351.4	83.5	202.6	16.6	15.9	32.8
1951	386.3	95.0	210.8	22.6	20.0	37.8
1952	403.8	98.3	221.0	24.0	20.9	39.6
1953	419.1	101.9	226.0	25.6	23.1	42.5
1954	424.0	104.9	233.3	24.0	22.6	39.2
1955	457.0	106.1	263.5	26.8	23.0	37.7
1956	514.0	109.0	316.8	28.0	23.2	37.1
1957	540.5	112.8	333.7	30.3	25.2	38.5
1958	590.1	118.3	370.8	33.3	28.2	39.5
1959	636.8	127.4	399.8	37.3	30.5	41.8

1960	676.8	138.9	421.9	40.3	32.9	42.8
1961	713.8	152.7	435.9	45.5	36.3	43.4
1962	742.7	161.8	444.9	50.5	40.3	45.2
1963	762.8	168.8	450.9	55.6	41.3	46.2
1964	794.0	176.8	466.0	57.6	44.3	49.2
1965	845.1	191.0	491.4	62.7	48.4	51.5
1966	878.3	206.0	500.0	66.7	51.4	54.3
1967	899.8	216.2	507.1	67.7	52.6	56.3
1968	933.5	229.0	518.1	71.0	56.6	58.8
1969	971.4	241.8	534.1	74.8	59.4	61.3
1970	1012.4	253.3	550.3	79.3	63.7	65.9
1971	1054.8	267.9	567.2	82.1	68.5	69.1
1972	1093.5	275.0	589.2	85.4	71.5	72.4
1973	1130.2	284.9	608.3	88.2	73.5	75.4
1974	1168.6	294.2	626.3	91.1	79.6	77.4
1975	1222.0	312.4	648.9	94.4	83.3	83.1
1976	1268.6	327.0	669.3	97.2	87.5	87.6
1977	1310.4	344.6	684.4	98.8	90.6	91.9
1978	1364.6	366.0	706.1	101.8	94.5	96.2
1979	1417.2	380.6	735.3	105.2	97.3	98.8
1980	1470.1	398.6	763.3	107.8	97.5	102.9
1981	1513.9	414.0	782.2	112.5	100.3	104.9
1982	1559.6	428.3	803.6	115.9	103.9	107.9
1983	1592.3	440.5	815.1	118.8	106.0	111.9
1984	1618.6	455.8	821.1	120.4	109.2	112.1
1985	1639.5	464.9	827.8	121.1	113.6	112.1
1986	1644.1	466.5	829.5	121.5	115.6	111.0
1987	1609.9	461.0	803.6	117.8	117.5	110.0
1988	1576.8	466.0	769.6	110.8	118.4	112.0
1989	1382.7	390.5	705.2	95.8	95.4	95.8
1990	1382.0	401.5	703.9	94.0	94.0	88.6
1991	1348.9	399.0	673.5	92.9	93.4	90.1
1992	1286.7	367.0	657.4	94.0	83.1	85.2
1993	1039.0	349.0	448.4	86.3	72.3	83.0
1994	1127.8	343.0	550.9	84.5	63.1	86.3
1995	1071.6	347.0	506.6	76.4	57.7	83.9
1996	1084.0	358.0	503.1	81.2	58.0	83.7
1997	1216.4	360.0	646.0	79.2	44.0	87.2
1998	1162.0	362.0	581.0	75.3	53.0	90.7
1999	1076.0	370.0	596.7	65.4	43.9	...
2000	1058.0	382.0	571.4	62.7	41.9	...
2001	1012.3	394.0	509.6	63.4	45.3	...
2002	1054.7	411.0	510.8	90.5	42.4	...
2003	1087.5	433.0	511.9	97.6	45.0	...
2004	1162.9	461.0	525.0	112.9	64.0	...
2005	1200.4	488.0	534.7	115.7	62.0	...
2006	1335.1	607.0	541.5	120.2	66.4	...
2007	1280.1	528.0	557.2	133.3	61.6	...
2008	1338.5	550.0	594.1	133.8	60.6	...
2009	1372.6	579.0	591.0	144.9	57.7	...
2010	1430.9	604.0	621.1	147.5	58.3	...

統計表 14f 商業・修繕・宿泊・飲食サービスの就業者数
Table 14f Employed in the Trade, repair; Hotels and restaurants

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	年平均就業者数(千名) Annual average of employed (thousand persons)					
1901	...	...	...	...	...	...
1902	...	...	...	...	...	...
1903	...	...	...	...	...	...
1904	...	...	...	...	...	...
1905	...	...	...	...	...	...
1906	...	...	...	...	...	...
1907	...	...	...	...	...	...
1908	...	...	...	...	...	...
1909	...	...	...	...	...	...
1910	...	...	...	...	...	...
1911	...	...	...	...	...	...
1912	...	...	...	...	...	...
1913	...	...	...	...	...	...
1914	...	...	...	...	...	...
1915	...	...	...	...	...	...
1916	...	...	...	...	...	...
1917	...	...	...	...	...	...
1918	...	...	...	...	...	...
1919	...	...	...	...	...	...
1920	...	...	...	...	...	...
1921	...	...	...	...	...	...
1922	9.7	3.8	3.2	0.5	1.1	1.0
1923	13.0	5.2	4.4	0.8	1.5	1.2
1924	16.4	6.6	5.5	1.0	1.9	1.3
1925	19.7	8.1	6.7	1.2	2.3	1.4
1926	23.8	9.5	7.8	1.4	2.8	2.3
1927	32.2	10.7	13.2	1.6	3.2	3.4
1928	38.0	11.9	16.1	1.9	3.6	4.5
1929	44.0	13.0	20.4	2.0	3.0	5.7
1930	69.1	22.8	30.2	4.0	4.6	7.6
1931	103.4	32.6	49.2	5.9	6.2	9.5
1932	121.1	36.3	54.9	7.9	6.5	15.5
1933	127.7	40.1	57.5	9.9	6.8	13.5
1934	114.5	45.1	41.3	9.1	6.9	12.0
1935	134.8	50.0	53.4	9.6	7.9	13.9
1936	146.3	60.0	50.8	11.0	10.2	14.3
1937	184.5	70.4	65.9	14.4	13.0	20.7
1938	220.0	86.4	77.3	17.9	15.8	22.6
1939	257.6	102.5	88.7	21.3	18.6	26.5
1940	295.2	118.5	100.1	24.7	21.3	30.5
1941	262.7	101.6	95.0	22.0	18.6	25.5
1942	230.2	84.6	89.9	19.2	15.8	20.6
1943	221.8	76.4	93.3	18.5	14.6	19.0
1944	210.5	73.1	88.3	17.3	13.1	18.7
1945	223.8	79.7	91.7	18.1	14.3	20.0
1946	266.8	118.7	94.5	19.0	14.2	20.4
1947	241.6	85.2	101.3	19.6	15.3	20.3
1948	243.1	85.5	100.3	19.8	16.9	20.6
1949	265.5	90.5	114.2	21.7	17.4	21.9
1950	308.2	109.6	126.1	25.5	21.3	25.7
1951	301.4	102.6	127.9	27.2	19.9	23.9
1952	310.0	104.8	131.4	28.4	21.5	23.9
1953	298.6	100.7	125.1	26.9	21.9	24.0
1954	329.4	113.4	137.7	27.5	23.2	27.6
1955	357.8	114.8	160.4	30.0	24.1	28.5
1956	393.0	111.3	200.1	29.5	24.1	28.1
1957	404.0	120.9	196.5	31.9	25.1	29.6
1958	434.3	126.8	214.8	34.1	27.1	31.5
1959	474.8	134.8	241.6	37.3	28.3	32.8

1960	512.2	145.7	261.5	40.4	30.6	34.0
1961	549.4	159.8	278.1	44.0	31.9	35.6
1962	580.3	169.5	292.1	46.2	34.1	38.4
1963	614.0	181.4	306.1	49.5	36.3	40.7
1964	649.6	192.2	325.4	51.7	38.5	41.9
1965	685.1	203.1	340.5	55.4	41.6	44.5
1966	715.6	218.8	346.9	59.4	45.1	45.4
1967	752.9	233.3	361.9	62.7	47.3	47.7
1968	800.4	249.2	382.3	67.0	50.7	51.2
1969	837.5	260.1	397.4	71.5	53.9	54.7
1970	866.9	268.6	412.6	73.6	56.7	55.5
1971	901.6	279.2	427.4	77.8	59.4	57.7
1972	938.2	294.0	440.3	80.7	62.7	60.5
1973	982.8	312.2	456.4	84.1	66.0	64.0
1974	1018.7	319.9	473.6	88.5	70.4	66.3
1975	1058.2	336.0	487.2	91.6	73.3	70.2
1976	1088.7	347.5	500.7	93.6	74.7	72.3
1977	1126.5	365.9	515.7	95.8	76.8	72.4
1978	1148.5	376.0	521.4	97.4	79.3	74.4
1979	1186.8	392.1	536.1	99.8	82.1	76.7
1980	1221.1	405.8	549.1	102.7	84.7	78.8
1981	1253.3	419.2	559.9	105.6	88.0	80.6
1982	1264.1	427.4	560.4	106.0	87.9	82.4
1983	1282.6	431.4	564.7	111.6	91.4	83.5
1984	1301.5	435.6	568.1	120.2	93.0	84.6
1985	1313.3	443.6	575.8	111.0	96.5	86.4
1986	1329.3	453.9	576.5	112.0	99.3	87.6
1987	1340.2	457.7	577.3	114.0	102.6	88.6
1988	1359.3	471.3	576.1	116.1	105.1	90.7
1989	1325.2	453.6	563.3	113.6	105.0	89.7
1990	1326.2	458.6	560.7	115.1	107.6	84.2
1991	1343.5	464.0	575.6	110.5	107.9	85.5
1992	1291.6	452.0	548.7	106.9	95.7	88.3
1993	1213.2	456.0	481.4	88.5	86.4	100.9
1994	1757.8	585.0	846.7	127.4	90.4	108.3
1995	2053.2	705.0	1034.6	116.2	87.2	110.2
1996	2435.6	712.7	1392.8	152.8	69.0	108.3
1997	2502.5	715.0	1382.0	180.5	56.0	169.0
1998	2607.6	717.0	1467.0	186.8	121.0	115.8
1999	2445.5	735.0	1462.4	178.3	69.8	...
2000	2036.2	754.0	1027.5	182.5	72.2	...
2001	2092.5	778.0	1057.1	189.4	68.0	...
2002	2151.7	781.0	1060.3	245.0	65.4	...
2003	2266.5	815.0	1081.6	291.9	78.0	...
2004	2389.9	858.0	1106.8	326.1	99.0	...
2005	2468.5	904.0	1122.0	350.5	92.0	...
2006	2587.4	977.0	1153.3	357.4	99.7	...
2007	2701.9	1055.0	1166.6	375.3	105.0	...
2008	2883.0	1136.0	1248.9	385.6	112.5	...
2009	2976.9	1186.0	1268.0	398.2	124.7	...
2010	3118.2	1243.0	1329.3	420.3	125.6	...

統計表 14g 保健・社会サービスの就業者数
Table 14g Employed in the Health and social services

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	年平均就業者数(千名) Annual average of employed (thousand persons)					
1901	...	...	...	...	...	...
1902	...	...	...	...	...	...
1903	...	...	...	...	...	...
1904	...	...	...	...	...	...
1905	...	...	...	...	...	...
1906	...	...	...	...	...	...
1907	...	...	...	...	...	...
1908	...	...	...	...	...	...
1909	...	...	...	...	...	...
1910	...	...	...	...	...	...
1911	...	...	...	...	...	...
1912	...	...	...	...	...	...
1913	...	...	...	...	...	...
1914	...	...	...	...	...	...
1915	...	...	...	...	...	...
1916	...	...	...	...	...	...
1917	...	...	...	...	...	...
1918	...	...	...	...	...	...
1919	...	...	...	...	...	...
1920	...	...	...	...	...	...
1921	...	...	...	...	...	...
1922	7.5	3.6	2.6	0.4	0.5	0.3
1923	8.9	4.2	2.9	0.5	0.6	0.7
1924	10.2	4.8	3.1	0.6	0.7	1.0
1925	11.6	5.4	3.4	0.6	0.8	1.4
1926	12.7	6.0	3.6	0.7	0.9	1.5
1927	15.3	6.4	5.0	0.8	1.0	2.0
1928	17.5	6.9	6.0	0.9	1.2	2.6
1929	19.7	7.2	7.0	1.4	1.2	2.9
1930	25.0	10.8	7.3	1.6	1.7	3.6
1931	33.0	14.4	10.2	1.9	2.3	4.3
1932	36.1	14.8	12.4	2.1	2.5	4.3
1933	37.4	14.0	14.4	2.4	2.7	4.0
1934	43.4	19.2	14.3	3.1	3.0	3.7
1935	49.0	21.2	16.2	2.8	3.3	5.5
1936	57.3	22.6	20.5	3.8	4.2	6.3
1937	73.9	28.2	26.7	5.0	5.4	8.7
1938	88.3	32.8	32.9	6.2	6.6	9.7
1939	102.8	37.5	39.1	7.4	7.8	11.0
1940	117.4	42.2	45.3	8.6	9.0	12.3
1941	129.9	46.3	51.1	9.5	9.5	13.5
1942	142.3	50.3	56.9	10.4	10.0	14.7
1943	150.4	52.3	58.3	12.7	11.5	15.6
1944	138.5	53.6	49.7	11.6	9.9	13.7
1945	124.2	47.2	46.3	9.7	8.3	12.6
1946	128.7	45.4	50.2	11.1	8.6	13.5
1947	138.7	47.4	54.4	12.7	9.7	14.4
1948	142.6	48.3	56.7	12.8	10.2	14.7
1949	161.8	56.4	63.7	14.4	12.1	15.2
1950	172.5	61.5	67.8	14.4	12.8	16.1
1951	182.1	63.6	72.5	15.7	13.3	17.0
1952	191.4	67.0	75.1	17.5	14.3	17.4
1953	198.9	69.6	78.3	17.9	14.7	18.4
1954	217.2	76.0	88.8	18.0	15.6	18.8
1955	232.3	78.5	99.1	18.8	16.5	19.4
1956	254.5	80.3	113.7	20.4	18.3	21.8
1957	276.2	86.3	124.4	22.6	20.4	22.5
1958	290.7	91.4	129.6	23.7	21.5	24.6
1959	314.1	97.9	141.0	26.6	22.7	26.0

1960	344.5	110.1	153.0	29.2	24.2	28.1
1961	372.4	123.8	162.8	31.2	25.8	28.9
1962	392.2	125.8	176.2	33.3	26.8	30.0
1963	410.0	132.0	182.5	35.5	29.0	31.0
1964	430.9	133.1	197.0	38.7	31.1	31.0
1965	463.6	141.4	212.6	43.4	33.2	33.1
1966	485.7	147.8	222.9	45.9	34.4	34.7
1967	502.5	151.6	232.1	47.9	35.4	35.4
1968	532.6	161.1	245.4	51.2	37.8	37.1
1969	550.3	174.1	255.6	53.5	28.8	38.3
1970	589.6	186.4	266.3	55.2	42.3	39.4
1971	616.9	196.4	277.6	56.8	44.7	41.4
1972	644.2	209.7	286.9	58.7	46.5	42.3
1973	666.6	217.5	296.6	60.2	48.9	43.3
1974	686.5	224.7	303.3	63.0	51.4	44.1
1975	715.6	239.6	311.9	65.2	53.8	45.1
1976	743.4	251.9	320.2	67.1	56.1	48.2
1977	764.8	262.5	327.0	67.9	58.5	48.9
1978	787.5	275.3	332.1	69.2	60.8	50.1
1979	820.1	289.3	342.5	72.2	63.0	53.1
1980	849.5	304.6	350.6	73.9	65.5	54.9
1981	877.1	319.0	357.9	75.8	68.2	56.2
1982	905.3	330.8	366.9	78.5	71.5	57.6
1983	936.9	348.0	375.0	81.1	72.8	60.0
1984	971.1	362.9	385.8	83.5	77.0	61.9
1985	997.3	376.5	392.7	85.2	79.2	63.7
1986	1026.1	385.2	401.7	89.1	83.0	67.1
1987	1068.8	403.8	412.0	91.1	90.8	71.1
1988	1117.9	422.9	427.5	95.4	95.2	76.9
1989	1175.9	445.8	445.7	101.3	101.7	81.4
1990	1215.0	468.0	456.0	104.6	103.7	82.7
1991	1238.7	488.0	453.4	107.4	105.9	84.0
1992	1294.2	497.0	462.4	142.4	110.4	82.0
1993	1247.7	495.0	429.2	124.7	102.7	96.1
1994	1217.2	488.0	428.5	102.1	100.5	98.1
1995	1195.2	487.1	417.4	101.3	88.0	101.4
1996	1173.2	498.0	394.0	93.9	84.0	103.3
1997	1144.4	500.0	356.2	94.2	85.0	109.0
1998	1092.0	502.0	322.6	94.2	84.0	89.2
1999	1021.9	538.0	317.1	92.1	74.7	...
2000	1048.9	587.0	288.8	90.9	82.2	...
2001	1050.0	605.0	284.2	82.0	78.8	...
2002	1070.0	626.0	289.6	78.0	76.4	...
2003	1110.6	655.0	296.7	80.9	78.0	...
2004	1158.5	689.0	315.6	73.9	80.0	...
2005	1218.4	736.0	324.9	85.5	72.0	...
2006	1256.8	768.0	328.2	87.0	73.6	...
2007	1295.8	801.0	332.6	86.2	76.0	...
2008	1346.5	841.0	343.9	86.3	75.3	...
2009	1374.1	866.0	347.9	79.4	80.8	...
2010	1419.5	894.0	370.2	74.4	80.9	...

統計表 14h 教育部門の就業者数
Table 14h Employed in the Education

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	年平均就業者数(千名) Annual average of employed (thousand persons)					
1901	...	...	...	...	...	...
1902	...	...	...	...	...	...
1903	...	...	...	...	...	...
1904	...	...	...	...	...	...
1905	...	...	...	...	...	...
1906	...	...	...	...	...	...
1907	...	...	...	...	...	...
1908	...	...	...	...	...	...
1909	...	...	...	...	...	...
1910	...	...	...	...	...	...
1911	...	...	...	...	...	...
1912	...	...	...	...	...	...
1913	...	...	...	...	...	...
1914	...	...	...	...	...	...
1915	...	...	...	...	...	...
1916	...	...	...	...	...	...
1917	...	...	...	...	...	...
1918	...	...	...	...	...	...
1919	...	...	...	...	...	...
1920	...	...	...	...	...	...
1921	...	...	...	...	...	...
1922	14.4	4.6	5.8	1.4	1.0	1.6
1923	16.2	5.4	6.4	1.5	1.0	2.0
1924	18.1	6.3	6.9	1.6	1.0	2.3
1925	19.9	7.1	7.5	1.7	1.0	2.6
1926	21.4	8.0	8.0	1.8	1.1	2.6
1927	27.0	10.1	10.9	1.8	1.1	3.1
1928	30.0	12.2	11.3	1.9	1.1	3.5
1929	40.3	14.2	15.6	3.6	1.2	5.8
1930	51.3	19.7	18.0	4.6	2.6	6.4
1931	67.1	25.2	25.1	5.6	3.9	7.1
1932	76.0	28.4	25.9	6.6	5.4	9.7
1933	90.9	35.9	29.2	7.6	6.8	11.4
1934	95.7	35.3	35.2	7.3	7.2	10.7
1935	112.7	44.8	38.8	9.4	8.7	11.1
1936	147.5	61.8	50.8	10.2	10.4	14.3
1937	196.3	77.9	67.3	14.0	14.4	22.7
1938	224.9	85.6	79.2	17.8	18.5	23.8
1939	253.4	93.3	91.2	21.6	22.5	24.8
1940	281.9	101.0	103.2	25.4	26.5	25.7
1941	277.1	99.3	97.6	25.5	25.6	29.1
1942	271.0	97.6	99.8	25.5	24.7	23.4
1943	254.8	90.7	92.0	24.9	24.4	22.8
1944	261.0	93.6	90.8	26.8	25.3	24.4
1945	265.4	97.5	93.1	26.9	24.6	23.4
1946	289.1	103.4	104.3	29.2	27.4	24.9
1947	310.7	111.7	113.9	31.6	27.1	26.4
1948	328.3	115.7	120.1	34.2	30.1	28.2
1949	349.7	118.9	134.0	37.1	32.3	27.4
1950	349.8	118.5	137.9	35.0	31.5	26.9
1951	371.4	125.5	142.8	39.1	35.6	28.3
1952	384.7	130.7	146.7	40.6	39.4	27.3
1953	399.0	135.7	152.6	41.0	41.9	27.6
1954	427.7	148.9	167.0	40.2	42.9	28.8
1955	444.8	142.4	177.7	48.5	40.8	35.3
1956	482.6	167.9	195.1	43.7	43.1	32.8
1957	485.8	166.9	194.5	44.9	45.2	34.4
1958	505.5	173.3	202.9	46.1	47.6	35.6
1959	536.8	188.0	216.2	47.4	49.2	36.0

1960	550.7	177.4	233.5	50.1	52.0	37.8
1961	621.6	211.4	256.8	56.8	56.1	40.5
1962	687.5	232.9	286.7	62.6	61.0	44.2
1963	756.2	257.3	317.7	66.0	65.9	49.2
1964	846.3	287.3	358.4	75.5	70.7	54.2
1965	919.9	307.3	400.7	78.1	75.6	58.2
1966	974.8	322.1	428.5	82.3	80.6	61.3
1967	1022.8	339.3	449.8	87.9	81.4	64.4
1968	1090.9	358.2	482.9	93.0	87.9	68.9
1969	1150.7	382.6	503.5	98.4	94.0	72.2
1970	1218.2	413.8	526.8	102.6	99.2	75.8
1971	1278.9	436.9	549.8	108.2	104.8	79.1
1972	1332.5	456.6	570.7	113.0	109.9	82.3
1973	1378.3	480.1	580.3	117.7	114.6	85.6
1974	1430.9	503.0	595.4	122.7	119.1	90.7
1975	1488.7	531.7	614.8	125.8	124.0	92.4
1976	1539.3	553.0	628.0	130.0	128.8	99.4
1977	1582.3	574.0	638.7	134.9	133.7	101.1
1978	1644.1	597.3	660.8	141.6	139.9	104.6
1979	1707.9	629.7	678.7	145.2	144.9	109.4
1980	1766.2	659.6	692.9	150.2	150.1	113.4
1981	1826.4	691.2	704.7	157.6	154.9	118.0
1982	1881.9	721.0	715.4	162.2	158.9	124.4
1983	1928.0	744.5	728.5	165.1	164.3	125.6
1984	1976.0	765.9	743.7	169.0	167.7	129.7
1985	2028.7	792.3	753.8	174.0	173.7	134.9
1986	2087.3	812.2	773.6	180.2	179.9	141.4
1987	2174.7	853.2	798.1	185.6	189.4	148.4
1988	2255.3	881.9	820.4	194.8	199.3	158.9
1989	2394.1	948.7	862.5	204.6	210.5	167.8
1990	2588.6	1101.0	886.5	215.5	217.3	168.3
1991	2550.7	1126.0	813.1	212.4	222.0	177.2
1992	2478.5	1118.0	752.8	216.5	219.3	171.9
1993	2508.1	1083.0	837.1	198.9	206.8	182.3
1994	2433.9	1080.0	788.1	185.6	192.4	187.8
1995	2383.0	1054.0	781.4	169.9	183.6	194.1
1996	2294.0	1066.0	705.6	151.6	175.0	195.8
1997	2208.9	1070.0	611.7	152.3	177.0	197.9
1998	2124.2	1073.0	525.4	152.3	183.0	190.5
1999	1944.7	1094.0	516.6	155.5	178.6	...
2000	2017.7	1146.0	534.8	157.9	179.0	...
2001	2092.9	1172.0	579.8	161.5	179.6	...
2002	2127.0	1205.0	592.6	144.4	185.0	...
2003	2232.3	1258.0	634.8	156.4	183.1	...
2004	2335.7	1321.0	670.1	161.8	182.8	...
2005	2426.2	1385.0	693.4	161.8	186.0	...
2006	2497.4	1435.0	724.2	152.9	185.3	...
2007	2561.6	1482.0	736.6	156.6	186.4	...
2008	2630.8	1533.0	758.2	156.1	183.5	...
2009	2704.3	1573.0	773.6	164.3	193.4	...
2010	2791.7	1610.0	816.3	171.9	193.5	...

統計表 14i 金融・信用、保険・不動産・ビジネスサービスの就業者数

Table 14i Employed in the Financial intermediation and insurance; Real estate, renting and business activities

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	年平均就業者数(千名) Annual average of employed (thousand persons)					
1901	...	...	...	...	...	...
1902	...	...	...	...	...	...
1903	...	...	...	...	...	...
1904	...	...	...	...	...	...
1905	...	...	...	...	...	...
1906	...	...	...	...	...	...
1907	...	...	...	...	...	...
1908	...	...	...	...	...	...
1909	...	...	...	...	...	...
1910	...	...	...	...	...	...
1911	...	...	...	...	...	...
1912	...	...	...	...	...	...
1913	...	...	...	...	...	...
1914	...	...	...	...	...	...
1915	...	...	...	...	...	...
1916	...	...	...	...	...	...
1917	...	...	...	...	...	...
1918	...	...	...	...	...	...
1919	...	...	...	...	...	...
1920	...	...	...	...	...	...
1921	...	...	...	...	...	...
1922	16.4	1.8	13.7	0.2	0.1	0.5
1923	17.1	2.1	14.0	0.3	0.2	0.6
1924	17.8	2.5	14.3	0.3	0.2	0.6
1925	18.5	2.8	14.5	0.3	0.2	0.6
1926	19.2	3.2	14.8	0.3	0.3	0.7
1927	26.6	3.3	21.9	0.3	0.3	0.8
1928	28.2	3.4	23.1	0.3	0.4	0.9
1929	37.5	7.8	25.8	0.9	1.1	1.9
1930	43.9	8.2	30.9	1.2	1.2	2.3
1931	55.0	8.6	40.8	1.5	1.4	2.7
1932	71.7	8.5	56.9	1.8	1.7	2.8
1933	72.8	8.4	57.3	2.1	2.1	3.0
1934	47.1	8.9	32.0	1.2	2.4	2.7
1935	58.1	12.1	38.3	1.8	2.7	3.3
1936	71.0	16.5	44.0	2.8	3.5	4.2
1937	76.0	17.7	46.1	3.6	4.1	4.5
1938	85.1	19.0	52.3	4.4	4.6	4.9
1939	94.1	20.2	58.4	5.1	5.1	5.3
1940	103.2	21.5	64.5	5.9	5.6	5.6
1941	95.1	19.9	58.9	5.6	5.3	5.5
1942	87.0	18.2	53.2	5.2	4.9	5.4
1943	89.9	17.3	57.7	5.2	4.8	5.0
1944	91.5	16.2	60.0	5.2	4.8	5.4
1945	89.9	15.5	59.7	5.2	4.5	5.0
1946	110.0	18.2	72.9	7.2	5.9	5.8
1947	113.7	19.5	73.1	8.9	6.4	5.8
1948	123.5	21.7	77.3	10.5	7.5	6.5
1949	133.5	23.9	82.1	12.6	8.2	6.7
1950	139.1	26.0	83.0	14.0	9.1	7.0
1951	149.9	28.0	87.8	15.6	9.6	8.9
1952	155.9	29.6	89.9	15.5	10.9	9.9
1953	157.0	30.9	87.5	15.5	13.1	10.0
1954	159.0	32.2	86.5	16.4	13.9	10.0
1955	162.6	33.8	87.8	16.8	14.3	9.9
1956	173.9	35.8	93.3	17.4	15.9	11.5
1957	181.7	39.2	95.3	18.6	16.0	12.6
1958	197.5	44.0	100.5	20.9	17.4	14.8
1959	184.8	21.5	105.3	19.7	22.3	16.0

1960	211.1	52.6	105.0	17.6	19.7	16.2
1961	253.4	67.3	115.8	31.3	20.1	18.9
1962	264.4	69.6	122.1	32.5	20.1	20.1
1963	269.6	66.1	129.1	33.6	21.4	19.4
1964	278.0	69.6	131.8	33.6	22.7	20.1
1965	264.5	70.9	127.5	22.6	21.4	22.1
1966	272.3	73.7	132.3	23.1	22.5	20.8
1967	282.3	76.0	138.3	23.2	23.0	21.7
1968	297.7	82.3	145.8	24.4	23.4	21.9
1969	305.4	83.4	150.0	24.7	24.6	22.7
1970	316.1	85.3	156.5	25.1	25.8	23.3
1971	326.7	87.8	162.1	26.3	26.5	24.0
1972	336.5	89.9	168.3	26.6	27.4	24.3
1973	352.4	96.2	175.5	28.8	28.3	23.6
1974	356.7	102.5	169.1	31.1	29.7	24.4
1975	373.4	112.0	173.4	32.5	29.6	25.9
1976	376.4	112.1	172.9	34.3	30.6	26.4
1977	402.9	121.6	186.8	35.8	31.7	27.0
1978	414.8	123.9	193.9	37.9	32.9	26.2
1979	430.5	130.1	199.3	39.4	34.4	27.4
1980	448.9	140.7	204.4	40.6	34.5	28.7
1981	458.0	142.4	209.8	41.0	35.9	28.9
1982	467.4	149.4	211.2	40.7	36.3	29.8
1983	471.8	151.2	211.7	40.2	36.7	32.0
1984	475.9	149.9	214.7	41.3	37.3	32.7
1985	482.9	153.5	215.3	42.5	38.1	33.5
1986	490.5	155.1	218.9	42.9	40.4	33.2
1987	474.6	147.1	210.8	41.7	40.8	34.2
1988	465.6	144.7	205.4	40.5	40.4	34.6
1989	456.4	137.7	201.7	41.2	40.6	35.2
1990	333.4	23.3	196.0	41.6	38.6	33.9
1991	295.4	25.0	180.7	25.0	35.7	29.0
1992	295.8	25.0	184.0	28.8	29.6	28.4
1993	205.7	29.0	107.9	25.4	17.4	26.0
1994	198.0	34.3	97.2	21.0	18.5	27.0
1995	199.0	39.9	93.8	18.6	17.1	29.6
1996	179.5	47.0	87.5	21.3	13.0	10.7
1997	176.7	48.0	92.0	18.4	11.0	7.3
1998	225.1	50.0	141.1	18.8	10.0	5.2
1999	233.1	51.0	154.0	17.0	11.1	...
2000	245.8	52.0	165.6	16.6	11.6	...
2001	270.8	51.0	190.2	17.7	11.9	...
2002	298.8	51.0	197.9	37.8	12.1	...
2003	304.0	50.0	203.5	38.4	12.1	...
2004	356.2	53.0	243.7	47.0	12.5	...
2005	394.9	54.0	285.6	42.3	13.0	...
2006	424.1	55.0	308.8	46.0	14.3	...
2007	474.0	58.0	344.6	55.5	15.9	...
2008	506.7	61.0	366.4	61.9	17.4	...
2009	531.6	64.0	376.5	71.1	20.0	...
2010	554.5	66.0	393.0	76.6	18.9	...

統計表 14j 行政・国防・保険・域外組織の就業者数

Table 14j Employed in the Public administration and defence; Compulsory social security; Activity of extra-territorial organizations

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	年平均就業者数(千名) Annual average of employed (thousand persons)					
1901	...	...	...	...	...	...
1902	...	...	...	...	...	...
1903	...	...	...	...	...	...
1904	...	...	...	...	...	...
1905	...	...	...	...	...	...
1906	...	...	...	...	...	...
1907	...	...	...	...	...	...
1908	...	...	...	...	...	...
1909	...	...	...	...	...	...
1910	...	...	...	...	...	...
1911	...	...	...	...	...	...
1912	...	...	...	...	...	...
1913	...	...	...	...	...	...
1914	...	...	...	...	...	...
1915	...	...	...	...	...	...
1916	...	...	...	...	...	...
1917	...	...	...	...	...	...
1918	...	...	...	...	...	...
1919	...	...	...	...	...	...
1920	...	...	...	...	...	...
1921	...	...	...	...	...	...
1922	41.4	10.5	20.3	3.1	2.0	5.6
1923	45.2	13.0	20.3	2.7	2.6	6.6
1924	49.0	15.6	20.4	2.2	3.2	7.5
1925	52.8	18.2	20.4	1.8	3.8	8.5
1926	56.6	20.8	20.5	1.4	4.4	9.5
1927	67.9	22.2	31.2	1.0	4.1	9.5
1928	69.1	23.6	31.7	0.6	3.8	9.4
1929	105.8	39.5	35.9	12.7	5.7	12.1
1930	121.3	42.1	43.0	15.0	8.1	13.0
1931	144.1	44.8	58.0	17.3	10.6	13.4
1932	176.8	47.5	83.0	19.7	13.0	13.7
1933	186.4	50.1	83.0	22.0	15.4	15.9
1934	115.0	33.0	43.2	10.8	13.5	14.4
1935	134.0	41.6	52.0	12.9	12.8	14.7
1936	145.7	40.2	58.1	16.1	15.4	15.9
1937	156.2	40.9	63.0	18.0	17.4	16.8
1938	166.7	41.6	67.8	20.0	19.5	17.8
1939	177.1	42.2	72.7	21.9	21.6	18.7
1940	187.6	42.9	77.5	23.9	23.7	19.6
1941	171.8	42.3	70.0	21.4	20.6	17.5
1942	156.0	41.7	62.5	19.0	17.5	15.4
1943	167.3	43.1	70.2	20.1	18.0	15.9
1944	177.5	45.2	73.8	22.0	19.5	16.9
1945	176.5	42.0	73.6	23.7	20.1	17.1
1946	223.0	57.6	88.2	29.7	25.2	22.2
1947	206.8	52.3	83.3	28.7	23.6	18.9
1948	207.6	52.8	84.1	28.5	22.7	19.5
1949	205.7	53.0	85.9	26.4	21.8	18.7
1950	200.4	49.9	81.5	27.7	22.0	19.3
1951	198.5	50.1	81.3	26.6	21.2	19.2
1952	194.7	49.7	79.3	26.5	20.3	18.8
1953	187.0	48.2	74.6	25.3	20.1	18.8
1954	163.7	42.7	64.7	21.8	18.2	16.3
1955	153.7	39.7	61.8	20.8	16.4	15.0
1956	155.8	40.0	64.8	20.5	16.0	14.4
1957	158.0	41.2	65.7	20.5	16.0	14.6
1958	157.3	38.6	66.8	20.5	17.5	13.9
1959	159.7	42.5	69.0	18.2	16.0	14.0

1960	156.7	40.4	68.5	17.4	16.3	14.0
1961	167.1	44.8	72.4	17.6	17.5	14.8
1962	172.3	45.9	76.8	19.0	16.0	14.6
1963	175.4	48.0	79.1	19.0	16.0	13.2
1964	181.1	51.2	80.2	19.0	17.5	13.2
1965	195.4	52.3	86.9	21.7	19.5	15.1
1966	208.6	56.4	91.4	23.0	20.7	17.1
1967	217.6	58.7	97.1	23.7	21.1	16.9
1968	234.3	63.5	106.5	24.4	22.3	17.6
1969	241.1	65.9	106.9	25.9	23.4	18.9
1970	241.9	64.9	111.4	25.0	22.4	18.3
1971	253.4	66.0	118.1	26.6	22.7	19.9
1972	267.4	68.9	127.2	27.1	23.3	20.9
1973	280.0	73.6	133.0	27.8	24.0	21.6
1974	275.4	78.2	119.9	29.0	25.9	22.4
1975	281.2	80.8	119.9	29.3	27.4	23.8
1976	288.3	84.2	120.8	30.2	28.5	24.6
1977	302.2	88.1	127.7	31.8	29.5	25.0
1978	310.6	89.4	131.4	32.4	30.6	26.9
1979	320.9	94.0	134.1	34.0	31.4	27.4
1980	335.3	98.8	138.3	36.6	32.6	29.0
1981	344.8	102.7	140.2	38.1	33.7	30.1
1982	354.5	105.7	142.8	39.5	35.3	31.2
1983	364.8	109.3	145.4	41.4	36.6	32.1
1984	370.9	110.9	147.2	42.3	37.7	32.8
1985	376.2	111.6	149.3	43.4	38.6	33.3
1986	402.2	118.4	162.2	45.7	40.8	35.1
1987	403.2	119.2	160.8	46.2	41.7	35.3
1988	393.8	121.5	152.2	44.8	41.0	34.3
1989	376.0	114.1	148.8	41.5	39.2	32.4
1990	388.4	118.9	154.8	42.5	39.7	32.5
1991	378.5	103.0	165.9	36.6	40.9	32.1
1992	413.5	104.0	181.5	54.2	29.6	44.2
1993	384.3	105.0	180.0	56.0	20.5	22.8
1994	332.2	83.9	147.3	58.0	21.0	22.0
1995	357.4	97.4	147.6	65.1	22.8	24.5
1996	374.9	98.0	156.1	72.1	22.0	26.7
1997	372.9	117.1	139.4	67.2	22.0	27.2
1998	575.4	111.0	344.0	68.6	23.0	28.8
1999	563.5	122.0	342.2	75.0	24.3	...
2000	559.6	146.0	312.2	74.7	26.7	...
2001	518.4	136.0	279.1	75.8	27.5	...
2002	542.1	153.9	279.2	82.2	26.8	...
2003	591.8	156.6	316.7	91.9	26.6	...
2004	619.0	164.0	333.4	92.2	29.4	...
2005	640.2	172.4	334.1	102.8	31.0	...
2006	647.6	176.9	334.0	101.5	35.2	...
2007	650.6	166.7	342.3	107.9	33.7	...
2008	651.6	162.6	351.0	102.0	36.0	...
2009	699.5	188.9	371.5	103.8	35.3	...
2010	684.4	161.9	376.6	100.5	45.4	...

統計表 14k その他サービスの就業者数
Table 14k Employed in Other community, social and personal service activities

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	年平均就業者数(千名) Annual average of employed (thousand persons)					
1901	...	...	...	...	...	...
1902	...	...	...	...	...	...
1903	...	...	...	...	...	...
1904	...	...	...	...	...	...
1905	...	...	...	...	...	...
1906	...	...	...	...	...	...
1907	...	...	...	...	...	...
1908	...	...	...	...	...	...
1909	...	...	...	...	...	...
1910	...	...	...	...	...	...
1911	...	...	...	...	...	...
1912	...	...	...	...	...	...
1913	...	...	...	...	...	...
1914	...	...	...	...	...	...
1915	...	...	...	...	...	...
1916	...	...	...	...	...	...
1917	...	...	...	...	...	...
1918	...	...	...	...	...	...
1919	...	...	...	...	...	...
1920	...	...	...	...	...	...
1921	...	...	...	...	...	...
1922	4.7	2.0	1.8	0.2	0.2	0.4
1923	11.1	2.4	4.3	1.0	0.2	3.2
1924	17.1	2.8	6.7	1.8	0.2	5.6
1925	23.1	3.2	9.2	2.5	0.2	8.0
1926	19.4	3.6	11.7	3.2	0.2	0.6
1927	24.2	4.1	16.0	3.2	0.2	0.7
1928	10.3	4.7	3.5	0.2	1.1	0.8
1929	13.2	6.9	4.4	0.5	0.8	0.6
1930	34.3	17.7	6.2	1.5	3.1	5.8
1931	39.9	28.6	6.4	1.0	0.5	3.4
1932	142.3	124.6	7.3	4.5	0.6	5.3
1933	54.1	40.6	9.7	1.1	0.6	2.1
1934	22.2	14.1	4.6	1.0	0.8	1.8
1935	31.6	12.4	10.4	2.9	1.6	4.3
1936	41.2	16.9	15.9	2.1	1.8	4.5
1937	81.5	39.2	22.7	2.8	9.6	7.2
1938	73.6	42.4	15.2	4.1	5.6	6.3
1939	96.7	54.0	21.2	5.4	7.8	8.3
1940	95.5	39.3	31.6	7.6	7.0	10.0
1941	122.7	68.9	25.8	11.7	7.7	8.5
1942	120.1	47.0	46.5	9.9	6.0	10.7
1943	118.2	48.5	46.1	9.6	4.6	9.3
1944	110.1	44.2	43.2	7.9	5.5	9.2
1945	79.2	29.9	31.6	5.7	4.7	7.3
1946	125.4	30.2	62.4	12.1	8.8	12.0
1947	149.8	54.1	62.1	10.9	10.4	12.3
1948	147.4	54.8	56.2	11.4	12.0	13.0
1949	172.0	61.6	72.4	14.1	10.3	13.7
1950	96.9	31.3	44.5	7.3	6.0	7.8
1951	197.8	45.4	114.0	14.4	8.9	15.2
1952	206.7	50.3	115.1	14.5	8.7	18.0
1953	146.8	39.7	69.7	15.1	8.8	13.5
1954	155.3	49.5	70.0	11.5	7.0	17.4
1955	127.0	40.0	57.7	10.2	8.1	10.9
1956	181.3	63.0	67.2	13.1	17.4	20.6
1957	206.2	64.1	91.6	12.3	18.0	20.2
1958	217.6	67.6	99.1	14.0	19.0	17.9
1959	341.6	97.6	181.2	18.5	22.1	22.2

1960	199.5	56.5	97.6	17.1	13.1	15.1
1961	339.4	101.5	160.5	27.4	21.7	28.3
1962	365.0	107.4	175.4	29.3	22.8	30.1
1963	389.3	115.2	187.5	30.0	25.4	31.2
1964	432.5	125.6	213.6	33.0	27.3	33.1
1965	316.6	91.3	159.0	23.9	20.3	22.0
1966	519.0	155.0	251.7	38.5	33.7	40.1
1967	558.2	166.9	268.6	47.4	35.5	39.9
1968	584.1	177.1	278.4	50.3	38.4	40.0
1969	574.4	186.8	277.1	46.1	21.0	43.4
1970	427.4	129.4	202.0	36.0	30.7	29.3
1971	453.6	137.2	214.1	38.0	33.8	30.5
1972	477.1	145.2	224.1	39.1	36.6	32.1
1973	517.0	149.1	240.0	40.8	53.7	33.4
1974	526.7	159.3	253.1	42.2	37.0	35.0
1975	542.0	164.0	258.9	44.7	38.0	36.5
1976	562.8	171.0	269.5	46.6	38.2	37.5
1977	584.2	178.2	276.7	49.9	40.0	39.4
1978	612.4	185.9	290.1	52.6	42.4	41.5
1979	635.7	198.1	296.5	53.3	44.9	43.0
1980	660.7	204.2	308.3	55.3	47.9	45.0
1981	666.0	208.2	306.5	55.3	48.8	47.2
1982	682.2	210.4	314.3	57.2	52.4	47.9
1983	701.6	217.7	322.0	59.3	53.7	48.9
1984	714.0	214.5	329.4	62.2	56.4	51.5
1985	749.5	234.0	341.2	63.2	58.0	53.1
1986	760.1	233.9	346.0	65.0	59.6	55.6
1987	802.9	254.4	358.7	66.8	66.5	56.5
1988	854.1	274.9	380.2	69.1	73.4	56.5
1989	977.2	322.3	444.1	72.7	79.1	59.0
1990	840.3	193.9	432.0	70.8	83.1	60.5
1991	797.8	189.0	398.5	66.9	79.2	64.2
1992	743.2	187.0	352.8	75.4	66.5	61.5
1993	812.6	190.0	409.7	84.5	63.2	65.2
1994	774.9	184.3	402.7	56.3	52.1	79.5
1995	758.0	214.1	380.7	45.8	36.8	80.6
1996	713.8	226.0	341.1	58.3	35.0	53.4
1997	1233.9	795.0	300.7	52.4	35.0	50.8
1998	1333.7	942.0	259.4	52.0	32.0	48.3
1999	1460.1	1115.0	260.3	47.9	36.9	...
2000	1507.2	1148.0	278.9	47.1	33.2	...
2001	1639.5	1212.0	345.2	48.0	34.3	...
2002	1564.1	1144.1	338.7	42.1	39.2	...
2003	1585.0	1172.4	325.5	48.7	38.4	...
2004	1673.4	1230.1	354.2	52.6	36.6	...
2005	1735.2	1292.7	348.9	53.7	40.0	...
2006	1802.2	1333.2	365.0	64.1	39.9	...
2007	1781.9	1290.4	377.3	59.2	55.0	...
2008	1797.0	1284.4	390.4	64.8	57.4	...
2009	1988.6	1452.2	408.4	66.0	62.1	...
2010	1856.5	1317.2	394.2	79.8	65.3	...

統計表 15a 経済全体の月平均賃金
Table 15a Average wage in the Total Economy

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	6.5
1926	-	...	3.2	...	...	6.8
1927	-	...	3.8	...	...	7.2
1928	-	...	5.4	5.8	...	7.5
1929	-	4.2	5.8	7.1	...	9.1
1930	-	6.6	7.1	8.4	...	10.7
1931	-	9.0	8.4	9.6	...	12.2
1932	-	11.4	10.0	10.9	...	13.8
1933	-	13.8	12.1	12.0	20.3	16.8
1934	-	15.6	13.2	13.8	21.6	18.5
1935	-	19.3	16.4	16.5	24.8	21.6
1936	-	20.3	19.1	18.9	27.2	24.5
1937	-	22.4	21.7	22.4	29.3	29.2
1938	-	24.6	24.4	24.7	31.4	31.1
1939	-	26.7	27.0	27.0	33.6	32.4
1940	-	28.8	29.6	29.3	35.7	33.8
1941	-	24.8	27.9	24.7	29.4	28.2
1942	-	26.4	26.3	25.1	29.6	29.5
1943	-	29.2	28.8	27.6	32.1	32.4
1944	-	32.3	29.9	29.2	36.5	34.0
1945	-	30.5	30.9	29.6	35.6	32.9
1946	-	37.5	35.3	35.4	40.5	40.3
1947	-	45.1	44.6	44.9	51.4	48.5
1948	-	46.3	44.1	44.9	51.0	48.3
1949	-	47.2	49.2	46.3	53.0	52.5
1950	-	57.7	61.6	56.1	61.2	63.7
1951	-	49.8	63.2	50.6	54.8	55.5
1952	-	51.4	64.9	51.8	56.0	57.9
1953	-	52.2	66.6	51.6	59.1	58.8
1954	-	54.6	68.3	56.3	60.8	61.2
1955	-	63.4	70.0	63.5	70.3	69.6
1956	-	64.9	61.6	64.5	70.0	70.3
1957	-	66.0	71.1	67.4	72.9	73.0
1958	-	67.0	73.9	69.7	73.9	77.5
1959	-	66.3	77.2	71.2	76.2	78.1

1960	-	67.9	80.9	72.7	76.6	81.5
1961	-	70.8	83.8	75.1	78.6	84.2
1962	-	74.0	86.6	77.3	80.8	85.8
1963	-	78.1	90.1	80.5	85.2	89.9
1964	-	82.3	93.7	83.8	89.5	94.0
1965	-	86.4	97.3	87.0	93.9	98.1
1966	-	91.0	102.4	90.8	97.1	103.7
1967	-	95.8	106.3	94.2	102.1	109.6
1968	-	102.4	112.6	101.6	108.3	115.4
1969	-	104.3	116.2	103.7	109.5	117.3
1970	-	111.2	122.8	109.3	115.0	124.8
1971	-	114.0	126.5	112.0	117.5	127.8
1972	-	116.8	131.6	115.8	119.5	131.8
1973	-	121.6	135.3	118.9	123.0	143.6
1974	-	129.8	144.3	128.0	131.2	152.1
1975	-	132.3	146.5	130.3	133.2	156.1
1976	-	135.6	150.1	131.8	133.8	156.1
1977	-	139.2	152.0	132.7	133.8	157.7
1978	-	144.5	159.0	138.6	140.1	165.0
1979	-	147.5	162.8	141.1	140.0	167.2
1980	-	150.6	165.9	143.6	142.3	169.2
1981	-	154.4	169.3	146.4	145.5	173.7
1982	-	156.3	172.9	149.1	148.2	177.3
1983	-	160.6	177.8	152.7	151.6	173.5
1984	-	161.6	181.1	156.5	154.4	178.5
1985	-	158.1	185.7	162.3	154.7	182.7
1986	-	159.6	191.9	166.4	159.2	179.6
1987	-	163.3	198.8	170.0	161.0	187.9
1988	-	176.2	213.9	181.3	173.5	199.9
1989	-	191.8	235.2	199.6	186.7	217.5
1990	-	218.4	270.1	223.2	206.6	247.9
1991	-	366.0	456.3	367.7	370.0	470.1
1992	-	2581.9	4786.0	2,544.3	2035.0	3592.8
1993	-	27530.0	128.0	85.9	16155.4	137.0
1994	-	265.2	1726.0	233.4	34904.0	1054.0
1995	-	1066.0	4786.0	368.2	0.9	7545.0
1996	-	2155.4	6841.0	490.9	2.9	72247.8
1997	-	3214.9	8541.0	680.2	5.0	185479.2
1998	-	4482.0	9683.3	840.6	9.2	271385.4
1999	-	7134.0	11863.5	1,049.9	11.6	330700.0
2000	-	...	14373.8	1,227.0	15.6	596800.0
2001	-	...	17302.8	1,455.1	23.5	878100.0
2002	-	...	20323.4	1,684.4	32.5	950000.0
2003	-	...	23127.9	1,916.0	44.6	1750000.0
2004	-	...	28329.1	2,240.3	61.8	1850000.0
2005	-	...	34060.4	2,612.5	83.6	2503000.0
2006	-	...	40790.0	3,269.7	116.3	2504700.0
2007	-	...	52479.0	3,969.6	163.3	2535700.0
2008	-	...	60805.0	5,378.0	231.5	2900000.0
2009	-	...	23127.9	6,161.0	285.6	...
2010	-	504796.8	77610.5	7,189.0	354.4	...

統計表 15b 鉱工業の月平均賃金
Table 15b Average wage in the Mining and manufacturing

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	7.2
1926	-	...	4.1	...	...	7.5
1927	-	...	4.9	...	...	7.7
1928	-	...	5.7	7.7	...	7.9
1929	-	4.6	5.9	8.5	...	9.1
1930	-	6.8	7.1	9.4	...	10.3
1931	-	9.0	8.4	10.3	...	11.4
1932	-	10.7	9.7	11.2	...	12.6
1933	-	13.5	12.0	14.0	16.5	15.9
1934	-	14.7	13.1	15.5	18.4	18.6
1935	-	17.6	17.7	17.5	20.5	22.1
1936	-	20.7	21.3	21.6	24.0	25.9
1937	-	22.4	23.6	30.5	26.0	27.7
1938	-	24.1	25.9	30.1	28.1	30.0
1939	-	25.9	28.3	29.7	30.1	31.2
1940	-	27.6	30.6	29.3	32.2	32.4
1941	-	29.5	30.0	27.2	25.0	26.2
1942	-	30.4	29.4	27.7	26.3	29.1
1943	-	35.5	35.7	33.4	30.3	31.3
1944	-	39.0	37.2	35.4	38.4	34.5
1945	-	29.9	40.1	30.9	28.9	24.0
1946	-	43.2	42.9	41.7	40.8	40.9
1947	-	52.7	54.1	53.4	50.9	51.1
1948	-	50.8	53.6	53.5	47.4	48.8
1949	-	52.6	58.8	54.6	54.9	56.0
1950	-	62.2	73.3	66.0	61.2	62.9
1951	-	55.3	74.8	58.5	57.6	57.4
1952	-	57.2	76.3	60.1	61.2	62.1
1953	-	57.5	77.7	59.6	63.6	63.3
1954	-	65.1	79.2	70.0	67.6	68.4
1955	-	69.5	80.7	74.9	72.6	71.6
1956	-	74.6	84.8	77.9	77.1	77.5
1957	-	77.9	90.4	80.9	79.8	79.6
1958	-	79.3	93.2	83.5	81.4	84.6
1959	-	73.3	99.6	86.7	84.3	85.7

1960	–	80.5	97.0	88.7	81.8	86.5
1961	–	85.2	102.8	92.8	85.2	92.5
1962	–	86.2	104.5	93.3	87.0	93.6
1963	–	88.7	106.7	95.2	89.0	95.9
1964	–	91.2	108.9	97.1	91.0	98.2
1965	–	93.7	111.1	99.0	93.0	100.5
1966	–	97.5	116.7	104.3	96.5	107.3
1967	–	104.0	122.2	109.6	103.1	114.1
1968	–	111.9	127.8	115.0	111.5	120.8
1969	–	116.5	133.3	120.3	115.9	127.6
1970	–	123.5	138.9	125.6	120.3	134.4
1971	–	127.1	145.0	129.4	123.4	138.8
1972	–	130.4	151.1	132.8	126.1	140.9
1973	–	134.7	157.2	136.5	130.2	154.7
1974	–	146.9	163.3	149.1	142.0	169.6
1975	–	151.9	169.4	153.7	146.8	174.6
1976	–	155.1	172.3	157.0	148.6	177.2
1977	–	157.6	175.3	158.1	150.5	179.6
1978	–	160.4	179.3	161.6	153.8	183.6
1979	–	163.6	183.2	166.2	155.6	185.6
1980	–	166.7	187.6	169.5	158.2	188.8
1981	–	169.6	192.1	173.0	162.0	191.7
1982	–	173.1	199.7	176.6	163.9	194.3
1983	–	175.3	201.9	177.9	166.2	198.4
1984	–	175.7	207.6	182.8	170.9	203.0
1985	–	178.9	212.4	188.1	175.2	206.0
1986	–	179.7	218.0	193.8	178.6	208.8
1987	–	183.6	223.5	198.0	181.9	212.6
1988	–	198.0	244.6	214.7	198.5	227.8
1989	–	214.1	266.6	237.4	213.7	241.5
1990	–	232.4	296.0	263.7	230.8	264.9
1991	–	422.9	566.8	456.5	405.0	488.4
1992	–	3409.6	6552.4	3,378.0	2643.9	5405.6
1993	–	42941.1	171.0	133.6	26905.0	169.5
1994	–	389.4	2801.0	369.1	65162.0	1224.2
1995	–	1473.4	7792.0	571.3	1.6	9625.1
1996	–	2944.3	10198.0	737.7	8.4	97720.3
1997	–	5189.9	12489.0	1,182.2	14.4	216401.7
1998	–	8320.3	13683.4	1,418.6	28.3	275017.5
1999	–	12476.4	16756.8	1,928.9	35.8	...
2000	–	...	20885.6	2,043.8	47.1	...
2001	–	...	23926.8	2,420.2	71.2	...
2002	–	...	26086.3	2,921.2	92.4	...
2003	–	...	29334.6	3,274.3	114.2	...
2004	–	...	35232.0	3,769.1	151.2	...
2005	–	...	41524.0	4,198.9	191.6	...
2006	–	...	49966.0	5,832.4	226.4	...
2007	–	...	60933.0	6,171.8	293.1	...
2008	–	...	74514.0	7,713.0	420.0	...
2009	–	...	29334.6	9,007.0	467.2	...
2010	–	789275.5	93119.2	10,649.0	562.0	...

統計表 15c 建設業の月平均賃金
Table 15c Average wage in the Construction

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	7.4
1926	-	...	4.9	...	...	7.4
1927	-	...	5.6	...	...	7.5
1928	-	...	5.8	25.0	...	7.6
1929	-	...	6.7	21.6	...	8.8
1930	-	0.5	7.4	18.2	...	10.0
1931	-	4.2	8.8	14.9	...	11.3
1932	-	8.6	9.8	11.5	...	12.5
1933	-	12.6	10.9	11.6	18.3	16.1
1934	-	15.0	12.4	13.2	19.2	20.4
1935	-	22.5	17.4	18.0	28.0	22.9
1936	-	22.3	19.6	19.1	27.4	24.3
1937	-	24.6	21.7	22.0	30.5	27.3
1938	-	26.9	24.8	24.8	33.7	30.0
1939	-	29.1	28.0	27.7	36.8	32.5
1940	-	31.4	31.1	30.5	39.9	35.0
1941	-	22.3	29.4	24.4	30.2	23.7
1942	-	24.0	27.8	24.9	34.6	24.6
1943	-	21.9	30.1	23.5	35.5	30.5
1944	-	31.7	32.2	36.5	42.8	33.9
1945	-	22.8	34.3	22.3	34.8	26.3
1946	-	39.9	34.6	37.4	46.4	38.8
1947	-	37.4	41.9	52.2	53.9	47.4
1948	-	45.4	36.4	46.6	45.4	46.8
1949	-	52.0	53.2	51.9	55.7	56.5
1950	-	66.2	65.7	60.0	67.5	80.8
1951	-	59.5	68.1	62.7	69.8	61.0
1952	-	66.5	70.5	67.1	75.7	67.0
1953	-	101.8	73.0	62.7	73.9	73.3
1954	-	74.3	75.4	51.8	62.3	70.5
1955	-	75.5	77.8	64.5	79.4	92.0
1956	-	79.4	31.6	65.9	85.0	86.6
1957	-	85.6	85.2	72.1	87.0	99.5
1958	-	89.3	89.0	75.6	91.7	101.2
1959	-	89.7	91.4	79.9	93.1	99.9

1960	–	89.4	99.9	85.7	96.0	110.9
1961	–	96.6	104.9	95.5	100.6	111.7
1962	–	96.7	105.8	96.1	101.7	111.3
1963	–	102.5	109.0	100.0	106.6	118.4
1964	–	108.3	112.2	103.9	111.4	125.6
1965	–	114.1	115.4	107.8	116.3	132.7
1966	–	122.5	123.1	116.0	120.4	141.6
1967	–	132.9	130.8	124.1	130.3	150.4
1968	–	137.8	138.4	132.3	135.5	159.3
1969	–	143.7	146.1	140.4	145.4	168.1
1970	–	154.1	153.8	148.6	155.3	177.0
1971	–	158.1	159.7	150.1	159.3	179.0
1972	–	162.1	165.6	154.0	163.7	185.9
1973	–	165.9	171.6	155.7	164.2	194.8
1974	–	174.0	177.5	163.3	168.2	203.5
1975	–	178.9	183.4	164.7	172.7	212.7
1976	–	186.3	184.2	165.6	175.0	212.3
1977	–	190.8	188.9	165.6	175.6	216.3
1978	–	196.1	194.9	173.0	175.9	222.1
1979	–	201.5	200.5	175.2	178.8	226.0
1980	–	205.4	205.9	179.7	179.8	231.6
1981	–	210.9	213.5	183.4	183.8	236.7
1982	–	215.8	219.9	184.8	184.4	243.6
1983	–	218.7	228.7	188.1	189.7	248.6
1984	–	221.0	226.4	192.3	196.0	254.9
1985	–	219.5	233.8	199.3	200.4	260.7
1986	–	218.7	240.3	205.1	205.3	263.4
1987	–	222.7	249.7	211.7	212.2	264.4
1988	–	245.2	276.0	237.9	232.9	287.7
1989	–	260.3	304.6	248.0	252.5	291.9
1990	–	282.1	330.3	273.9	276.2	314.9
1991	–	447.1	571.4	439.9	445.0	534.9
1992	–	3044.4	6298.0	3,076.1	2682.5	4671.6
1993	–	42397.7	170.0	128.0	32376.0	171.0
1994	–	424.2	2660.0	362.6	76674.0	1345.5
1995	–	1610.4	7852.0	583.6	1.3	10673.4
1996	–	3448.0	9659.0	778.8	4.9	110734.0
1997	–	5474.4	11320.0	956.3	9.5	263861.0
1998	–	7446.9	11974.5	1,168.0	22.2	313693.5
1999	–	11778.7	15896.9	1,537.5	37.0	...
2000	–	...	21453.5	1,816.4	38.9	...
2001	–	...	27275.7	1,818.7	55.4	...
2002	–	...	32435.1	1,984.2	74.8	...
2003	–	...	34464.6	2,111.1	100.0	...
2004	–	...	38615.6	2,213.1	154.9	...
2005	–	...	47932.2	2,388.2	198.8	...
2006	–	...	55715.0	2,886.6	319.0	...
2007	–	...	70823.0	3,612.9	467.8	...
2008	–	...	81425.0	5,245.0	608.9	...
2009	–	...	34464.6	6,620.0	657.6	...
2010	–	882455.7	104434.2	8,012.0	913.4	...

統計表 15d 農業・漁業の月平均賃金
Table 15d Average wage in the Agriculture and fishery

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-					3.0
1926	-		1.8			3.5
1927	-		2.2			4.0
1928	-		3.2	4.4		4.5
1929	-	2.1	3.2	5.2		5.7
1930	-	4.0	5.0	6.3		7.0
1931	-	5.9	6.5	7.1		8.2
1932	-	7.6	6.9	8.0		9.4
1933	-	9.7	8.5	9.0	17.5	13.8
1934	-	11.0	9.2	9.8	19.9	14.0
1935	-	13.7	12.1	12.2	21.3	18.5
1936	-	15.3	13.4	13.3	24.9	19.1
1937	-	16.8	13.8	16.7	25.8	22.8
1938	-	18.3	16.6	18.5	26.7	25.3
1939	-	19.7	19.4	20.2	27.7	26.6
1940	-	21.2	22.2	22.0	28.6	27.9
1941	-	15.4	19.9	16.5	18.9	18.5
1942	-	16.3	17.6	16.8	21.3	20.5
1943	-	17.3	17.4	15.8	22.8	20.4
1944	-	16.2	16.3	15.6	22.2	21.6
1945	-	16.8	18.5	16.1	20.7	20.1
1946	-	21.4	20.8	20.6	27.0	26.9
1947	-	25.8	29.7	25.8	35.8	34.1
1948	-	26.6	26.3	26.2	33.9	31.1
1949	-	28.8	32.0	28.7	36.5	34.2
1950	-	34.9	38.4	35.5	43.2	42.4
1951	-	25.9	41.5	30.6	40.3	28.7
1952	-	28.8	44.6	32.3	39.5	30.0
1953	-	26.4	47.6	32.9	41.9	28.9
1954	-	28.5	50.7	39.7	42.2	42.1
1955	-	42.3	53.8	45.3	56.0	54.1
1956	-	40.6	61.4	42.3	45.8	50.0
1957	-	38.6	51.7	41.6	40.4	44.5
1958	-	44.7	57.6	47.3	25.8	54.0
1959	-	46.2	61.8	51.0	54.7	56.2

1960	–	43.5	64.4	51.0	51.9	59.3
1961	–	44.5	69.4	51.6	58.4	59.0
1962	–	51.5	76.0	56.6	62.0	68.4
1963	–	55.6	79.9	59.5	67.6	72.7
1964	–	59.7	83.8	62.5	73.2	77.0
1965	–	63.8	87.7	65.4	78.8	81.3
1966	–	68.8	93.6	69.0	76.5	88.7
1967	–	71.2	99.6	72.6	78.3	96.0
1968	–	78.4	105.5	76.2	88.2	103.4
1969	–	76.3	111.4	79.8	90.4	110.8
1970	–	90.2	117.3	83.3	92.5	118.2
1971	–	94.5	122.0	86.5	97.4	126.4
1972	–	96.2	126.6	93.0	92.5	130.0
1973	–	101.3	131.3	94.5	98.0	153.1
1974	–	111.9	135.9	105.4	111.4	164.5
1975	–	111.9	140.6	112.1	113.1	163.0
1976	–	116.8	112.1	111.9	112.4	153.7
1977	–	126.1	149.6	114.4	111.3	151.9
1978	–	126.6	153.4	115.8	120.3	144.9
1979	–	132.8	161.8	118.3	118.9	155.4
1980	–	139.6	161.9	122.1	127.4	154.9
1981	–	143.6	165.4	126.1	131.1	159.2
1982	–	144.9	165.4	130.1	136.2	158.0
1983	–	154.1	181.1	140.0	142.7	161.0
1984	–	156.3	187.5	146.1	147.6	169.9
1985	–	141.7	192.1	154.7	138.0	165.9
1986	–	143.4	204.1	150.8	144.3	154.7
1987	–	144.6	211.8	155.9	139.7	168.1
1988	–	162.6	220.9	163.3	155.2	185.8
1989	–	179.8	237.8	188.0	163.5	211.9
1990	–	215.4	284.1	207.9	181.1	251.6
1991	–	383.1	410.2	356.9	401.0	575.5
1992	–	2434.1	4640.6	3,001.0	1921.0	2964.3
1993	–	20765.3	100.0	68.6	11097.5	116.0
1994	–	233.8	1037.0	121.5	18192.0	1510.3
1995	–	800.5	2397.0	151.9	0.8	6402.0
1996	–	1223.5	3519.0	254.1	1.8	48118.0
1997	–	1764.5	3898.0	368.5	2.9	113859.0
1998	–	2172.4	4338.1	408.2	5.3	185471.4
1999	–	3536.3	4538.6	449.9	5.4	...
2000	–	...	5433.7	591.1	7.8	...
2001	–	...	6826.4	703.9	13.7	...
2002	–	...	8078.9	775.9	18.9	...
2003	–	...	9459.4	878.0	26.9	...
2004	–	...	11771.8	903.5	35.6	...
2005	–	...	14720.4	1,040.9	38.4	...
2006	–	...	18472.0	1,259.1	43.0	...
2007	–	...	24185.0	1,788.2	52.5	...
2008	–	...	30931.0	2,416.0	71.1	...
2009	–	...	9459.4	3,347.0	81.0	...
2010	–	...	36476.5	4,360.0	106.1	...

統計表 15e 林業の月平均賃金
Table 15e Average wage in the Forestry

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	7.6
1926	-	...	2.5	...	...	7.7
1927	-	...	3.0	...	...	7.7
1928	-	...	3.3	7.2	...	8.3
1929	-	14.4	8.9	8.2	...	9.5
1930	-	14.0	5.2	9.8	...	9.6
1931	-	14.3	6.3	9.4	...	11.0
1932	-	14.4	6.9	11.8	...	12.3
1933	-	13.6	10.5	12.5	14.7	15.2
1934	-	15.1	10.7	11.5	20.7	13.9
1935	-	14.1	14.4	18.5	23.8	15.3
1936	-	13.5	17.0	14.3	26.7	21.9
1937	-	15.0	18.8	17.1	26.9	22.1
1938	-	16.6	18.6	19.8	27.0	22.2
1939	-	18.1	18.5	22.6	27.2	22.4
1940	-	19.6	18.3	25.3	27.3	22.5
1941	-	23.8	20.1	25.9	28.2	21.1
1942	-	28.2	21.9	25.8	28.8	21.4
1943	-	33.3	23.7	25.6	29.6	21.7
1944	-	38.9	25.5	25.3	30.7	22.0
1945	-	45.3	27.3	25.0	32.5	22.3
1946	-	39.0	29.0	34.2	31.4	26.3
1947	-	34.8	30.8	36.1	30.9	28.8
1948	-	31.9	32.6	37.0	30.6	30.5
1949	-	29.7	34.4	37.4	30.4	31.8
1950	-	35.3	36.2	37.4	29.5	35.0
1951	-	27.2	37.4	38.8	31.3	34.7
1952	-	25.7	38.5	36.4	31.4	35.1
1953	-	25.9	39.7	38.4	38.4	36.5
1954	-	29.8	40.8	39.4	44.3	35.9
1955	-	39.7	42.0	37.0	47.9	33.9
1956	-	42.4	43.2	41.7	42.3	39.7
1957	-	37.7	43.0	40.3	44.9	40.8
1958	-	41.6	44.3	41.4	45.9	40.3
1959	-	40.4	45.0	44.1	46.5	44.0

1960	–	44.2	46.7	39.9	45.3	44.0
1961	–	51.0	54.6	43.0	58.4	37.6
1962	–	54.2	59.0	50.7	58.9	46.5
1963	–	57.5	63.4	58.4	59.5	55.5
1964	–	60.7	67.8	66.0	60.1	64.4
1965	–	64.0	72.2	73.7	60.7	73.3
1966	–	66.4	74.6	77.2	63.9	77.5
1967	–	68.9	77.1	80.6	67.0	81.7
1968	–	71.3	79.5	84.1	70.2	85.9
1969	–	73.8	82.0	87.5	73.3	90.1
1970	–	76.2	84.4	91.0	76.5	94.3
1971	–	83.2	89.1	87.5	82.1	91.7
1972	–	90.1	93.7	90.3	87.7	93.6
1973	–	97.1	98.4	91.8	93.2	108.3
1974	–	104.0	103.0	105.3	98.8	119.7
1975	–	111.0	107.7	106.1	104.4	121.8
1976	–	109.7	106.8	111.2	107.4	130.7
1977	–	114.4	107.9	108.4	110.7	127.4
1978	–	116.5	110.6	106.6	113.3	130.4
1979	–	107.8	110.8	108.3	113.4	127.3
1980	–	110.6	113.6	115.5	117.7	131.2
1981	–	117.6	114.4	115.4	119.9	133.9
1982	–	122.2	114.8	115.7	120.0	135.3
1983	–	119.8	121.0	117.6	119.6	137.1
1984	–	122.4	120.0	115.4	115.7	144.3
1985	–	123.3	120.8	117.1	119.5	144.4
1986	–	125.2	123.3	115.6	119.5	141.1
1987	–	127.6	127.4	118.5	125.6	141.0
1988	–	130.5	155.0	118.3	129.8	146.5
1989	–	138.8	180.9	138.7	151.4	146.2
1990	–	159.5	182.2	144.6	164.1	166.7
1991	–	215.4	322.3	209.6	241.9	273.8
1992	–	1566.5	2524.6	1,173.1	1344.5	2301.0
1993	–	17058.9	78.4	41.4	10720.0	103.8
1994	–	148.5	869.7	121.8	18171.0	739.3
1995	–	709.7	2442.0	157.0	0.4	4606.5
1996	–	1338.5	4165.0	238.7	0.9	...
1997	–	...	4953.4	...	1.7	...
1998	–	...	5741.7	...	4.4	...
1999	–	...	5490.0	...	5.8	...
2000	–	...	6379.8	...	5.3	...
2001	–	...	9110.1	...	7.0	...
2002	–	...	11831.5	...	10.7	...
2003	–	...	14360.8	...	13.0	...
2004	–	...	23032.8	...	21.8	...
2005	–	...	32998.7	...	28.0	...
2006	–	...	36727.0	...	...	...
2007	–	...	45965.0	...	...	...
2008	–	...	57393.0	...	...	...
2009	–	...	...	...	...	...
2010	–	...	...	...	...	...

統計表 15f 輸送業の月平均賃金
Table 15f Average wage in the Transport

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	7.7
1926	-	...	6.0	...	...	7.9
1927	-	...	6.8	...	...	8.1
1928	-	...	7.0	10.0	...	8.2
1929	-	6.3	7.3	10.5	...	9.8
1930	-	8.6	8.9	11.0	...	11.3
1931	-	10.8	9.5	11.5	...	12.8
1932	-	12.8	12.9	12.1	...	14.4
1933	-	15.5	14.7	13.7	20.1	15.2
1934	-	16.5	16.0	15.3	24.0	16.3
1935	-	20.1	19.1	19.0	26.2	20.6
1936	-	22.2	22.9	23.1	28.9	24.5
1937	-	24.6	24.5	26.6	31.5	32.3
1938	-	27.0	27.6	28.6	34.2	35.8
1939	-	29.5	30.8	30.7	36.8	38.0
1940	-	31.9	33.9	32.8	39.4	40.2
1941	-	28.2	34.0	28.6	34.7	35.8
1942	-	31.5	34.1	25.8	31.0	36.6
1943	-	34.0	35.0	29.0	30.3	40.5
1944	-	36.8	36.9	29.3	34.2	42.4
1945	-	35.5	44.2	35.3	42.0	46.1
1946	-	41.4	42.7	35.5	42.3	47.6
1947	-	49.8	49.7	44.2	50.2	57.1
1948	-	49.6	50.0	45.3	49.1	56.2
1949	-	53.7	57.3	47.2	52.6	62.3
1950	-	65.5	68.6	58.4	66.1	73.8
1951	-	55.3	69.9	49.8	55.1	63.8
1952	-	55.7	71.2	51.6	56.8	65.6
1953	-	55.6	72.5	52.2	56.2	63.8
1954	-	62.4	73.8	64.4	68.1	73.5
1955	-	69.7	75.1	64.4	77.1	81.0
1956	-	71.5	74.5	37.6	77.1	82.9
1957	-	74.0	79.2	73.3	74.9	85.2
1958	-	77.6	79.8	74.6	81.6	84.4
1959	-	77.9	81.1	75.7	81.2	89.3

1960	–	77.4	84.1	78.9	83.6	98.4
1961	–	84.0	90.6	83.2	88.3	98.6
1962	–	88.9	97.6	87.5	93.0	105.3
1963	–	93.6	101.2	91.3	97.1	109.1
1964	–	98.2	104.7	95.2	101.2	112.9
1965	–	102.9	108.3	99.0	105.3	116.7
1966	–	108.2	115.0	104.7	110.5	122.6
1967	–	114.6	121.6	110.4	115.9	128.5
1968	–	120.4	128.3	116.1	123.8	134.4
1969	–	122.7	134.9	121.8	129.4	140.3
1970	–	131.0	141.6	127.5	135.0	146.2
1971	–	136.1	149.8	133.5	138.5	153.2
1972	–	141.7	158.1	137.7	140.7	157.4
1973	–	146.5	166.3	142.3	144.7	165.2
1974	–	166.8	174.6	165.1	166.9	180.5
1975	–	171.7	182.8	166.0	169.5	185.4
1976	–	177.2	187.2	169.4	170.7	191.7
1977	–	180.6	190.2	170.2	169.3	192.1
1978	–	182.3	195.0	174.0	170.3	197.2
1979	–	182.4	196.6	174.7	169.2	200.7
1980	–	185.9	205.8	176.7	169.8	203.9
1981	–	191.1	207.3	179.3	174.3	209.2
1982	–	193.7	212.1	182.8	174.3	211.1
1983	–	194.6	213.3	182.8	175.5	210.7
1984	–	191.5	215.1	181.4	175.2	212.4
1985	–	192.8	220.6	184.8	176.0	214.2
1986	–	192.2	226.0	192.1	178.0	220.3
1987	–	194.8	234.7	197.5	182.4	224.2
1988	–	207.6	255.1	210.8	195.4	236.9
1989	–	221.3	272.7	220.5	204.3	249.9
1990	–	247.9	302.7	239.1	223.1	282.4
1991	–	407.7	510.0	354.7	333.0	494.1
1992	–	2955.6	6086.4	2,343.1	1655.2	4590.6
1993	–	36270.7	164.0	94.7	17916.0	166.3
1994	–	344.2	2294.0	278.4	47377.0	1252.8
1995	–	1457.9	6580.0	439.2	1.2	10042.4
1996	–	2926.5	9319.0	573.3	4.5	93821.6
1997	–	5244.5	10786.0	765.0	8.5	219273.8
1998	–	8051.0	11942.8	959.9	16.1	290523.0
1999	–	10647.7	14146.5	1,301.1	23.2	...
2000	–	...	18475.0	1,722.7	31.0	...
2001	–	...	23808.4	2,054.6	48.9	...
2002	–	...	27946.4	2,417.3	69.6	...
2003	–	...	33346.4	2,833.5	101.1	...
2004	–	...	40972.2	3,479.9	144.2	...
2005	–	...	48157.0	4,107.7	181.0	...
2006	–	...	57879.0	5,141.2	232.3	...
2007	–	...	67911.0	6,496.7	394.0	...
2008	–	...	79178.0	9,897.0	587.2	...
2009	–	...	33346.4	9,716.0	660.7	...
2010	–	710670.4	97384.8	11,981.0	793.1	...

統計表 15g 通信業の月平均賃金
Table 15g Average wage in the Communication

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	9.8
1926	-	...	3.3	...	...	10.1
1927	-	...	5.1	...	...	10.5
1928	-	...	6.5	8.3	...	10.6
1929	-	8.2	6.7	9.0	...	11.6
1930	-	9.8	7.9	9.6	...	13.4
1931	-	11.5	8.3	10.3	...	14.9
1932	-	13.1	10.3	10.9	...	15.8
1933	-	14.8	12.4	12.6	21.8	17.6
1934	-	16.0	13.6	13.4	21.2	19.9
1935	-	18.7	16.1	16.1	23.2	23.7
1936	-	19.3	17.6	16.3	27.5	23.8
1937	-	22.2	18.5	18.9	30.7	27.3
1938	-	25.1	21.8	22.3	33.8	30.9
1939	-	27.9	25.2	25.8	37.0	34.4
1940	-	30.8	28.5	29.3	40.1	37.9
1941	-	34.3	30.6	30.0	40.9	38.6
1942	-	38.0	32.7	30.8	41.8	39.3
1943	-	41.9	34.8	31.6	42.8	39.9
1944	-	46.0	36.9	32.5	43.8	40.6
1945	-	50.4	39.1	33.5	44.9	41.3
1946	-	50.2	41.2	37.2	47.4	45.1
1947	-	50.0	43.3	40.6	49.6	48.6
1948	-	49.8	45.4	43.8	51.7	51.7
1949	-	49.7	47.5	46.8	53.6	54.6
1950	-	53.9	49.6	49.4	55.1	56.9
1951	-	50.8	50.0	49.9	55.7	57.7
1952	-	52.5	50.4	50.4	55.8	57.4
1953	-	52.6	50.9	49.4	55.2	56.9
1954	-	54.2	51.3	50.7	55.1	56.1
1955	-	55.5	51.7	44.0	58.4	57.4
1956	-	55.8	50.7	53.4	57.9	57.2
1957	-	57.0	51.7	52.1	55.2	61.0
1958	-	55.3	50.8	55.4	63.0	59.6
1959	-	53.7	52.9	54.1	60.2	61.7

1960	–	59.6	57.9	59.6	66.6	66.7
1961	–	68.4	65.9	65.1	71.0	78.2
1962	–	68.7	66.2	70.6	75.3	79.9
1963	–	69.1	67.3	71.2	74.7	80.4
1964	–	69.4	68.4	71.7	74.0	81.0
1965	–	69.8	69.5	72.3	73.4	81.5
1966	–	71.8	73.9	76.2	75.6	87.4
1967	–	75.1	78.3	80.2	78.8	93.3
1968	–	83.3	82.6	84.1	85.4	99.1
1969	–	83.7	87.0	88.1	89.2	105.0
1970	–	91.7	91.4	92.0	93.0	110.9
1971	–	93.3	98.1	93.4	93.3	112.9
1972	–	95.1	104.9	96.9	95.0	116.4
1973	–	98.5	111.6	101.9	96.6	123.7
1974	–	118.4	118.4	121.4	116.0	143.0
1975	–	122.3	125.1	127.0	119.9	146.6
1976	–	124.2	127.0	130.5	121.8	149.0
1977	–	125.1	127.9	134.0	122.2	154.3
1978	–	124.0	129.5	135.6	123.0	156.6
1979	–	128.4	131.4	137.6	124.8	158.3
1980	–	130.9	133.7	140.4	126.7	161.6
1981	–	132.7	135.5	140.9	128.3	163.5
1982	–	136.6	136.9	141.3	129.1	167.1
1983	–	136.8	139.2	138.8	131.1	166.3
1984	–	139.3	141.9	138.4	133.7	167.7
1985	–	142.5	145.1	141.5	136.0	172.6
1986	–	146.4	146.9	146.7	139.3	172.5
1987	–	152.4	156.3	153.3	143.8	178.8
1988	–	167.5	185.0	173.6	160.0	205.7
1989	–	176.8	197.8	186.8	172.6	223.0
1990	–	200.0	227.5	213.5	190.8	243.1
1991	–	367.9	413.7	402.7	339.3	466.8
1992	–	2701.0	4109.4	2,605.7	2116.4	4342.8
1993	–	34734.8	113.5	100.4	17299.0	155.6
1994	–	340.4	1485.0	407.1	46661.0	1384.8
1995	–	1506.7	4109.7	614.4	1.1	...
1996	–	2960.9	5868.6	728.9	5.6	...
1997	–	4929.5	7328.0	989.5	10.2	...
1998	–	7793.0	13601.5	1,381.4	19.4	...
1999	–	12450.2	18048.8	2,075.7	28.7	...
2000	–	...	22245.8	...	38.4	...
2001	–	...	27028.7	...	59.6	...
2002	–	...	31317.6	...	95.2	...
2003	–	...	35271.7	...	149.0	...
2004	–	...	42459.3	...	222.7	...
2005	–	...	52465.8	...	288.8	...
2006	–	...	62879.0	...	555.9	...
2007	–	...	80487.0	...	482.6	...
2008	–	...	97342.0	...	849.2	...
2009	–	...	104088.4	...	771.5	...
2010	–	741255.5	110834.7	...	1175.7	...

統計表 15h 商業・公共食堂部門の月平均賃金
Table 15h Average wage in the Trade and catering

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	8.7
1926	-	...	5.0	...	...	9.1
1927	-	...	5.4	...	...	9.5
1928	-	...	5.7	7.4	...	9.9
1929	-	7.1	6.5	8.1	...	11.4
1930	-	8.7	7.3	9.3	...	12.9
1931	-	10.1	8.0	10.0	...	14.4
1932	-	11.1	10.1	10.8	...	15.9
1933	-	13.5	11.8	12.4	17.8	17.2
1934	-	13.4	11.9	12.6	18.2	16.5
1935	-	15.8	13.7	15.5	18.7	18.6
1936	-	18.5	16.5	18.0	21.3	22.4
1937	-	20.2	17.7	19.9	23.2	26.0
1938	-	21.8	19.9	21.7	25.2	27.1
1939	-	23.5	22.2	23.6	27.1	27.4
1940	-	25.2	24.4	25.4	29.1	27.7
1941	-	19.3	14.3	3.2	4.7	30.0
1942	-	20.5	4.2	4.3	5.7	32.3
1943	-	21.2	4.4	4.5	4.7	34.6
1944	-	22.9	4.4	3.6	4.5	36.9
1945	-	20.2	4.1	3.3	3.9	39.3
1946	-	20.5	4.6	3.7	5.5	41.6
1947	-	35.7	5.0	5.4	8.0	43.9
1948	-	33.8	5.2	5.6	6.4	46.2
1949	-	35.3	4.9	5.1	5.9	48.5
1950	-	47.4	45.3	45.7	52.7	50.8
1951	-	38.1	46.8	5.8	7.0	51.8
1952	-	39.5	48.3	5.9	6.1	52.8
1953	-	41.9	49.8	7.1	6.6	53.8
1954	-	29.2	51.3	32.3	32.4	54.8
1955	-	52.2	52.8	52.2	57.4	55.8
1956	-	53.5	51.3	53.5	60.0	56.5
1957	-	55.8	59.1	57.2	62.0	61.9
1958	-	55.6	59.8	57.7	61.9	62.5
1959	-	57.3	60.1	57.5	62.9	61.9

1960	–	55.2	61.3	58.9	63.6	63.5
1961	–	57.8	64.0	60.2	64.2	64.6
1962	–	59.8	65.5	61.5	64.8	67.2
1963	–	63.7	68.9	65.4	69.4	71.2
1964	–	67.6	72.2	69.3	74.0	75.2
1965	–	71.5	75.6	73.2	78.6	79.2
1966	–	77.6	79.0	76.9	83.5	83.3
1967	–	80.6	82.4	80.6	87.2	87.3
1968	–	87.6	85.9	84.3	94.6	91.4
1969	–	88.8	89.3	88.0	97.1	95.4
1970	–	92.3	92.7	91.7	99.6	99.5
1971	–	93.2	95.1	92.9	100.7	100.4
1972	–	94.8	97.5	93.8	100.6	102.4
1973	–	97.1	99.9	96.3	103.0	112.9
1974	–	100.8	102.3	101.5	106.6	116.2
1975	–	106.2	104.7	103.5	109.0	118.9
1976	–	109.1	105.9	105.2	111.2	121.0
1977	–	111.1	108.7	105.7	112.3	124.0
1978	–	124.7	123.7	121.8	127.0	138.8
1979	–	126.7	126.5	124.0	128.2	141.7
1980	–	129.1	128.4	125.9	130.1	145.7
1981	–	132.2	130.1	126.6	131.1	144.8
1982	–	133.9	132.2	128.0	132.1	147.4
1983	–	134.1	132.4	129.3	132.1	147.9
1984	–	134.9	134.5	131.8	134.0	150.3
1985	–	136.7	137.0	133.5	134.9	153.2
1986	–	137.6	139.8	135.5	138.3	154.0
1987	–	134.9	140.4	136.9	138.1	152.7
1988	–	142.1	149.3	144.9	142.9	153.6
1989	–	151.7	168.9	150.3	155.1	174.4
1990	–	180.7	212.6	193.6	190.0	205.7
1991	–	298.1	379.6	327.1	304.0	348.4
1992	–	1917.8	3622.4	1,852.4	1490.0	3487.1
1993	–	21503.7	98.0	80.1	15593.0	102.9
1994	–	200.8	1392.0	213.9	33478.0	776.5
1995	–	589.8	3886.0	298.9	0.7	5944.5
1996	–	1455.8	5837.0	384.6	2.6	52258.0
1997	–	2596.5	7104.0	564.7	4.6	129804.0
1998	–	3598.0	8210.9	752.3	8.3	169676.0
1999	–	5394.0	11248.3	830.9	11.9	...
2000	–	...	13624.9	1,089.4	16.9	...
2001	–	...	15771.1	1,199.6	23.1	...
2002	–	...	19048.1	1,399.0	32.7	...
2003	–	...	22915.3	1,615.7	46.1	...
2004	–	...	27639.3	1,901.2	59.6	...
2005	–	...	33521.7	2,081.5	78.9	...
2006	–	...	40255.0	2,288.0	106.9	...
2007	–	...	49345.0	3,142.3	144.5	...
2008	–	...	59100.0	4,487.0	203.3	...
2009	–	...	22915.3	6,477.0	273.4	...
2010	–	625982.2	74013.5	7,200.0	408.5	...

統計表 15i 住宅・公共経営；非生産的種類の住民向け日常生活サービスの月平均賃金
Table 15i Average wage in the Public and housing services

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	12.7
1926	-	...	3.2	...	...	12.8
1927	-	...	3.8	...	...	13.2
1928	-	...	4.4	8.1	...	13.0
1929	-	11.1	5.3	8.9	...	14.0
1930	-	12.1	7.8	9.7	...	14.8
1931	-	12.8	9.8	10.3	...	15.8
1932	-	13.6	10.0	11.3	...	16.5
1933	-	14.8	12.0	11.8	17.0	16.8
1934	-	14.7	13.0	12.7	18.9	20.2
1935	-	16.4	14.7	14.9	19.9	20.0
1936	-	17.2	14.4	15.1	23.4	22.3
1937	-	19.3	19.0	17.6	25.6	23.7
1938	-	21.4	21.1	20.1	27.8	25.0
1939	-	23.5	23.3	22.6	29.9	26.4
1940	-	25.6	25.4	25.1	32.1	27.8
1941	-	13.6	23.0	6.3	11.7	13.5
1942	-	20.2	20.6	17.7	23.8	19.5
1943	-	24.6	22.3	16.2	25.4	21.1
1944	-	26.1	21.8	20.2	28.0	22.3
1945	-	11.5	9.2	5.3	13.2	10.6
1946	-	29.6	30.3	29.3	29.5	28.1
1947	-	38.0	38.4	37.9	39.7	35.4
1948	-	36.6	35.9	31.9	38.2	33.0
1949	-	37.9	39.2	36.2	42.5	35.1
1950	-	44.7	47.1	47.0	48.9	48.3
1951	-	27.3	48.5	13.4	22.3	15.6
1952	-	30.0	49.9	24.2	31.9	24.3
1953	-	34.4	51.4	34.3	38.2	33.1
1954	-	39.3	52.8	42.9	43.0	41.3
1955	-	45.5	54.2	52.3	48.1	52.6
1956	-	46.6	54.5	50.9	47.6	52.2
1957	-	47.7	57.8	64.6	58.2	57.0
1958	-	47.6	56.5	56.1	58.1	58.2
1959	-	50.1	61.0	55.8	54.2	63.8

1960	–	50.1	63.9	55.4	53.3	63.3
1961	–	53.6	65.5	58.4	56.1	65.4
1962	–	57.1	67.1	61.3	58.9	67.6
1963	–	60.7	68.8	64.3	61.8	69.7
1964	–	64.2	70.4	67.2	64.6	71.9
1965	–	67.7	72.0	70.2	67.4	74.0
1966	–	71.2	76.2	74.5	71.2	81.8
1967	–	74.5	78.8	78.4	75.1	82.9
1968	–	79.9	86.7	86.3	81.7	89.7
1969	–	82.9	90.9	88.8	84.3	92.1
1970	–	85.6	94.1	91.4	89.4	93.8
1971	–	85.0	97.2	92.7	89.0	96.8
1972	–	87.0	99.5	95.3	90.9	99.2
1973	–	92.4	102.1	95.6	92.9	106.8
1974	–	96.8	106.9	100.7	98.9	118.9
1975	–	100.5	108.5	102.3	98.6	122.9
1976	–	102.0	110.2	104.8	98.1	123.9
1977	–	104.4	114.0	107.5	100.6	122.9
1978	–	112.8	123.8	118.9	110.0	134.5
1979	–	115.8	126.0	121.8	112.0	137.0
1980	–	117.0	130.0	124.1	112.1	135.5
1981	–	118.7	132.0	126.1	112.7	139.2
1982	–	120.7	135.4	128.7	115.4	143.2
1983	–	123.3	136.4	131.4	116.3	145.7
1984	–	119.6	139.0	133.2	116.2	149.1
1985	–	123.4	141.7	136.2	119.0	150.5
1986	–	124.5	143.9	138.9	120.5	153.4
1987	–	126.7	148.2	143.5	121.5	159.5
1988	–	137.1	164.1	154.2	129.7	170.4
1989	–	145.6	178.3	160.9	142.7	182.4
1990	–	163.5	198.9	179.8	159.8	196.4
1991	–	285.9	356.1	294.0	280.0	326.9
1992	–	2305.9	3624.4	2,047.5	1928.9	3081.1
1993	–	...	...	71.2	16108.0	...
1994	–	...	...	231.6	38046.0	...
1995	–	...	...	384.9	1.0	...
1996	–	...	...	489.4	3.4	...
1997	–	...	...	651.9	5.7	...
1998	–	...	...	753.4	12.4	...
1999	–	...	...	1,016.2	17.0	...
2000	–	...	...	994.8	18.3	...
2001	–	...	...	1,081.2	26.3	...
2002	–	...	...	1,238.6	36.8	...
2003	–	...	...	1,392.8	48.8	...
2004	–	...	...	1,683.5	68.2	...
2005	–	...	...	1,933.5	100.6	...
2006	–	...	...	2,243.0	...	...
2007	–	...	...	2,536.0	...	...
2008	–	...	...	3,414.0	...	...
2009	–	...	...	3,566.0	...	...
2010	–	...	...	5,825.0	...	...

統計表 15j 保健・体育・社会保障の月平均賃金
Table 15j Average wage in the Healthcare services

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	6.5
1926	-	...	3.0	...	...	7.2
1927	-	...	4.8	...	...	7.9
1928	-	...	5.2	6.9	...	8.6
1929	-	8.8	7.2	8.2	...	10.4
1930	-	10.4	7.7	9.4	...	12.1
1931	-	12.7	9.0	10.9	...	13.9
1932	-	14.9	10.3	12.2	...	15.6
1933	-	16.1	10.7	13.1	24.1	20.0
1934	-	19.0	12.6	15.3	22.2	19.2
1935	-	21.2	16.0	17.7	27.3	20.5
1936	-	21.4	18.0	20.1	28.9	25.0
1937	-	22.8	19.3	21.7	30.0	25.8
1938	-	24.1	20.7	23.3	31.0	26.7
1939	-	25.5	22.0	24.9	32.1	27.9
1940	-	26.8	23.3	26.5	33.1	29.1
1941	-	21.4	21.3	22.1	27.0	24.0
1942	-	20.5	19.3	21.2	24.4	22.2
1943	-	27.4	26.7	27.6	30.4	29.1
1944	-	31.1	27.3	29.8	33.2	31.3
1945	-	32.2	29.3	33.2	36.7	34.8
1946	-	35.7	30.8	35.0	40.9	32.4
1947	-	43.7	37.1	39.4	47.9	40.2
1948	-	43.1	38.4	38.6	46.5	43.7
1949	-	42.2	38.7	39.3	43.2	42.9
1950	-	50.7	47.5	48.4	51.9	51.4
1951	-	41.7	48.2	39.0	43.4	42.2
1952	-	42.0	48.9	39.1	44.1	44.9
1953	-	42.6	49.6	40.8	45.7	46.0
1954	-	47.3	50.3	51.2	56.2	55.2
1955	-	53.1	51.0	52.9	57.7	55.1
1956	-	61.5	57.3	59.4	62.4	61.5
1957	-	62.2	57.0	59.6	61.2	63.5
1958	-	60.2	57.0	60.5	62.3	58.2
1959	-	61.6	57.6	59.2	63.8	59.7

1960	–	57.8	58.9	59.9	62.6	58.8
1961	–	60.1	59.3	61.0	64.3	61.9
1962	–	62.3	59.6	62.0	66.0	65.0
1963	–	68.5	66.2	66.9	73.1	70.9
1964	–	74.7	72.7	71.9	80.2	76.8
1965	–	80.9	79.3	76.8	87.3	82.7
1966	–	83.4	82.1	78.5	90.7	85.7
1967	–	86.0	83.8	79.9	94.0	87.8
1968	–	92.9	91.1	86.9	101.2	94.8
1969	–	93.0	91.1	87.9	101.8	95.1
1970	–	92.6	92.3	88.9	101.2	95.9
1971	–	94.0	92.3	90.0	101.1	95.1
1972	–	93.9	94.0	92.4	103.4	98.8
1973	–	96.6	96.6	95.2	105.6	109.4
1974	–	98.1	99.1	96.6	106.8	110.9
1975	–	98.7	99.8	97.1	106.4	113.7
1976	–	100.6	100.8	97.6	107.8	114.7
1977	–	102.5	102.8	100.0	110.1	113.6
1978	–	117.8	119.1	115.8	124.8	132.7
1979	–	119.0	119.6	117.3	126.0	131.0
1980	–	120.5	120.7	118.0	126.2	132.2
1981	–	123.3	122.3	119.3	127.2	132.9
1982	–	122.5	123.3	120.2	128.1	134.0
1983	–	123.3	124.4	120.4	129.7	135.8
1984	–	123.2	123.8	120.4	128.4	134.9
1985	–	123.4	125.2	121.0	131.1	134.3
1986	–	126.0	127.2	121.9	132.1	134.8
1987	–	135.0	134.4	130.1	133.2	141.7
1988	–	140.7	140.9	138.3	144.7	143.3
1989	–	146.9	158.2	143.1	145.8	148.8
1990	–	159.2	178.0	166.8	167.4	164.5
1991	–	266.1	356.3	278.4	271.0	324.3
1992	–	1935.5	2300.6	1,591.1	1571.2	2647.4
1993	–	17961.1	66.0	53.7	10384.0	98.6
1994	–	146.7	797.0	216.5	26018.0	703.5
1995	–	684.3	2678.0	291.5	0.5	4787.8
1996	–	1429.7	4567.0	325.7	1.2	46087.0
1997	–	2347.6	5824.0	385.3	2.1	151646.0
1998	–	3416.4	6472.3	474.3	3.1	267101.6
1999	–	5601.2	6810.7	516.2	4.5	...
2000	–	...	7269.8	579.0	6.7	...
2001	–	...	8331.5	692.5	8.9	...
2002	–	...	10862.2	799.5	13.0	...
2003	–	...	12101.7	943.3	17.1	...
2004	–	...	15209.5	1,126.2	23.8	...
2005	–	...	18051.0	1,385.9	40.9	...
2006	–	...	21334.0	1,750.6	56.0	...
2007	–	...	33159.0	2,541.7	77.1	...
2008	–	...	35846.0	3,486.0	142.7	...
2009	–	...	45248.2	3,909.0	193.5	...
2010	–	333117.4	54650.3	4,218.0	247.2	...

統計表 15k 教育部門の月平均賃金
Table 15k Average wage in the Education

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	6.7
1926	-	...	3.0	...	...	6.8
1927	-	...	3.7	...	...	6.9
1928	-	...	5.0	4.6	...	7.1
1929	-	9.7	5.2	6.4	...	9.0
1930	-	10.4	7.2	7.9	...	10.9
1931	-	14.8	8.9	9.6	...	12.8
1932	-	16.0	10.6	11.6	...	14.7
1933	-	16.2	12.0	12.5	21.2	18.7
1934	-	24.8	13.3	15.3	20.5	20.1
1935	-	20.8	17.1	18.9	24.1	26.2
1936	-	27.8	19.3	20.8	27.1	27.6
1937	-	28.8	31.1	23.5	28.6	31.0
1938	-	29.8	30.8	26.3	30.2	32.0
1939	-	30.7	30.6	29.0	31.7	32.7
1940	-	31.7	30.3	31.8	33.2	33.4
1941	-	30.8	28.3	30.1	34.5	29.7
1942	-	29.5	26.3	28.1	33.5	35.1
1943	-	33.0	30.0	32.8	35.5	36.7
1944	-	39.7	35.7	36.3	44.9	36.2
1945	-	41.0	36.6	39.6	48.4	43.3
1946	-	45.9	40.1	44.7	46.6	47.7
1947	-	56.6	52.8	54.1	59.2	54.7
1948	-	61.8	53.9	55.0	65.5	59.9
1949	-	61.2	56.3	54.7	60.9	61.2
1950	-	70.6	68.6	63.8	66.6	70.6
1951	-	65.4	69.1	57.9	59.6	67.8
1952	-	67.3	69.6	62.4	59.3	72.2
1953	-	67.5	70.2	68.6	60.6	79.6
1954	-	71.5	70.7	74.4	70.0	86.3
1955	-	74.5	71.2	73.6	76.1	70.9
1956	-	73.2	66.5	73.9	78.3	77.3
1957	-	78.7	72.9	77.4	80.3	79.2
1958	-	78.0	73.5	76.7	79.4	79.1
1959	-	75.5	73.7	77.0	79.3	80.2

1960	–	70.8	71.9	75.4	75.3	74.9
1961	–	72.6	71.5	73.7	75.6	74.3
1962	–	74.4	71.1	72.0	75.9	73.7
1963	–	80.8	77.6	80.5	84.4	81.9
1964	–	87.1	84.2	89.0	93.0	90.2
1965	–	93.5	90.7	97.5	101.5	98.4
1966	–	97.6	92.7	100.2	104.8	100.6
1967	–	100.0	93.9	101.3	109.9	105.1
1968	–	106.8	98.3	106.9	115.5	108.9
1969	–	107.7	99.3	107.4	115.3	109.6
1970	–	108.9	100.0	109.6	117.7	111.5
1971	–	109.8	100.8	110.0	118.1	114.0
1972	–	115.8	104.6	116.3	126.2	120.5
1973	–	125.8	113.9	124.2	135.3	139.5
1974	–	125.3	115.9	126.1	133.9	146.2
1975	–	125.2	116.7	126.9	136.8	149.5
1976	–	126.1	116.9	126.1	136.8	145.2
1977	–	126.1	118.0	127.0	136.2	146.6
1978	–	130.5	124.9	128.9	140.3	154.6
1979	–	132.0	124.6	129.8	140.7	155.0
1980	–	132.0	125.4	131.1	141.1	152.8
1981	–	132.7	126.4	131.4	141.3	152.6
1982	–	133.7	127.6	130.8	144.0	150.2
1983	–	134.2	128.0	130.9	142.7	151.8
1984	–	139.5	131.4	136.1	150.4	157.9
1985	–	149.8	139.2	146.1	161.4	171.9
1986	–	156.2	143.7	150.9	166.6	170.6
1987	–	166.1	156.0	163.3	178.8	185.9
1988	–	171.8	161.9	165.6	180.3	185.6
1989	–	167.7	171.9	166.2	180.3	185.5
1990	–	173.5	182.1	167.8	182.6	188.5
1991	–	281.8	331.9	271.2	295.0	293.1
1992	–	2198.4	2579.1	1,600.2	1733.7	2924.1
1993	–	21796.9	81.0	56.2	12072.0	117.8
1994	–	171.5	907.0	238.3	28341.0	729.3
1995	–	683.3	2948.0	309.4	0.5	4926.6
1996	–	1593.3	5059.0	348.0	1.6	42798.0
1997	–	2477.1	6382.0	415.1	2.7	141931.0
1998	–	3726.5	8260.1	539.5	6.4	276125.8
1999	–	6505.5	8237.8	607.5	7.6	...
2000	–	...	8590.3	715.1	11.6	...
2001	–	...	10008.9	878.8	17.3	...
2002	–	...	12865.1	976.4	25.6	...
2003	–	...	14411.3	1,128.2	34.4	...
2004	–	...	17961.4	1,345.5	45.6	...
2005	–	...	20341.9	1,621.8	75.4	...
2006	–	...	23956.0	1,955.4	102.1	...
2007	–	...	31924.0	2,675.8	140.8	...
2008	–	...	34453.0	3,424.0	181.6	...
2009	–	...	12101.7	3,638.0	251.7	...
2010	–	384776.2	49216.0	3,991.0	256.6	...

統計表 15I 文化部門の月平均賃金
Table 15I Average wage in the Culture

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	20.8
1926	-	...	8.3	...	...	20.8
1927	-	...	8.5	...	...	20.6
1928	-	...	9.3	21.8	...	20.3
1929	-	3.0	9.5	21.4	...	21.3
1930	-	5.8	10.1	20.9	...	20.5
1931	-	8.2	10.8	20.6	...	20.0
1932	-	10.7	11.6	20.3	...	19.8
1933	-	13.6	12.6	19.6	20.7	20.7
1934	-	14.8	13.1	19.5	22.6	21.8
1935	-	19.3	14.7	18.3	23.5	16.3
1936	-	20.6	14.2	17.0	28.0	20.3
1937	-	20.8	25.8	17.3	28.6	20.7
1938	-	21.0	22.9	17.6	29.1	21.1
1939	-	21.1	20.0	17.8	29.7	21.5
1940	-	21.3	17.0	18.1	30.2	21.9
1941	-	23.3	19.2	20.5	31.5	24.0
1942	-	25.2	21.3	23.0	32.8	26.1
1943	-	27.2	23.4	25.4	34.1	28.2
1944	-	29.2	25.6	27.8	35.4	30.4
1945	-	31.2	27.7	30.3	36.7	32.5
1946	-	33.1	29.8	32.7	38.0	34.6
1947	-	35.1	31.9	35.1	39.3	36.7
1948	-	37.1	34.1	37.6	40.6	38.9
1949	-	39.1	36.2	40.0	41.9	41.0
1950	-	41.0	38.3	42.5	43.2	43.1
1951	-	42.4	39.7	43.7	44.5	43.4
1952	-	43.7	41.1	44.9	45.7	43.6
1953	-	45.0	42.4	46.1	46.9	43.9
1954	-	46.4	43.8	47.3	48.1	44.2
1955	-	47.7	45.2	48.5	49.4	44.4
1956	-	48.6	46.6	49.6	50.9	48.6
1957	-	49.4	48.0	50.8	52.4	52.7
1958	-	50.2	49.5	51.9	53.9	56.8
1959	-	51.1	50.9	53.1	55.4	60.9

1960	–	51.9	52.4	54.2	56.9	65.1
1961	–	56.6	55.4	57.9	60.3	65.1
1962	–	61.4	58.5	61.5	63.8	65.1
1963	–	66.1	61.6	65.2	67.3	65.1
1964	–	70.8	64.6	68.9	70.7	65.1
1965	–	75.5	67.7	72.5	74.2	65.1
1966	–	81.0	72.2	75.7	77.6	70.9
1967	–	84.7	76.7	76.5	88.3	74.6
1968	–	86.0	79.8	88.8	90.9	86.4
1969	–	87.7	81.1	91.2	91.9	87.8
1970	–	89.5	82.2	90.7	92.7	95.2
1971	–	90.7	84.4	91.0	93.3	89.1
1972	–	89.1	84.2	92.4	95.9	93.8
1973	–	92.4	84.6	94.6	96.7	102.3
1974	–	92.9	85.7	100.1	100.3	106.6
1975	–	96.7	88.9	100.0	100.3	105.8
1976	–	94.6	89.4	100.7	99.3	105.1
1977	–	96.7	90.9	100.8	100.6	111.6
1978	–	111.3	106.8	112.1	117.9	123.4
1979	–	104.9	105.9	110.9	114.1	125.1
1980	–	108.6	105.8	113.7	114.9	125.2
1981	–	108.5	108.5	111.2	115.5	125.1
1982	–	108.9	108.4	111.3	115.8	127.7
1983	–	109.7	106.4	110.2	117.3	128.8
1984	–	109.1	107.0	114.3	118.7	134.8
1985	–	113.5	109.4	115.0	118.5	135.5
1986	–	110.0	110.7	115.6	119.7	134.3
1987	–	111.3	113.5	119.4	121.4	135.3
1988	–	120.7	121.0	121.2	124.3	130.7
1989	–	120.7	132.2	123.9	127.6	137.0
1990	–	132.7	163.0	136.9	150.4	160.8
1991	–	244.2	304.8	253.2	250.0	284.2
1992	–	1801.1	2,157.2	1,462.5	1460.0	2730.0
1993	–	21394.0	...	48.9	10318.0	93.2
1994	–	178.7	...	207.4	22532.0	611.8
1995	–	727.8	...	298.9	0.7	...
1996	–	1602.2	...	319.0	1.8	...
1997	–	2482.0	...	394.1	2.6	...
1998	–	3792.3	...	505.2	5.4	...
1999	–	6270.8	...	563.2	8.3	...
2000	–	...	...	...	11.5	...
2001	–	...	...	...	18.3	...
2002	–	...	...	...	24.2	...
2003	–	...	...	...	33.8	...
2004	–	...	...	...	41.8	...
2005	–	...	...	...	59.5	...
2006	–	...	...	...	84.3	...
2007	–	...	...	...	105.8	...
2008	–	...	...	...	158.0	...
2009	–	...	...	...	213.7	...
2010	–	399001.1	...	...	311.7	...

統計表 15m 芸術部門の月平均賃金
Table 15m Average wage in the Art

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	10.6
1926	-	...	1.3	...	...	10.9
1927	-	...	2.5	...	...	11.4
1928	-	...	5.6	11.7	...	11.6
1929	-	...	6.4	12.9	...	13.7
1930	-	...	8.9	13.7	...	15.0
1931	-	...	11.3	15.3	...	17.4
1932	-	1.5	14.6	16.0	...	19.3
1933	-	9.3	18.6	16.8	27.0	21.9
1934	-	12.4	20.8	19.4	26.8	25.2
1935	-	26.6	27.0	20.1	31.6	26.9
1936	-	26.7	25.7	23.8	29.5	33.5
1937	-	29.5	27.9	27.5	33.9	36.0
1938	-	32.3	30.1	31.2	38.4	38.5
1939	-	35.1	32.2	34.9	42.8	41.0
1940	-	37.9	34.4	38.6	47.2	43.5
1941	-	39.8	35.9	40.0	47.3	41.9
1942	-	42.1	37.4	41.2	47.9	40.3
1943	-	44.5	38.9	42.6	48.7	38.8
1944	-	47.1	40.4	44.0	49.6	37.1
1945	-	49.9	41.9	45.5	50.9	35.5
1946	-	50.9	43.3	47.4	52.5	39.1
1947	-	52.0	44.8	49.2	53.9	43.1
1948	-	53.1	46.3	50.9	55.1	47.5
1949	-	54.1	47.8	52.5	56.1	52.5
1950	-	52.8	49.3	53.4	57.5	57.2
1951	-	53.6	50.2	52.9	55.6	54.2
1952	-	52.3	51.2	52.6	55.9	55.8
1953	-	52.6	52.1	53.5	54.2	56.6
1954	-	52.8	53.1	73.2	52.2	58.2
1955	-	55.3	54.0	57.6	55.0	65.2
1956	-	60.5	55.2	57.8	59.2	67.8
1957	-	62.7	55.2	63.3	70.9	67.5
1958	-	65.6	56.0	64.2	68.8	70.2
1959	-	64.2	52.7	64.5	69.0	70.1

1960	–	65.6	53.9	65.4	79.1	66.2
1961	–	67.3	57.3	68.4	80.2	69.1
1962	–	68.9	60.7	71.5	81.3	72.0
1963	–	70.6	64.2	74.5	82.3	74.8
1964	–	72.2	67.6	77.6	83.4	77.7
1965	–	73.9	71.0	80.6	84.5	80.6
1966	–	77.1	73.3	82.8	85.1	85.5
1967	–	82.3	75.0	82.9	90.8	86.7
1968	–	86.8	83.9	91.1	95.7	93.2
1969	–	87.9	83.6	92.6	94.8	90.2
1970	–	90.2	83.8	93.3	95.8	92.1
1971	–	90.3	84.8	93.0	94.8	94.0
1972	–	88.0	86.8	93.7	95.9	91.6
1973	–	91.3	87.3	92.4	99.0	93.8
1974	–	93.9	87.8	98.3	101.7	98.3
1975	–	96.2	86.5	96.7	104.6	99.0
1976	–	90.5	87.1	96.3	107.1	100.7
1977	–	98.2	89.3	102.6	109.2	104.9
1978	–	116.0	108.7	119.3	131.3	133.2
1979	–	114.4	110.7	121.5	128.9	134.3
1980	–	116.1	114.5	126.8	129.6	134.2
1981	–	114.9	117.2	124.1	134.0	138.1
1982	–	116.3	116.1	123.1	130.9	134.4
1983	–	116.8	115.0	120.7	132.7	136.9
1984	–	117.2	114.8	120.8	138.9	138.9
1985	–	122.1	120.0	130.2	136.9	148.5
1986	–	123.4	122.3	130.6	137.5	152.7
1987	–	122.4	125.8	133.4	143.4	150.3
1988	–	130.4	130.7	135.2	145.5	154.5
1989	–	135.0	141.2	137.8	151.2	155.1
1990	–	143.9	169.5	149.8	173.0	182.6
1991	–	...	284.1	...	...	...
1992	–	...	2,228.5	...	...	...
1993	–	...	67.3	...	...	...
1994	–	...	781.7	...	...	...
1995	–	...	2,547.9	...	...	...
1996	–	...	4,373.7	...	...	...
1997	–	...	5,516.9	...	...	...
1998	–	...	6928.7	...	...	...
1999	–	...	7607.7	...	...	...
2000	–	...	8163.4	...	...	...
2001	–	...	10101.4	...	...	...
2002	–	...	11826.6	...	...	...
2003	–	...	12824.6	...	...	...
2004	–	...	16890.8	...	...	...
2005	–	...	21499.2	...	...	...
2006	–	...	24067.0	...	...	...
2007	–	...	31802.0	...	...	...
2008	–	...	36852.0	...	...	...
2009	–	...	45025.7	...	...	...
2010	–	...	53199.3	...	...	...

統計表 15n 学術・科学的サービスの月平均賃金
Table 15n Average wage in the Science

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	29.6
1926	-	...	8.6	...	...	29.8
1927	-	...	9.4	...	...	29.6
1928	-	...	11.5	32.9	...	29.7
1929	-	32.1	12.0	32.6	...	30.4
1930	-	31.5	13.7	31.1	...	30.9
1931	-	31.5	15.4	32.0	...	30.7
1932	-	31.2	17.6	30.6	...	30.6
1933	-	30.2	20.4	28.9	24.9	32.8
1934	-	31.3	21.9	31.8	28.9	32.8
1935	-	29.7	26.1	25.4	32.6	32.2
1936	-	29.5	27.4	27.4	41.5	32.3
1937	-	32.8	25.4	30.7	43.4	35.4
1938	-	36.1	29.6	33.9	45.4	38.5
1939	-	39.4	33.7	37.2	47.4	41.6
1940	-	42.7	37.9	40.4	49.4	44.7
1941	-	55.0	42.1	42.2	51.8	47.3
1942	-	68.7	46.3	43.6	53.7	50.3
1943	-	84.1	50.4	45.0	55.6	53.2
1944	-	101.4	54.6	46.5	57.6	56.1
1945	-	121.0	58.8	48.0	59.5	59.0
1946	-	112.7	63.0	57.1	73.0	68.0
1947	-	106.6	67.2	61.5	81.5	75.6
1948	-	102.0	71.3	64.1	87.3	81.9
1949	-	98.4	75.5	65.8	91.5	87.2
1950	-	81.6	79.7	67.0	94.2	91.1
1951	-	91.5	83.7	68.6	96.5	97.6
1952	-	90.2	87.6	71.3	102.9	103.2
1953	-	89.6	91.6	70.8	108.9	105.0
1954	-	89.5	95.5	72.8	109.1	110.3
1955	-	88.8	99.5	75.5	109.9	113.3
1956	-	91.6	102.5	97.5	103.2	117.6
1957	-	90.4	103.4	97.3	100.5	108.1
1958	-	91.3	100.2	94.2	98.9	113.2
1959	-	301.0	101.5	94.7	77.8	113.8

1960	–	98.9	105.6	104.6	100.9	117.4
1961	–	98.6	106.3	97.3	103.2	119.5
1962	–	98.2	107.0	89.9	105.5	121.5
1963	–	102.6	111.1	101.2	110.1	124.0
1964	–	107.1	115.2	112.5	114.7	126.5
1965	–	111.5	119.3	123.8	119.3	129.0
1966	–	113.3	118.8	127.9	119.7	133.4
1967	–	115.2	123.1	132.0	122.7	136.7
1968	–	120.1	126.3	136.2	128.9	141.7
1969	–	120.4	130.5	140.3	134.7	141.9
1970	–	127.5	141.4	144.4	140.4	147.6
1971	–	132.4	142.9	141.7	143.6	147.9
1972	–	132.6	143.8	141.6	142.2	149.3
1973	–	134.7	146.7	146.0	148.7	151.2
1974	–	143.8	160.2	157.6	158.9	165.7
1975	–	147.1	166.3	157.2	162.0	174.2
1976	–	150.4	170.9	161.8	162.9	179.8
1977	–	153.8	169.6	164.3	163.4	173.8
1978	–	159.3	177.5	169.8	170.3	191.2
1979	–	161.2	179.3	171.7	168.2	190.7
1980	–	161.8	182.8	174.6	173.9	197.6
1981	–	167.0	187.0	178.1	176.7	208.1
1982	–	171.9	194.3	183.7	178.1	212.1
1983	–	175.3	193.2	184.5	179.2	216.7
1984	–	176.2	197.6	185.8	178.9	220.4
1985	–	180.5	202.8	190.5	184.5	219.6
1986	–	184.0	212.6	197.5	188.4	223.9
1987	–	197.1	220.8	206.0	197.0	235.2
1988	–	218.0	260.9	235.5	230.3	265.6
1989	–	247.5	292.5	269.1	259.6	297.6
1990	–	275.5	320.2	301.4	287.5	275.7
1991	–	431.3	514.4	437.2	467.0	401.6
1992	–	2711.3	4896.6	2,358.1	2126.0	3575.5
1993	–	36832.9	168.3	86.1	16568.0	127.0
1994	–	337.1	1793.0	297.7	44508.0	1022.3
1995	–	1291.2	4896.2	445.5	0.8	6024.7
1996	–	2740.6	6978.1	550.4	2.3	54961.6
1997	–	4240.5	8701.7	777.9	5.3	145528.3
1998	–	6175.0	12234.7	1,021.9	9.5	263152.9
1999	–	9866.5	13107.6	1,129.3	16.4	...
2000	–	...	17529.3	...	16.4	...
2001	–	...	24239.6	...	23.4	...
2002	–	...	32569.9	...	34.8	...
2003	–	...	37701.5	...	44.8	...
2004	–	...	45066.1	...	67.9	...
2005	–	...	61201.2	...	105.7	...
2006	–	...	71081.0	...	132.2	...
2007	–	...	91649.0	...	166.5	...
2008	–	...	111872.0	...	244.9	...
2009	–	...	126078.8	...	320.5	...
2010	–	463303.7	140285.5	...	349.0	...

統計表 15o 信用・社会保険サービスの月平均賃金
Table 15o Average wage in the Credit and social security

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	23.8
1926	-	...	6.4	...	...	23.9
1927	-	...	6.5	...	...	24.4
1928	-	...	7.0	16.4	...	24.3
1929	-	16.8	7.2	17.5	...	25.3
1930	-	18.0	11.1	18.1	...	26.0
1931	-	19.9	14.0	19.7	...	27.5
1932	-	21.5	15.9	20.3	...	28.6
1933	-	22.4	22.0	20.6	31.4	28.8
1934	-	25.1	22.2	23.5	32.8	31.6
1935	-	26.2	24.1	23.5	35.6	32.9
1936	-	27.1	25.7	26.4	37.5	35.8
1937	-	28.8	29.4	29.0	38.6	36.4
1938	-	30.5	30.6	31.7	39.8	36.9
1939	-	32.2	31.9	34.3	40.9	37.5
1940	-	33.9	33.1	36.9	42.0	38.0
1941	-	34.8	37.0	36.3	40.8	40.7
1942	-	42.4	40.9	43.1	47.0	45.9
1943	-	45.3	42.1	43.3	46.1	49.1
1944	-	44.6	41.5	38.5	44.3	46.0
1945	-	49.4	40.5	44.0	50.2	54.1
1946	-	48.3	40.7	46.4	48.0	52.6
1947	-	53.7	51.3	50.4	54.0	59.1
1948	-	52.7	50.8	48.6	53.6	53.4
1949	-	54.8	51.5	51.4	57.3	55.8
1950	-	65.1	62.4	65.0	68.1	68.0
1951	-	52.6	62.9	55.3	54.5	57.4
1952	-	55.6	63.4	68.1	68.5	69.3
1953	-	60.1	64.0	67.7	68.3	70.3
1954	-	63.8	64.5	68.3	67.5	69.1
1955	-	66.0	65.0	65.0	64.6	68.3
1956	-	68.3	65.7	60.8	67.6	68.3
1957	-	68.2	67.8	61.5	94.4	71.9
1958	-	66.6	65.5	61.0	68.1	66.7
1959	-	66.5	65.8	61.6	66.3	68.0

1960	–	65.0	67.0	64.1	64.0	65.1
1961	–	68.1	70.1	67.5	67.4	68.1
1962	–	71.2	73.2	70.9	70.8	71.0
1963	–	74.3	76.2	74.4	74.3	74.0
1964	–	77.4	79.3	77.8	77.7	76.9
1965	–	80.5	82.4	81.2	81.1	79.9
1966	–	83.3	84.1	84.6	84.4	83.3
1967	–	87.7	87.4	86.3	87.4	84.9
1968	–	93.4	94.2	92.9	91.8	92.3
1969	–	91.6	94.9	96.3	93.4	93.8
1970	–	97.6	101.7	101.4	100.5	99.6
1971	–	99.7	105.1	101.6	102.8	97.3
1972	–	102.0	107.0	105.9	104.9	102.4
1973	–	106.9	112.0	109.9	109.1	111.3
1974	–	107.5	115.2	110.4	111.6	114.1
1975	–	113.9	117.1	116.4	118.3	116.8
1976	–	115.6	114.2	119.8	116.0	113.7
1977	–	119.7	119.6	121.4	121.0	113.8
1978	–	136.5	138.6	141.6	135.7	143.5
1979	–	143.3	141.6	144.3	140.7	146.9
1980	–	144.8	144.0	144.8	143.2	150.5
1981	–	148.4	146.0	145.9	147.9	156.8
1982	–	150.7	147.4	147.4	147.8	155.0
1983	–	151.5	150.6	145.8	149.1	159.7
1984	–	153.2	151.9	152.7	153.1	160.5
1985	–	153.8	158.2	156.6	157.7	161.6
1986	–	159.4	168.9	165.4	163.6	167.8
1987	–	167.8	173.3	174.4	167.0	171.2
1988	–	173.7	175.8	179.9	178.6	174.1
1989	–	181.5	202.0	188.2	192.1	195.7
1990	–	320.1	354.2	319.3	296.0	321.0
1991	–	686.0	823.5	723.2	765.7	845.5
1992	–	4639.2	9390.9	4,844.4	5047.6	6348.2
1993	–	60637.6	252.0	207.3	41304.0	200.6
1994	–	523.2	4177.0	633.3	113959.0	1125.0
1995	–	1935.9	10969.0	761.4	2.1	7576.3
1996	–	4087.9	13010.0	930.4	7.3	80425.0
1997	–	8235.6	16992.0	1,930.7	17.0	196413.0
1998	–	12130.5	20098.8	2,538.4	20.3	278889.9
1999	–	16120.1	34684.0	3,056.0	48.9	...
2000	–	...	37721.1	4,240.1	76.7	...
2001	–	...	45186.4	4,717.2	90.5	...
2002	–	...	53219.7	5,146.3	118.4	...
2003	–	...	59437.8	5,489.1	174.9	...
2004	–	...	67602.9	7,507.1	232.8	...
2005	–	...	82234.0	9,555.4	351.0	...
2006	–	...	101321.0	10,669.4	558.8	...
2007	–	...	125418.0	10,791.2	818.7	...
2008	–	...	143044.0	15,103.0	1068.1	...
2009	–	...	150582.3	16,750.0	1288.0	...
2010	–	...	158120.6	18,768.0	1372.4	...

統計表 15p 国家管理機関、協同組合管理機関、社会組織の機構の月平均賃金
Table 15p Average wage in the Administration

	1	2	3	4	5	6
	中央アジア Central Asia	ウズベキスタン Uzbekistan	カザフスタン Kazakhstan	キルギスタン Kyrgyzstan	タジキスタン Tajikistan	トルクメニスタン Turkmenistan
	ルーブル／月(太字は各国通貨表示) Ruble/month (Bold figures are in national currency)					
1901	-	...	...	...	...	...
1902	-	...	...	...	...	...
1903	-	...	...	...	...	...
1904	-	...	...	...	...	...
1905	-	...	...	...	...	...
1906	-	...	...	...	...	...
1907	-	...	...	...	...	...
1908	-	...	...	...	...	...
1909	-	...	...	...	...	...
1910	-	...	...	...	...	...
1911	-	...	...	...	...	...
1912	-	...	...	...	...	...
1913	-	...	...	...	...	...
1914	-	...	...	...	...	...
1915	-	...	...	...	...	...
1916	-	...	...	...	...	...
1917	-	...	...	...	...	...
1918	-	...	...	...	...	...
1919	-	...	...	...	...	...
1920	-	...	...	...	...	...
1921	-	...	...	...	...	...
1922	-	...	...	...	...	...
1923	-	...	...	...	...	...
1924	-	...	...	...	...	...
1925	-	...	...	...	...	18.0
1926	-	...	15.0	...	...	18.4
1927	-	...	15.4	...	...	18.7
1928	-	...	16.5	8.2	...	18.7
1929	-	15.7	16.8	10.8	...	20.8
1930	-	16.8	17.6	11.8	...	22.0
1931	-	19.5	18.5	14.9	...	23.6
1932	-	21.0	19.6	16.9	...	24.8
1933	-	21.5	20.1	16.5	33.9	27.7
1934	-	26.3	22.7	23.1	33.8	31.1
1935	-	25.9	24.2	23.8	37.4	30.9
1936	-	28.2	25.4	26.6	38.7	35.9
1937	-	31.7	28.6	29.6	41.2	39.7
1938	-	35.1	31.8	32.6	43.7	43.6
1939	-	38.6	35.0	35.6	46.1	47.4
1940	-	42.1	38.2	38.6	48.6	51.3
1941	-	37.0	36.3	32.9	41.6	44.4
1942	-	36.0	34.3	34.8	43.3	46.9
1943	-	36.5	34.9	36.7	43.5	46.0
1944	-	38.5	36.2	37.7	44.7	47.3
1945	-	44.5	38.9	39.2	48.3	50.7
1946	-	43.2	40.2	44.0	48.2	49.9
1947	-	49.7	46.3	48.7	54.5	57.9
1948	-	50.3	47.5	48.6	54.2	58.1
1949	-	52.2	48.7	51.4	54.3	57.4
1950	-	66.6	61.7	63.8	67.2	73.4
1951	-	57.1	63.6	52.5	57.1	62.7
1952	-	59.7	65.6	53.9	60.1	66.9
1953	-	59.0	67.5	54.6	59.0	65.0
1954	-	67.5	69.5	67.8	71.8	78.8
1955	-	72.8	71.4	69.7	73.9	79.3
1956	-	72.5	70.4	71.1	74.8	78.5
1957	-	76.1	75.7	73.3	79.4	81.8
1958	-	90.8	78.6	80.2	71.8	92.6
1959	-	81.4	79.1	82.9	82.5	89.3

1960	–	78.4	79.9	82.2	82.4	84.6
1961	–	80.7	82.8	83.8	84.6	85.8
1962	–	83.0	85.7	85.3	86.7	87.0
1963	–	88.7	91.4	90.2	91.2	93.2
1964	–	94.5	97.2	95.1	95.6	99.3
1965	–	100.2	102.9	100.0	100.1	105.5
1966	–	105.3	107.7	106.7	107.2	113.3
1967	–	108.1	109.9	108.2	110.5	117.2
1968	–	108.8	112.3	112.1	113.0	118.7
1969	–	110.2	113.1	112.4	114.7	119.8
1970	–	114.7	118.8	115.5	117.6	120.0
1971	–	117.3	117.7	117.2	118.6	120.3
1972	–	116.3	117.4	117.7	119.7	122.3
1973	–	117.7	118.8	119.2	120.6	128.4
1974	–	120.3	122.6	121.4	122.9	133.4
1975	–	126.2	126.2	127.1	123.6	139.8
1976	–	123.8	123.3	124.4	124.6	135.0
1977	–	124.5	124.9	124.0	125.0	137.8
1978	–	140.3	140.9	141.0	140.2	154.6
1979	–	142.1	142.7	142.5	141.5	154.7
1980	–	147.1	147.5	147.5	146.9	160.3
1981	–	148.0	149.1	149.2	148.3	160.2
1982	–	147.1	151.4	149.1	150.4	162.0
1983	–	147.9	149.7	148.0	148.9	160.9
1984	–	147.6	150.7	149.7	149.6	160.3
1985	–	150.5	154.5	152.4	152.0	165.4
1986	–	155.5	160.7	161.8	157.0	169.0
1987	–	164.2	173.2	167.3	166.1	176.1
1988	–	176.5	197.2	180.9	179.1	184.6
1989	–	201.5	228.2	207.3	210.7	213.7
1990	–	286.3	334.7	297.3	300.0	306.8
1991	–	405.4	478.8	437.3	435.0	460.4
1992	–	2900.0	5167.7	2,825.5	3115.9	4422.7
1993	–	41104.7	130.0	99.5	22576.0	154.5
1994	–	338.6	1775.0	303.1	43106.0	879.9
1995	–	1058.3	4475.0	468.3	0.9	6600.6
1996	–	2233.5	7249.0	692.2	4.9	64340.0
1997	–	4075.3	9635.0	908.6	8.1	191640.0
1998	–	6102.5	10393.4	1,102.4	16.1	328091.3
1999	–	10574.1	11321.4	1,262.4	22.8	...
2000	–	...	12409.0	1,671.6	23.9	...
2001	–	...	15066.7	1,869.8	29.9	...
2002	–	...	16938.0	2,403.5	49.2	...
2003	–	...	18053.8	2,792.3	63.3	...
2004	–	...	26048.1	3,132.1	85.6	...
2005	–	...	31191.3	3,524.9	143.3	...
2006	–	...	35625.0	3,753.4	208.4	...
2007	–	...	45610.0	4,469.3	356.4	...
2008	–	...	47206.0	6,958.0	349.6	...
2009	–	...	59437.8	8,106.0	430.9	...
2010	–	510313.0	70436.6	9,424.0	647.3	...

統計表の出所

出所：[A3] 11, 26, 41, 56, 71; [A6] 84, 128, 37, 115, 255; [A11] 129-130; [A12] 46-49, 60-67; [A301] 12, 21, 57, 5, 132; [A302] 3-10, 46-51; [A303] 67; [A304] 51; [A305]; [A306] 20; [A307] 171; [A308] 19-24; [A309] 42-43, 56-66; [A310] 10,13,14,15, 40-41; [A311] 5-19; [A312] 5-19; [A313]; [A314] 29; [B1] 192, 32; [B2] 662-663; [B3] 592-593, 58, 661; [B4] 66-67; [B5] 640-641; [B6] 570-571; [B7] 456-457, 52-53; [B8] 477-479; [B9] 550-551; [B10] 562-563, 64; [B11] 652-653, 647, 61; [B12] 551, 50; [B13] 534-535, 45-46; [B14] 514-515, 513; [B16] 508-509; [B17] 578-579; [B18] 554-555, 548; [B19] 536-537; [B22] 364; [B23] 387-390; [B24] 49, 356; [B26] 367, 48; [B27] 388, 49; [B28] 61, 411; [B29] 393, 50; [B30] 70; [B31] 55, 365 ; [B32] 34-38; [B33] 52; [B34] 102; [C3] 273-276; [C7] 48-69, 22; [C23] 75, 78, 83,104-125, 86-87, 364-383, 303-302, 33, 3,35,42; [C301] 459; [C302] 447; [C303]436, [C304]; [C305] ; [C306] 64-85, 26, 26, 40-41, 76; [D1] 224; [D301]; [D302] 26-28; [D303]; [D304] 6-11, 16-20; [D305] 40-41, 48, 10-11, 24-29, 36-39; [D306] 35; [D307] 42-43; [D308] 102; [E301]; [F1] 224-225, 218-219; [F2] 255; [F4] 323; [F5] 234-235; [F7] 198; [F11] 180; [F14] 29-30, 17-18; [F301] 70-73, 88-92; [F302] 34-36, 63-64; [F303]; [G3] 138-139; [G6] 246-252; [G9] 145; [G10] 36; [G301] 168; [G302] 65-66; [G303] 43-45; [G304] 127-128, 230-231; [G305] ; [G306]; [G307] 65, 82; [G308]; [H2] 194-195; [H3] 274-275; [H7] 155, 181; [H8] 127-128; [H9] 178; [H11] 193; [H301] 29, 47; [H302] 37-38; [H303] 89-90, 128-131; [H304] 52-53, 54; [H305] 44-45, 57; [H306] 48-49, 154-155; [H307] ; [I2] 138-139; [I5] 128-131; [I6] 115; [I11] 148-149; [I14] 30~31; [I301] 10, 62; [I302] 40-41; [I303] 11; [I304]; [J1] 71; [J5] 206, 208; [J7] 285-286, 289; [J14] 30-33, 42-43; [J301] 110-111, 118, 52-53, 60-61; [J302] 150; [J303] 64-65; [J304] 211-214; [J305] 226-227; [J306] 24-25, 37-39; [J307] 65; [J308] 62; [J308]; [K1] 147, 168, 230, 248, 267; [K2]; [K3]; [K4]; [K5]; [K6]; [K7]; [K8]; [K10]; [K11]; [K12]; [K13]; [K14]; [K15]; [K301] 374, 376, 399; [L1]; [L2]; [L3]; [L4]; [L301]; [L302]; [L303]; [L304]; [L305]; [L306]; [L307]; [N1]; [N301] 392; [M302]; [M303]; [M304].

統計表 14 と 15 の注

注 1：欠損値の「推計」は赤字太字イタリックで、それ以外の「算出値」は青字イタリックを用いて区別して表示している。

注 2 : 1933～1936 年のデータは、より細かく分類された業種のデータを平均値として算出されたもの。

注 3 : 1934～1936 年のデータは、3 月時点の数値。

注 4 : 1936 年のウズベク共和国とカザフ共和国の数値にはカラカルパクスタン共和国のそれが算入されていない。

注 5 : 1936 年のタジク共和国の数値にはゴルノ・バダフシャーン自治州のそれが算入されていない。

注 6 : 1940～1962 年のウズベク共和国の数値にチムケント州の 2 つの地区のそれが算入されている。

注 7 : 1952～1962 年の従業員数は、9 月時点の数値。